

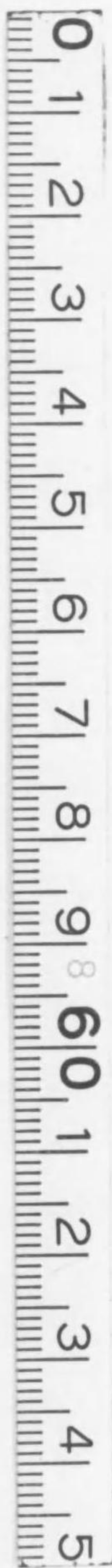
14.4

1070

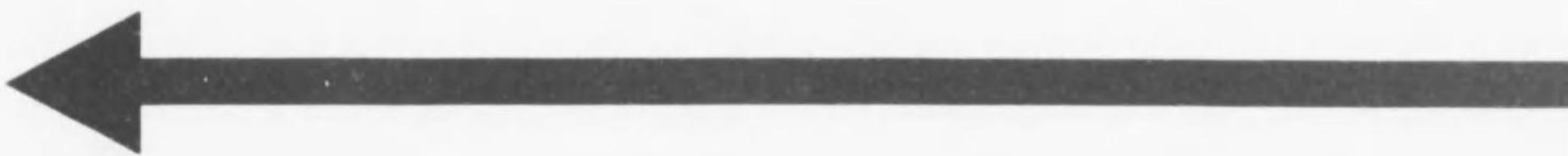
14.4-1070



1200700461856



始



44
3
P

昭和十一年版

群馬縣年鑑

二二九三五九
元曆
西紀

中央時事通信社

株式會社

群馬大同銀行

本店 前橋市

株式會社

上毛銀行

本店 澁川町

大藏省免許

堅實第一



顧客本位

貯蓄と金融

高崎市請地町

上毛無盡株式會社

支店及出張所 縣下主要地

東部鐵道株式會社

澁川營業所

上州鐵道株式會社

本社館林町

高崎板紙株式會社

本社 高崎市八島町

新曆 大 一三五七八九十二 小 二四六九十一 閏 四月八日十月五日 申 六月七日十二月四日 酉 五月三十日十一月二十六日		舊曆 大 正 閏 三 六 七 九 十 一 小 二 三 四 五 八 甲 二月十二日八月十日 乙 二月十六日八月十五日 丙 二月二十日八月十九日 丁 二月二十四日八月二十三日 戊 二月二十八日八月二十七日 己 三月二日九月一日 庚 三月六日九月五日 辛 三月十日九月九日 壬 三月十四日九月十三日 癸 三月十八日九月十七日 甲 三月廿二日九月廿一日 乙 三月廿六日九月廿五日 丙 三月三十日九月廿九日	
祝祭 元始祭 一月三日 新年宴會 一月五日 紀元節 二月十一日 地久節 三月六日 春季皇靈祭 三月廿一日 神武天皇祭 四月三日		節日 天皇節 四月廿九日 秋季皇靈祭 九月廿四日 神嘗祭 十月十七日 明治節 十一月三日 新嘗祭 十一月廿三日 大正天皇祭 三月廿五日	
年中行事 入節 一月十日 初節 二月四日 憲法記念日 二月十一日 陸軍記念日 三月十日 彼 岸三月十八日 勞働節 五月一日 端午節 五月五日		其他 海軍記念日 五月廿七日 時記念日 六月十日 入梅 六月十二日 七夕祭 七月七日 盂蘭盆 八月十五日 震災記念日 九月一日	
二十四節氣 立春 二月三日 雨水 二月十九日 春分 三月二十日 清明 四月四日 穀雨 四月十九日 立夏 五月五日 芒種 五月廿一日 夏至 六月二十一日 小暑 七月七日 立秋 八月七日 白露 八月廿三日 秋分 九月廿三日 寒露 十月八日 霜降 十月廿三日 小雪 十一月二十三日 大雪 十二月十三日 冬至 十二月廿二日 小寒 一月六日 大寒 一月廿一日		曜日表 一月 一 二 三 四 五 六 日 二月 一 二 三 四 五 六 日 三月 一 二 三 四 五 六 日 四月 一 二 三 四 五 六 日 五月 一 二 三 四 五 六 日 六月 一 二 三 四 五 六 日 七月 一 二 三 四 五 六 日 八月 一 二 三 四 五 六 日 九月 一 二 三 四 五 六 日 十月 一 二 三 四 五 六 日 十一月 一 二 三 四 五 六 日 十二月 一 二 三 四 五 六 日	

昭和十一年丙子年略曆

皇紀二千五百九十六年
西曆千九百三十六年

上毛電氣鐵道株式會社

本社 前橋市

草津電氣鐵道株式會社

本社 長野縣輕井澤町

上信電氣鐵道株式會社

本社 高崎市

昭和十一年版

群馬縣年鑑

中央時事通信社



14.4-1070

昭和十年版 群馬縣年鑑目次

昭和十一年略曆	八	御料地面積	三〇	各省別歳出額	四八
年中行事	一一	位階	三〇	昭和十年年度純計豫算	四九
勅語	一一	褒章	三〇	昭和九年度内地對外貿易概算	四九
詔書	一二	勳章	三一	地方財政	四九
宮廷		日本曆・西曆・支那曆對照表	三一	群馬縣一年史	
大日本帝國皇室	一三	大日本帝國憲法	三四	自昭和九年七月至十年八月	四九
大日本帝國皇族	一四	皇室典範	三八	昭和十年陸軍特別大演習	六六
御歴代帝號・年號・皇紀	二〇	宮廷錄事	四三	奉迎歌	六六
御陵所在地	二〇	國勢篇		兩軍の主腦部	六七
皇居	二七	帝國の面積概要	四五	觀兵式	六七
舊時の皇居	二七	帝國の面積表	四五	地方行幸	六七
京都皇宮	二八	全國道府縣別人口	四六	光榮の御宿舎	六七
青山御所	二九	日本の國富	四八	單獨拜謁者	六八
離宮御苑・御用邸	二九	國民所得と消費額	四八	建國の佳節に表彰された團體と人	七三
宮内省・樞密院	二九	國債現在高	四八	縣勢篇	
國葬	三〇	昭和十年度豫算總額	四八	縣の概觀	七四

頁段行	正誤表
一七 一四	正 誤
一八 八	タダヒコ 正彦王
四三 下 五	全行削除
六八 上 七	前橋市長
七一 上 三	賀陽宮
上 二	有栖川宮
中 四	大日本蠶糸會
下 四	總裁閣院宮殿下
〇 〇	大日本蠶糸會 總裁 宮殿
六九 中 九	役員
一〇六 上 二	桐生市
一五五 下 八	相生村
一五八 最下 二	宮司名
二五六(見出)	在京縣人錄
	議員
	山田郡桐生市
	桐生村
	社司名
	東京縣人錄

目次

本縣の氣候	七五	地方長官會議	八一	水産	八七
前橋の氣象	七六	天皇機關說	八一	林業	八七
天氣豫報信號の見方	七六	尾崎氏表彰文	八一	鑛業	八七
天氣豫報	七六	衆議院解散一覽	八一	工業	八七
縣廳所在地	七六	代議士職業別	八二	織物産額	八八
極所の經緯度	七六	群馬縣富力	八二	各種工産物及各種飲食物	九〇
土地總反別	七七	所得稅納稅人員	八二	經濟更生指定市町村一覽表	九一
民有々租地	七七	第三種所得種類別	八二	本縣産業組合の狀勢	九二
賃賃價額	七七	歲出入豫算	八二	利用事業・其他	九四
郡市別面積世帯人口	七七	産業界の展望	八三	産業組合講習會	九五
政治篇		昭和九年度の本縣生産總額	八三	青年聯盟	九五
齋藤内閣總辭職	七八	耕地面積	八三	信用販賣購買事業	九五
岡田内閣成立	七八	農家戸數	八三	産業組合聯合會	九七
第六十六臨時議會	七八	農産物・桑畑	八四	市街地信用組合	九七
第六十六臨時議會	七九	養蚕・戸數・掃立・産額	八四	本縣下の産業組合一覽	九八
各派の分野	七九	果物・其他	八六	社寺宗教篇	
第六十七帝國議會	七九	牧畜	八六	縣内神社錄	一一〇
第六十七議會の成績	七九			郷社	一一一
内閣審議會	八一			村社	一一三
五十萬元事件	八一				

教育篇

縣内寺院錄	一二六
本縣の社寺數	一五九
小學校	一五九
學齡兒童	一六〇
市町村立小學校一覽	一六〇
市町村立小學校	一六一
教員月俸平均額	一六一
幼稚園	一六一
師範學校	一六二
中等教育	一六四
實業教育	一六六
實業補習教育及青年學校	一六六
社會教育	一七〇
農民道場	一七一
圖書館一覽	一七一
公立圖書館	一七三
學校衛生及體育	一七六
盲聾啞教育	一七六
縣教育會	一七六

觀光篇

群馬郡市聯合小學校長會	一七七
各郡市小學校長會	一七八
群馬縣私立學校長會	一七八
郡市教育會	一八〇
群馬縣教育會事業	一八一
青年學校令	一八三
青年學校教員養成所	一八三
觀光篇	
名勝	一八五
指定史蹟	一八七
天然記念物	一八八
國寶	一八九
重要美術品	一八九
古社寺	一九〇
著名溫泉旅館案内	一九〇
社會事業篇	
群馬縣社會事業一覽表	一九四
施藥救療並社會衛生	一九五
養老事業	一九六

社寺宗教篇

軍事救護	一九六
防貧事業	一九七
人事相談	一九九
職業紹介	一九九
授産事業	一九九
共同宿泊	一九九
住宅供給	二〇〇
公益質店	二〇〇
公設代書	二〇一
無料入浴及無料理髮	二〇二
兒童保護事業	二〇二
公設産婆	二〇二
晝間保育	二〇三
育兒事業	二〇三
子守教育	二〇三
不良少年救護	二〇三
教化事業	二〇四
特殊教育	二〇四
矯風事業	二〇四
司法保護	二〇五

目次

隣保事業	二〇五
融和事業	二〇六
移民民事業	二〇六
昭和十年度開設 農繁期託兒所調	二〇六
司法警察篇	
警察	二〇九
警察區劃	二〇九
配置官吏	二〇九
盜難被害額	二〇九
贓品發見價額	二〇九
消防組	二〇九
火災	二〇九
檢舉犯罪人	二〇九
醫事衛生篇	
衛生	二〇九
醫療關係者	二〇九
病院及病舎	二〇九
傳染病	二〇九
日本赤十字社群馬支部	二〇〇

愛國婦人會群馬支部	二二〇
醫師會人名錄	二二〇
醫師關係役員	二二〇
前橋市醫師會及會員	二二三
高崎市醫師會及會員	二二五
桐生市醫師會及會員	二二七
勢多郡醫師會及會員	二二八
群馬郡醫師會及會員	二二九
多野郡醫師會及會員	二二九
北甘樂郡醫師會及會員	二二二
碓氷郡醫師會及會員	二二三
吾妻郡醫師會及會員	二二四
利根郡醫師會及會員	二二五
佐波郡醫師會及會員	二二六
山田郡醫師會及會員	二二八
新田郡醫師會及會員	二二八
邑樂郡醫師會及會員	二二九
交通篇	
本縣の交通	二三一
土木及築造	二三一

道路延長	二二一
橋梁數	二二一
國有鐵道	二二一
地方鐵道	二二二
軌道	二二三
郵便爲替	二二三
水力電氣	二二三
瓦斯	二二三
水道	二二三
縣内鐵道關係職員	二二三
省線兩毛線	二二三
" 足尾線	二二三
" 上越線	二二三
" 八高線	二二三
" 高崎線	二二三
" 信越線	二二三
私設上信電氣鐵道	二二三
" 東武鐵道	二三四
" 上毛電氣鐵道	二三四
" 上州鐵道	二三四

私設草津電氣鐵道	二三四
遞信關係職員	
一等郵便局	二三四
二等郵便局	二三四
三等郵便局	二三四
歷代長官	二三六

縣下都市篇

前橋市	二三七
高崎市	二三九
桐生市	二四〇
都市計劃	二四一

商工篇

主要銀行錄	二四一
主要銀行所在地一覽	二四二
主要銀行職員錄	二四三
主要會社錄	二四四
主要會社職員錄	二四七
特輯群馬縣出身博士名鑑	二五一
特輯東京縣人錄	二五六
特輯縣内洋服店	二六四

群馬縣職員要錄

(昭和十年九月一日現在)

官等俸給及職制	一
職制一覽	七
縣廳分課分掌一覽	九
高等官同待遇	一一
知事官房 總務部	一七
學務部	一九
經濟部	二二
警察部	三一
前橋・大胡警察署	四一
高崎・澁川警察署	四二
安中・松井田警察署	四三
富岡・下仁田警察署	四四
藤岡・万場・伊勢崎警察署	四五
境・太田警察署	四六
館林・桐生警察署	四七
縣立中學校 高等女學校	五二
縣立實業學校	五二
縣立盲啞學校 青年學校	五四

教員養成所	五六
市町立實業學校	五六
市町村立女學校	五七
管内私立學校一覽表	五七
縣内町村役場	六六
縣内小學校及校長	八九
青年學校職員 貴族院	九八
衆議院議員	九九
縣會議員	九九
縣内各種試驗場	一〇二
史蹟名勝天然記念物調查會	一〇四
選舉公正委員會	一〇四
日本赤十字社 愛國婦人會	一〇六
日本赤十字病院群馬支部	一〇六
育英會 體育協會購買組合	一〇七
神職會	一〇七
皇典講究分所農會	一〇八
產業組合中央會	一〇九
畜産組合聯合會	一〇九
高崎商工會議所議員	一一〇
前橋商工會議所議員	一一二
縣内官衙	一一四

主なる年中行事

一月 (陸月)
 元旦 四方拜、惠方詣
 二日 初荷、初賣出し
 三日 元始祭
 四日 政治始
 五日 新年宴會
 六日 消防出初式
 八日 觀兵式
 十日 初年兵入營
 十六日 この日頃より高等學校入學願書受附始る
 中旬 東京春場所大相撲始る
 二月 (如月)
 四日 追儺(節分豆蒔)
 八日 針供養
 十一日 紀元節、建國祭、梅の節句
 上旬 中等學校入學願書受附始る
 廿五日 雛市立ち始む
 三月 (彌生)
 一日 雉子山鳥捕獲禁止、鮎漁禁止

三日 雛の節句
 六日 地久節、母の日
 十日 陸軍記念日
 十八日 彼岸入り
 廿一日 春季皇靈祭
 下旬 大阪毎日主催『全國中等學校野球大會』始る
 注意 學齡兒童の入學準備(本年の學齡兒童は昭和四年四月一日より昭和五年三月三十一日まで生れたもの)
 中等男女學校の入學試験始る
 四月 (卯月)
 一日 各學校學年始、エイプリルフール(四月馬鹿)
 三日 神武天皇祭
 八日 花まつり、釋尊降誕祭
 十一日 メートル法公布記念日
 十五日 銃獵禁止
 中旬 豊饒御會、春陽會美術展覽會、縣下中等學校野球戰始る
 廿一日 社會事業宣傳日

廿七日 結核豫防週間始る(五月三日まで)
 廿九日 天長節
 卅日 靖國神社祭
 五月 (皐月)
 一日 梅デー
 二日 八十八夜を間に青ギス釣始まる
 五日 端午の節句、乳幼児看護デー
 上旬 愛國婦人會、日本赤十字社總會
 廿八日 動物愛護週間始まる
 六月 (水無月)
 四日 ムシ齒豫防デー
 十日 時の記念日
 十六日 利根川鮎漁解禁
 十七日 伊勢大神宮祭、臺灣始政記念日
 廿一日 夏至
 廿五日 皇太后御誕辰
 白馬岳山開き
 七月 (文月)
 一日 富士山開き、各水泳場開き

二日 半夏生
 七日 棚機祭
 十日 四萬六千日、館林町長良神社祭
 十二日 草市
 十三日 盂蘭盆會
 十七日 邑樂郡六郷村富士神社祭
 十八日 草津町白根神社祭
 廿五日 新田郡世良田村八坂神社祭
 下旬 全國鐵道野球大會
 日本陸上選手權大會
 八月 (葉月)
 一日 本日より三日間大間々町祇園祭
 三日 沼田町須賀神社祭
 上旬 東京日日新聞主催全國都市對抗野球戰
 八幡祭
 十五日 各地に煙火大會開かる
 九月 (長月)
 一日 關東大震災記念日、全縣酒無しデー、二百十日
 九日 重陽節(後の雛)、前橋小石神社祭

上旬 東京大學野球戰開かる
 十五日 前橋市縣社八幡宮大祭
 十八日 前橋市神明宮大祭
 十九日 伊香保神社祭
 廿四日 秋季皇靈祭、前橋愛宕神社祭
 廿七日 諏訪神社祭
 廿九日 群馬郡金島の甲波宮彌神社祭
 十月 (神無月)
 一日 更衣、東京市自治記念日
 十二日 お會式(池上本門寺其他)
 十三日 戌申詔書記念日
 十五日 狩獵解禁、甲子
 十七日 神嘗祭、帝展開く
 十九日 べつたら市
 廿三日 靖國神社祭(廿二日より三日間)
 卅日 教育勅語發給記念日
 下旬 明治神宮競技大會始まる
 十一月 (霜月)
 一日 大間々町藥師祭、新曆賣出し

二日 縣社新田神社祭日、桐生美和神社祭、體育デー
 三日 明治節、明治神宮祭、菊花大會
 西の市
 十一日 世界大戰平和記念日
 十五日 七五三の祝
 觀菊御會、陸軍大演習、全日本柔道選手權大會
 大間々町外貴船神社祭
 青年團令旨記念日
 十九日 新嘗祭、國幣中社貫前神社祭、榛名郡木會三社神社、榛名神社、高崎市高崎神社祭
 廿二日 前橋市八幡宮、元惣社村惣社神社祭
 廿四日 伊香保神社、坂本町熊野神社、桐生市天滿宮各祭
 廿五日 太田町新田、高山兩神社、前橋市東照宮の新嘗祭執行
 廿九日 桐生織物組合事務所織物祭執行
 卅日 滿期兵除隊

十二月 (師走)

- 一日 羽子板市
- 五日 西の市で前橋、高崎、桐生で盛大な催がある
- 八日 太田町納めの春籠
- 十日 赤城神社祭
- 十二日 貫前神社遷宮祭(本日から十六日まで)
- 十四日 歳の市、義士祭
- 十五日 詠進歌切
- 十九日 山田郡福岡村貴船神社祭
- 廿日 年賀郵便取扱開始(廿九日まで)
- 廿二日 冬至
- 廿四日 桐生市日限地蔵尊祭
- 廿五日 桐生市天満宮祭、大正天皇祭、クリスマス
- 廿八日 前橋成田不動尊祭
- 卅日 諸官省御用納
- 卅日 高崎第十五聯隊二年兵及幹部候補生除隊
- 卅一日 大蔵、年越の行事
- 下旬 帝國議會始まる

歌御會始御題

明治二年創始以來

年次	明治二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	
御題	春風來海上	春來日	貴賤迎	風光日々	新年祝	迎年言志	都迎年	新年望	松不改	松入新	新年祝	庭上鶴	竹有佳	河水久	晴天海	雪中早	綠竹年	池水浪	雪埋	水石	寄國	祝	
社頭	日新世	龜山	春上	梅先	寄海	影山	松家	松上	松中	松梅	松竹	松海	松山	松河	松山	松田	松社	松新	松寒	松月	松下	松	
大正二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	
御題	寄國	遠山	晴邊	家頭	旭頭	曉山	新年言	色水	河山	山家	田邊	社頭	曉頭	朝頭	池邊	池邊	池邊	池邊	池邊	池邊	池邊	池邊	池邊
杉	祝	松	雪	梅	曉	波	雲	志	清	天	新	朝	巖	雪	聲	海	池	池	池	池	池	池	

勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民
 克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華
 ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友
 相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器
 ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ
 義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民
 タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン
 斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今
 ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ咸其德ヲ
 一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名御璽

詔書

朕惟フニ方今人文日ニ就リ月ニ將ミ東西相倚リ彼此相濟シ以テ其ノ福利ヲ共ニ
ス朕ハ爰ニ益國交ヲ修メ友義ヲ悖シ列國ト與ニ永ク其ノ慶ニ賴ラムコトヲ期ス
願ミルニ日進ノ大勢ニ伴ヒ文明ノ惠澤ヲ共ニセムトスル固ヨリ内國運ノ發展ニ
須ツ戰後日尙淺ク庶政益更張ヲ要ス宜ク上下心ヲ一ニシ忠實業ニ服シ勤儉産ヲ
治メ惟レ信惟レ義醇厚俗ヲ成シ華ヲ去リ實ニ就キ荒怠相誡メ自彊息マサルヘシ
抑我カ神聖ナル祖宗ノ遺訓ト我カ光輝アル國史ノ成跡トハ炳トシテ日星ノ如シ
寔ニ克ク恪守シ淬礪ノ誠ヲ輸サハ國運發展ノ本近ク斯ニ在リ朕ハ方今ノ世局ニ
處シ我カ忠良ナル臣民ノ協翼ニ倚藉シテ維新ノ皇猷ヲ恢弘シ祖宗ノ威徳ヲ對揚
セムコトヲ庶幾フ爾臣民其レ克ク朕カ旨ヲ體セヨ

御名 御璽

明治四十一年十月十三日

内閣總理大臣副署

大日本帝國皇室

宮廷

天皇陛下

御名裕仁 大正天皇第一皇男子
明治三十四年四月二十九日御降誕、同年五月五日
迪宮と稱し奉る。明治四十一年四月十一日學習院
初等科に御入學、大正元年九月九日陸海軍少尉に
御任官、叙大勳位授菊花大綬章、同三年四月學習
院初等科御卒業、新設の東宮御學問所にて御修學、
同年十月三十一日陸海軍中尉に、同五年十月三十
一日陸海軍大尉に御陞任、同年十一月三日立太子
禮御舉行、同八年五月七日御成年式御舉行、同九
年十月三十一日陸海軍少佐に御陞任、同十年二月
二十八日東宮御學問所御終業、同年三月三日御外
遊、九月四日御歸朝、十一月二十五日攝政御就任、
同十二年十月三十一日陸海軍中佐に御陞任、同十
三年一月二十六日御成婚、同十四年十月三十一日
陸海軍大佐に御陞任、同十五年十二月二十五日御
踐祚、人皇第百二十四代の帝位を踐ませられ昭和
と改元、昭和元年十二月二十八日朝見の御儀を舉
げさせらる。同三年十一月十日即位禮御舉行。

皇后陛下

御名良子 故久邇宮邦彥王第一
女子、明治三十六年三月六日御誕生、同年三月十
二日御命名、同四十二年四月十一日學習院女學部
初等科御入學、大正四年四月同部中學校に御進級、
大正七年一月十七日東宮妃册立の御沙汰あり仍て
二月四日女學部御退學、四月十三日より宮邸に
新設の御學問所にて御修學、同十一年六月二十日
御婚約勅許、同九月二十八日御納采、叙勳一等、
同十三年一月二十六日御入典皇太子妃宣下、昭和
元年十二月二十五日皇后とならせらる。

皇太后陛下

御名節子 故從一位大勳位公爵九條道孝第
四女子、明治十七年六月二十五日御誕生、同二十三年九月華族女
學校小學部に御入學、同三十二年八月御退學、同三十三年五月十
日御入典皇太子妃にならせられ大正元年七月三十日皇后に、昭和
元年十二月二十五日皇太后とならせらる。

皇太子殿下

御名明仁 今上天皇陛下第一皇男子、昭和
八年十二月二十三日御誕生、同月二十九日、繼宮と稱し、明仁と
御命名あらせらる。

成子内親王

御稱號 照宮 今上天皇陛下第一皇女子、大正
十四年十二月六日御誕生、昭和七年四月女子學習院初等科御入學、
前期第三學年に御在學中。

和子内親王

御稱號 孝宮 今上天皇陛下第三皇女子、昭和
四年九月三十日御誕生。

厚子内親王

御稱號 順宮 今上天皇陛下第四皇女子、昭和
六年三月七日御誕生。

崇仁親王

御稱號 澄宮 大正天皇第四皇男子、大正四年
十二月二日御誕生、大正十一年四月學習院初等科御入學、昭和三年
四月御卒業、同中等科に進ませられ、同七年三月第四學年御終
了、同四月陸軍士官學校へ御入學、同九年三月同校陸科御卒業、
同月騎兵上等兵として習志野騎兵第十五聯隊へ御入隊、六月騎兵
伍長に、七月軍曹に御進級、御住居青山御所内澄宮御殿。
(附記) 皇室とは天皇陛下の御一族全部即ち一般皇族をも御
呼び申すべきなれど之を狭義の意味に於て右の御方々ののみを本
欄に記し奉れり、他の御方々に就ては次に記し奉る。

宮 延

大日本帝國皇族

東京市赤坂區一番ノ一表町御殿

秩父宮
 大正天皇第二皇男子 明治三〇・六・三〇御誕生
 昭和三・九・六御結婚
 子爵松平保男姪正三位 明治四二・九・九御誕生

高松宮
 大正天皇第三皇男子 明治三二・三・三御誕生
 昭和五・二・四御結婚
 御略歴 初め淳宮と稱し奉る、大正六年三月學習院中等科第二學年御修了、同年四月陸軍中央幼年學校豫科御入學、同九年三月同校本科御卒業、同年三月士官候補生として歩兵第三聯隊へ御入隊、同年十月二十五日叙大勳位、授校本科御入學、大正十一年六月二十五日秩父宮の御稱號を賜り一家御創立、同年五月二十四日海外御見學のため御渡歐、英國皇帝陛下より「ビクトリヤ」大綬章を贈呈せらる、昭和二年一月十七日御歸朝、同五年三月六日任陸軍大尉、同六年十一月陸軍大學校御卒業、同月歩兵第三聯隊中隊長、同七年九月一日補歩兵第三聯隊附、參謀本部附御勤務、同九年六月二日天皇陛下御名代として滿洲國帝制實施御慶祝のため御渡滿、同月十八日御歸朝、昭和十年八月一日任陸軍少佐、弘前歩兵第三十一聯隊附御勤務

東京市芝區高輪西臺町一番

閑院宮
 大勳位陸軍大將 慶應元・二・二〇御誕生
 明治四・三・二九御結婚
 故邦家親王第十六男子
東伏見宮
 大勳位海軍中佐 故公爵一條實輝第四女 明治四二・二・七御誕生
 大正二五・七・四御結婚
 故公爵一條實輝第三女 明治四二・二・七御誕生
 東京市澁谷區常盤松町百一番地

東京市麴町區永田町二丁目二十番地

伏見宮
 大勳位海軍大將 故貞愛親王第一男子 明治八・一〇・一六御誕生
 故公爵德川慶喜第九女 明治二五・九・三御誕生
 故公爵一條實輝第一男子 明治三〇・三・八御誕生
 故公爵一條實輝第三女 明治三三・六・三〇御誕生
 博義王第一男子 昭和七・一・二六御誕生
 博義王第一女子 昭和四・七・二六御誕生
 博義王第二女子 昭和八・二・二四御誕生
 博義王第三女子 昭和九・二・二二御誕生
 博義王第四男子 大正元・一〇・四御誕生

東京市麴町區紀尾井町四番地

宮 延
 大勳位海軍中佐 故公爵岩倉具定第一女 明治九・八・二九御誕生
 故貞愛親王第一男子 明治八・一〇・一六御誕生
 故公爵德川慶喜第九女 明治二五・九・三御誕生
 故公爵一條實輝第一男子 明治三〇・三・八御誕生
 故公爵一條實輝第三女 明治三三・六・三〇御誕生
 博義王第一男子 昭和七・一・二六御誕生
 博義王第一女子 昭和四・七・二六御誕生
 博義王第二女子 昭和八・二・二四御誕生
 博義王第三女子 昭和九・二・二二御誕生
 博義王第四男子 大正元・一〇・四御誕生

山階宮

東京市麴町區富士見町二丁目五番地ノ一

故菊麿王妃常子

勳一等海軍少佐

故公爵島津忠義第三女 明治七・二・七御誕生

明治五・二・六御結婚

賀陽宮

東京市麴町區三番町二番地ノ五

故邦憲王妃好子

勳一等

故侯爵醍醐忠順第一女 慶應元・三・七御誕生

明治五・二・六御結婚

恒憲王

勳一等

故邦憲王第一男子 明治三・一・二七御誕生

大正二・七・九御結婚

邦憲王

勳一等

故公爵九條道實第五女 明治六・五・一六御誕生

大正二・五・三御結婚

治憲王

勳一等

恒憲王第一男子 大正二・四・二御誕生

大正二・五・三御結婚

章憲王

勳一等

恒憲王第二男子 大正二・五・七御誕生

大正二・五・三御結婚

文憲王

勳一等

恒憲王第三男子 昭和四・八・七御誕生

大正二・五・三御結婚

美智子女王

勳一等

恒憲王第四男子 昭和六・七・二御誕生

大正二・五・三御結婚

遷宮

東京市澁谷區宮代町一番地

故邦彦王妃倪子

勳一等

故公爵島津忠義第七女 明治三・二・〇九御誕生

明治三・三・三御結婚

朝融王

勳一等

故邦彦王第一男子 明治四・二・二御誕生

大正二・四・一・三御結婚

妃知子女王

勳二等

博恭王第三女子 明治四・五・一八御誕生

大正二・四・一・三御結婚

正邦子女王

勳二等

朝融王第一男子 昭和四・三・五御誕生

大正二・四・一・三御結婚

朝子子女王

大勳位 神宮祭主

朝融王第二女子 昭和二・二・〇三御誕生
朝融王第三女子 昭和八・九・四御誕生
故朝彦王第五男子 明治八・八・七御誕生
故子爵水無瀬忠輔 明治七・九・二五御誕生

明治四・三・九御結婚

多嘉子女王

本宮

多嘉王第二男子 大正九・三・二七御誕生
多嘉王第三男子 大正二・二・二九御誕生
多嘉王第三女子 大正六・五・一八御誕生

東京市澁谷區美竹町四十一番地

守正王

大勳位 陸軍大將

故朝彦親王第四男子 明治七・三・九御誕生

明治三・二・六御結婚

妃伊都子

香宮

故侯爵鍋島直大第二女 明治五・二・二御誕生

明治三・二・六御結婚

鳩彦王

大勳位 陸軍中將

故朝彦親王第八男子 明治二・〇・二御誕生

明治四・五・六御結婚

正彦王

勳一等 陸軍歩兵少尉

鳩彦王第一男子 大正元・〇・八御誕生

明治四・五・六御結婚

湛子女王

勳一等 陸軍歩兵少尉

鳩彦王第二男子 大正三・一・五御誕生

明治四・五・六御結婚

東久

遷宮

東京市麻布區市兵衛町一丁目十三番地

稔彦王

大勳位 陸軍中將

故朝彦親王第九男子 明治二・三・三御誕生

大正四・五・八御結婚

紀聰子內親王

勳一等 御稱號 泰宮

明治天皇第九皇女子 明治元・五・二御誕生

大正四・五・八御結婚

宮廷

盛厚王 彰常王 俊彦王

北白川宮

稔彦王第一男子 大正五・五・六御誕生
稔彦王第三男子 大正九・五・三御誕生
稔彦王第四男子 昭和四・三・四御誕生
東京市芝區高輪南町十七番地

故能久親王妃富子 勳一等

故公爵島津久光養女 文久二・二〇・一御誕生
故侯爵伊達宗徳第二女 明治二九・七・二〇御結婚

故成久王妃房子内親王 勳一等御稱號周宮

明治天皇第七皇女子 明治三三・一・二六御誕生
明治四三・四・二九御結婚

永久王 勳一等陸軍砲兵中尉

故成久王第一男子 明治四三・二・二九御誕生

(永久王陛下には昭和九年六月十九日明治四三二年女子と御結婚の御内勳勲許御表ありたり)

佐和子女王

故成久王第二女子 大正二・二〇・二御誕生

多惠子女王

故成久王第三女子 大正九・四・二五御誕生

竹田宮

東京市芝區高輪南町十七番地

故恒久王妃昌子内親王 勳一等御稱號常宮

明治天皇第六皇女子 明治二二・九・三〇御誕生
明治四一・四・三〇御結婚

恒徳王 勳一等陸軍騎兵中尉

故恒久王第一男子 明治四三・三・四御誕生
昭和九・五・三御結婚

妃光子女王 勳二等

公爵三條公輝第二女 大正四・二・六御誕生

王族及皇族

昌徳宮

京城府臥龍洞二番地(御本邸)
東京市麴町區紀尾井町李王家(東京邸)

李王 第七王子 明治三〇・一・二〇御誕生

大勳位陸軍歩兵中佐 故李太王 大正九・四・二七御結婚

妃方子女王 勳一等

守正王第一女子 明治四一・二・四御誕生

李王 第二王子 昭和六・三・二九御誕生

李王 第二王子 昭和六・三・二九御誕生
侯爵尹澤榮第一女 明治二七・九・二九御誕生
明治四一・一・二四御結婚

李鍵公

京城府寬動洞百九十六番地(御本邸)
東京市澁谷區常盤松町百一番地(東京邸)

李公 勳一等陸軍騎兵中尉

李公 勳一等陸軍騎兵中尉 李堀 第一男子 明治四一・二・二六御誕生
昭和六・二・〇・五御結婚

李誠子 勳二等

正五位松平胖第一女 明治四一・二・〇六御誕生

李堀 勳大

李鍵公第一男子 昭和七・八・二四御誕生

李太王 第五王子 明治二〇・三・三〇御誕生

故李太王 第五王子 明治二〇・三・三〇御誕生
故男爵金思潘第一女 明治二一・三・二三御誕生
明治二六・一・〇九御結婚

李金氏 勳一等

故男爵金思潘第一女 明治二一・三・二三御誕生

李鐫公

京城府雲泥洞百十四番地(御本邸)
東京市澁谷區常盤松町百一番地(御假寓)

李鐫公 勳一等陸軍砲兵少尉

李堀 第二男子 大正元・二・二五御誕生

(李鐫公陛下には昭和九年七月十一日侯爵林孝令孫寶珠嬢と御結婚の御内定の旨官内省より發表さる)

故李熹公妃李氏 勳一等

故李熹公妃李氏 勳一等 故李鱗九第一女 明治一六・七・二〇御誕生
明治四一・一・二〇御結婚

故李峻公妃金氏 勳一等

故李峻公妃金氏 勳一等 故金在鼎第一女 明治二一・七・二八御誕生
明治二七・三・二四御結婚

李辰琬

故李峻公第一女 大正五・五・二八御誕生

(以上 昭和十年八月一日謹記)

宮廷

巨籍に降下せられたる皇族

小松輝久	(臣籍名)	(臣籍)	(御父君)	(御降下年月日)
山階芳麿	故北白川宮能久親王	明治四〇・七・二〇		
久邇邦久	故山階宮菊麿王	大正九・七・二四		
華頂博信	故久邇宮邦彦王	同 三・一〇・三五		
筑波藤麿	伏見宮博恭王	同 一五・二・七		
葛城茂麿	故山階宮菊麿王	昭和三・七・二〇		
東伏見邦英	伯耆 故久邇宮邦彦王	同 四・二・二四		

華族に降嫁せられたる皇族及王族

神子	(御父君)	(御配偶)	(御降下年月日)
故伏見宮貞愛親王	侯	山内 豊景	明治三〇・四
故伏見宮博恭王	伯	清棲 幸保	大正二五・二〇
故山階宮菊麿王	伯	淺野 長武	同 九・二
故賀陽宮邦憲王	町尻	量基	同 四・四
故久邇宮朝彦親王	故子竹内	惟忠	明治三五・三

御歴代帝號・年號・皇紀・御陵所在地

一 神武	年號(年數)	皇紀	御陵所在地
二 綏靖	同	一六六	奈良縣高市郡白樺村
三 崇徳	同	一八〇	同上
四 安寧	同	二二二	同上
五 孝昭	同	二五二	同上
六 孝安	同	二八六	同南葛城郡大正村

七 孝靈	年號(年數)	皇紀	御陵所在地
八 孝元	同	三七二	同北葛城郡王寺町
九 開化	同	四七五	同高市郡白樺村
一〇 崇仁	同	五〇三	奈良市油坂町
一一 崇仁	同	五〇四	奈良縣磯城郡柳本町
一二 景行	同	五三二	同磯城郡柳本町

一三 成務	同	八二一	同生駒郡平城村
一四 仲哀	同	八五二	大阪府南河内郡藤井寺町
一五 應神	同	八六〇	同郡古市町
一六 仁徳	同	九七〇	堺市船松町
一七 履中	同	九七三	大阪府泉北郡神石村
一八 反正	同	一〇六五	堺市三國丘町
一九 允恭	同	一〇六六	大阪府南河内郡道明寺村
二〇 安康	同	一〇七二	奈良縣生駒郡伏見村
二一 雄略	同	一一二二	大阪府南河内郡高鷲村
二二 清寧	同	一一二六	同郡西浦村
二三 顯宗	同	一一四〇	奈良縣北葛城郡下田村
二四 仁賢	同	一一四二	大阪府南河内郡藤井寺町
二五 武烈	同	一一四八	奈良縣北葛城郡志都美村
二六 繼體	同	一一五二	大阪府三島郡三島町
二七 安閑	同	一一五五	同南河内郡古市町
二八 宣化	同	一一五九	奈良縣高市郡白樺村
二九 欽明	同	一一九二	同郡坂合村
三〇 敏達	同	一二三二	大阪府南河内郡磯長村
三一 用明	同	一二四五	同上
三二 崇峻	同	一二五二	奈良縣磯城郡多武峰村
三三 推古	同	一二五三	大阪府南河内郡山田村
三四 舒明	同	一二六八	奈良縣磯城郡城島村
三五 皇極	同	一二九一	高市郡越智郡村

三六 孝德	大化	一一六	一三〇	大阪府南河内郡山田村
三七 齊明	年號(年數)	一一五	一三〇	同上
三八 天智	同	一一五	一三二	京都市東山区山科御陵上御廟野町
三九 弘文	同	一一五	一三三	大津市別所町
四〇 天武	白鳳	一一四	一三三	奈良縣高市郡高市村
四一 持統	朱鳥	一一二	一三六	同上
四二 文武	年號(年數)	一一二	一三七	同上
四三 元明	慶雲	一一一	一三七	同郡坂合村
四四 元正	和銅	一一一	一三七	奈良市奈良坂町
四五 聖武	神龜	一一一	一三七	同上
四六 孝謙	天平	一一一	一三七	同法蓮町
四七 淳仁	寶字	一一一	一三七	奈良縣生駒郡平城村
四八 天智	寶字	一一一	一三七	兵庫縣三原郡賀集村

宮廷

稱徳	天平神護	三一	二四	五二	一四七
神護景雲		一四	一四	一四	一四
四九光仁	神護景雲	一四	一四	一四	一四
五〇桓武	天應	一一	一一	一一	一一
五一平城	延曆	一一	一一	一一	一一
五二嵯峨	大同	一一	一一	一一	一一
五三淳和	弘仁	一一	一一	一一	一一
五四仁明	天長	一一	一一	一一	一一
五五文德	嘉祥	一一	一一	一一	一一
五六清和	天安	一一	一一	一一	一一
五七陽成	貞觀	一一	一一	一一	一一
五八光孝	元慶	一一	一一	一一	一一
五九宇多	仁和	一一	一一	一一	一一

二二

六〇醍醐	寬平	一一	一一	一一	一一
六一朱雀	延長	一一	一一	一一	一一
六二村上	天慶	一一	一一	一一	一一
六三冷泉	康保	一一	一一	一一	一一
六四圓融	安和	一一	一一	一一	一一
六五花山	永觀	一一	一一	一一	一一
六六一條	寬和	一一	一一	一一	一一
六七三條	長弘	一一	一一	一一	一一

六八後一條	長和	一一	一一	一一	一一
六九後朱雀	長元	一一	一一	一一	一一
七〇後冷泉	寬德	一一	一一	一一	一一
七一後三條	治曆	一一	一一	一一	一一
七二白河	承久	一一	一一	一一	一一
七三期河	應德	一一	一一	一一	一一
七四鳥羽	嘉承	一一	一一	一一	一一
七五崇徳	保安	一一	一一	一一	一一
七六近衛	永治	一一	一一	一一	一一
七七後白河	久壽	一一	一一	一一	一一
七八二條	保安	一一	一一	一一	一一
七九六條	仁安	一一	一一	一一	一一
八〇高倉	嘉應	一一	一一	一一	一一
八一安徳	壽永	一一	一一	一一	一一

八二安徳	壽永	一一	一一	一一	一一
八三安徳	壽永	一一	一一	一一	一一
八四安徳	壽永	一一	一一	一一	一一
八五安徳	壽永	一一	一一	一一	一一
八六安徳	壽永	一一	一一	一一	一一
八七安徳	壽永	一一	一一	一一	一一
八八安徳	壽永	一一	一一	一一	一一
八九安徳	壽永	一一	一一	一一	一一
九〇安徳	壽永	一一	一一	一一	一一
九一安徳	壽永	一一	一一	一一	一一

八二	後鳥羽	壽永	四	一八四五	一八五〇	京都府愛宕郡大原村
八三	土御門	建久	一	一八五〇	一八五八	京都府乙訓郡海印寺村
八四	順德	承元	四	一八七〇	一八七二	同愛宕郡大原村
八五	仲恭	承久	三	一八七一	一八七三	京都市伏見區海草本寺山町
八六	後堀河	承久	三	一八七一	一八七三	同東山區今熊野町泉山
八七	四條	貞永	二	一八八二	一八八四	同上
八八	後嵯峨	仁治	三	一八八二	一八八三	同右京區嵯峨天龍寺芒ノ馬場町
八九	御深草	寶治	一	一九〇七	一九〇九	同上

九〇	龜山	正元	二	一九〇九	一九一六	同伏見區海草坊町
九一	後宇多	文永	二	一九二〇	一九二〇	京都市右京區嵯峨天龍寺芒ノ馬場町
九二	伏見	弘安	〇	一九四七	一九四七	同上
九三	後伏見	正應	〇	一九四七	一九四八	同伏見區深草町
九四	後二條	永安	六	一九五八	一九五八	同上
九五	花園	乾元	三	一九六二	一九六二	同左京區北白河追分町
九六	御醍醐	延治	三	一九六八	一九六八	同粟田口三條坊町
九七	後奈良	大永	一	一九八二	一九八二	同上
九八	後陽成	天正	一	一九八二	一九八二	同上
九九	後水尾	慶長	一	一九八二	一九八二	京都市伏見區深草坊町
一〇〇	明正	寬永	〇	二〇〇〇	二〇〇〇	同東山區今熊野町泉山
一〇一	後光明	寬永	〇	二〇〇〇	二〇〇〇	同上
一〇二	後西	承應	三	二〇〇二	二〇〇二	同上
一〇三	靈元	寬文	三	二〇〇三	二〇〇三	同上
一〇四	東山	寶永	一	二〇〇四	二〇〇四	同上

九七	後村上	延元	四	一九九一	二〇〇〇	大阪府南河内郡川上村
九八	長慶	正平	三	二〇〇六	二〇〇八	同上
九九	後龜山	弘和	三	二〇〇三	二〇〇四	京都市右京區嵯峨鳥居本小坂町
一〇〇	後小松	元中	九	二〇〇三	二〇〇三	同伏見區深草坊町
一〇一	稱光	應永	一	二〇〇三	二〇〇三	同伏見區深草坊町
一〇二	後花園	正長	一	二〇〇八	二〇〇八	同上
一〇三	後土御門	寬正	五	二〇二四	二〇二六	京都市伏見區深草坊町
一〇四	後柏原	明應	九	二〇二六	二〇二六	同上

一〇五	後奈良	大永	一	二〇〇四	二〇〇六	同上
一〇六	正親町	弘治	三	二〇〇三	二〇〇三	同上
一〇七	後陽成	天正	一	二〇〇三	二〇〇三	同上
一〇八	後水尾	慶長	一	二〇〇三	二〇〇三	京都市伏見區深草坊町
一〇九	明正	寬永	〇	二〇〇三	二〇〇三	同東山區今熊野町泉山
一一〇	後光明	寬永	〇	二〇〇三	二〇〇三	同上
一一一	後西	承應	三	二〇〇二	二〇〇二	同上
一一二	靈元	寬文	三	二〇〇三	二〇〇三	同上
一一三	東山	寶永	一	二〇〇四	二〇〇四	同上

宮	延	寶永六	一八	三六九	三七一	同上
中御門	正徳	一六	一七	三七一	三七一	同上
一四	享保	一〇	一〇	三九六	三九五	同上
一五	享保	二〇	二二	三九五	三九六	同上
一六	元文	一六	一六	三九六	三九六	同上
桃園	延享	一四	一四	三九六	三九六	同上
一六	延享	一四	一四	三九六	三九六	同上
一七	寶曆	一三	一三	三九六	三九六	同上
後櫻町	寶曆	一三	一三	三九六	三九六	同上
一七	明和	一七	一七	三九六	三九六	同上
一八	明和	一七	一七	三九六	三九六	同上
後桃園	安永	一八	一八	三九六	三九六	同上
一八	安永	一八	一八	三九六	三九六	同上
一九	天明	一〇	一〇	三九六	三九六	同上
光格	天明	一〇	一〇	三九六	三九六	同上
一九	寛政	一三	一三	三九六	三九六	同上
二〇	享和	一四	一四	三九六	三九六	同上
仁孝	文化	一四	一四	三九六	三九六	同上
二〇	文化	一四	一四	三九六	三九六	同上
二一	天保	一五	一五	三九六	三九六	同上
二一	弘化	一五	一五	三九六	三九六	同上
二二	嘉永	一七	一七	三九六	三九六	同上
二二	安政	一七	一七	三九六	三九六	同上
二二	文久	一四	一四	三九六	三九六	同上
二二	元治	一四	一四	三九六	三九六	同上
二二	慶應	一四	一四	三九六	三九六	同上
二二	明治	一四	一四	三九六	三九六	同上

皇室祭祀

一、元始祭 一月三日
 紀元節祭 二月十一日
 春季皇靈祭 春分日
 春季神農祭 春分日
 神武天皇祭 四月三日
 秋季皇靈祭 秋分日
 秋季神農祭 秋分日
 新嘗祭 十月十七日
 先帝祭 十一月廿三日より廿四日に亘る
 先帝以前三代の式年祭 毎年崩御日に相當する日
 先帝の式年祭 崩御日に相當する日
 皇妣たる皇后の式年祭 崩御日に相當する日
 大祭に準じて祭典を行ふ場合
 一、皇室又は國家の大事を神宮賢所皇靈殿神武天皇山陵先帝山陵に報告するとき
 二、神宮の造營に因り新宮に奉遷するとき
 三、賢所皇靈殿神宮の造營に因り本殿又は假殿に奉遷するとき
 四、天皇太皇太后皇太后の靈代を皇靈殿に奉遷するとき

皇居

東京市麹町區、舊徳川氏の江戸城、本城十萬五千三百九十三坪餘、西城八萬二千八百八十七坪餘、吹上御苑十萬三千八百六十九坪餘、城内の殿舎はしばしば火災に遭ひ、本城は文久三年(紀元二五三三)十一月の火災後再建さるゝに至らず、西城は同年六月の災後に建築されたものが明治の御代まで残つてゐたが、明治元年皇居と定められたる後同年五月五日これも火災に失せられた。今日の宮城は明治十七年七月御起工、同二十一年十月に御竣工あつたもので、總御建坪約一萬三千餘坪内表御殿二千二百坪九六五、外に奥御殿、賢所、皇靈殿、神嘉殿、振天府、懷遠府、建安府、惇明府及宮内省の廳舎がある。(表奥兩殿及宮内省は舊西城の地に、賢所、其他は凡て吹上御苑内に建設さる)二十二年一月九日先づ賢所の御遷座あり、翌々十一月兩陛下の御移轉が行はれた。

舊時の皇居

天皇	宮名	所在地
神武	畝傍	大和國高市郡白樺村
綏靖	葛城	同南葛城郡吐田郷村
安寧	片鹽	同北葛城郡浮孔村
懿德	輕曲	(一説、河内郡中河内) 同高市郡白樺村

孝昭	披上池心	同南葛城郡披上村
孝安	室秋津島	同同秋津村
孝靈	黑田盧戸	同磯城郡都村
孝元	輕境原	大和國高市郡白樺村
開化	春日率川	同奈良市守町
崇仁	磯城瑞籬	同磯城郡三輪村
垂仁	纏向珠城	同同纏村
景行	纏向日代	同同纏村
成務	志賀高穴穗	同近江口滋賀郡城本村
仲哀	穴門豐浦宮	同長門國豐浦郡長府村
(神功)	鹿角	同越前國敦賀郡敦賀町
應神	輕波大野	同紀伊國海草郡仲之島
仁徳	難波高津	同筑前國糟屋郡香椎村
履中	磐余若櫻	同大和國磯城郡安倍村
反正	磐余稚櫻	同大和國磯城郡安倍村
允恭	丹北柴籬	同大和國中河内郡松原村
安康	遠飛鳥	同大和國高市郡飛鳥村
雄略	石上穴穗	同同山邊郡丹波市町
清寧	磐余麩栗	同同磯城郡朝倉村
		大和國磯城郡安倍村

齊明	孝德	皇極	舒明	推古	崇峻	用明	敏達	欽明	宣化	安閑	繼體	武烈	仁賢	顯宗	(假豐青)	宮廷
飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	飛鳥板蓋	忍海角刺
大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	大和國高市郡高市村	葛城郡忍海村

天智	天弘	天武	持統	文武	元正	元明	聖武	孝謙	淳仁	稱徳	光仁	桓武	自平	至孝	京都皇宮
後飛鳥岡村	大津	飛鳥淨見原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	京都皇宮
大和國高市郡岡村	近紅國滋賀郡大津市	大和國高市郡飛鳥村	大和國高市郡鴨公村	同 生駒郡都述村	山城國相樂郡瓶原村	近江國甲賀郡雲井村	大和國生駒郡都述村	同 山城國乙訓郡向日町	同 京都府	同 京都府	同 京都府	同 京都府	同 京都府	同 京都府	京都皇宮

青山御所

東京市赤坂區青山、もと青山氏の邸地及紀州侯邸の一部を併せたもので、御所内に大宮御所(皇太后御座所)及澄宮御殿(舊東御所)がある。

赤坂離宮	濱離宮	霞ヶ關離宮	二條離宮	桂離宮	修學院離宮	函根離宮	伊勢離宮	武庫離宮	新宿御苑
東京市赤坂區	東京市京橋區	東京市麴町區	京都市上京區	京都市葛野郡	京都府愛宕郡	神奈川縣南根區ノ湖畔塔ヶ島	三重縣度會郡	兵庫縣武庫郡須磨村字月見山	東京市四谷區

御用邸

葉山、沼津、日光、同田井澤、伊香保、鹽原、那須の各地にあり。

宮内省 (宮城内)

宮内大臣は皇室の一切の事務につき輔弼の責に任じ華族及朝鮮貴族を監督する。侍從職 側近の事務を掌る。

宮廷

式部職 典式、交際、翻譯、狩獵及雅樂の事を掌る。

宗秩寮 (本職に掌典部、樂部を置く) 皇族、王族、公族、華族、朝鮮貴族及有位者に關することを掌る。(本寮に審議會を置く)

諸陵寮 陸墓の管理及調査に關する事務を掌る。

圖書寮 皇統譜、實錄編修、各種文書の編纂及び保管に關する事務を掌る。

侍醫寮 診候、進藥及び調劑に關する事務を掌る。

内藏寮 各會計、金庫に關する事務を掌る。

内匠寮 宮殿其他建造物の保管、建築、庭苑園藝、電氣、寫眞に關する事務を掌る。

主馬寮 馬車、馬匹、自動車、收場及輸送に關する事務を掌る。

省外官府 内大臣府、臨時帝室編修局、帝室會計審查局、帝室林野局がその主なるものである。

樞密院 (宮城内)

樞密院は天皇親臨して重要な國務を諮詢し給ふ所であつて、議長、副議長各一人、顧問官二十四人、書記長官一人、書記官を以つて組織され、會議は顧問官十名以上出席を以つて開かれる。各大臣はその職權上よりして本院に於て顧問官たるの地位を有し、議席に列し表決の權を有する。本院は行政及立法の事に關し、天皇の最高の顧問たるも施政には干與せず。

國葬

明治以來國葬を賜はれる功臣左の如し。
 岩倉具視 明治一六 島津久光 明治二〇
 三條實美 同 二四 毛利元徳 同 二九
 島津忠義 同 三〇 伊藤博文 同 四二
 大山 巖 大 正五 山縣有朋 同 一一
 松方正義 同 一三 東郷平八郎 昭和 九

御料地面積

(昭和八年八月末現在)

種別	宮殿地	林野	農地	宅地	雑地	計
世傳	四六町	二〇八、五二町	一町	七町	一町	二〇九、〇九町
普通	一三三、一〇四、九〇九	五、二五	一九	四、二九六	一、〇八五、八六	一、三三三、〇三〇
計	六〇〇	一、三三三、〇三〇	二五、二五	四、三三三	一、三九四、九二六	二、〇〇〇、〇〇〇
昭三	六五	一、二四、九六	九、〇七五	二、二二	一、三三、二二	一、三三、二二
元	六七	一、三九、四〇	一、三三	三二	五、四六	一、五八、二六

位階

明治二十年敍位條例制定せられ、正一位より從八位に至る十六階となされ、大正十五年位階令制定同時に敍位條例は廢止となり、位は(一)國家に勳功あり、又は表彰すべき功績ある者(二)有爵者及爵を襲ぐことを得べき相續人(三)在官者及在職者之に敍せられ、一位は親授、二位以下四位以上は勅授、五位以下は奏授である。有位者は其位に相當する禮遇を享ける。

あり。又褒章に準ずべき奇篤の行爲にも褒狀を授けられる。

賜杯賜金 場合により褒狀に代へ又は褒狀と合せて金銀木杯又は金員を賜はることあり。尙昭和七年度褒章受領者左の如し。

- 紅綬、綠綬、藍綬共になし。紺綬一二三
- 賞杯(公益) 一 褒狀(寄附)九八一人

勳章

勳章は勳績及功勞ある者を賞する爲、明治八年初めて制定されたもので一等より八等に至り、當初旭日章(及び桐葉章)一種だけであつたが、翌年大勳位菊花大綬章、大勳位菊花章追定せられ、同二十一年勳一等旭日大綬章の上に勳一等旭日桐花大綬章追加せられると共に勳一等より勳八等に至る。

瑞寶章 同じく寶冠章(婦人)制定せられ且つ大勳位に敍せられたものに特賜せらる大勳位菊花章頸飾が制定せられ、同二十三年に武勳拔群なる者に賜る金鷄勳章が制定された。

尙旭日章には年金を加賜される場合あり、金鷄勳章には終身必ず定額の年金を賜與される。昭和七年末に於ける勳章記章佩用の人員及個數は一、一六、四三四人 一、二五一、二五八個である。

褒章

紅綬、綠綬、及藍綬は明治十四年の制定、紺綬は大正七年九月の追加に係り、黃綬は明治二十年の臨時制定に係る。褒章は本人に限り終身之を佩用するを得。紅綬褒章 は自己の危険を顧みず人命を救助したるものに。

綠綬褒章 は孝子、順孫、節婦、義僕の類にして徳行卓絶なるもの、又は實業に精勵し衆民の模範たるべきものに。

藍綬褒章 は學術技藝上の發明、改良、著述、教育、衛生、慈善、防疫の事業、學校、病院の建設、道路、河渠、堤防、橋梁の修築、田野の開墾、森林の栽培、水産の増殖、農商工の發達に關し、公衆の利益を起し成績顯著なるもの又は公衆の事務に關し勞功顯著なるものに。

紺綬褒章 は公益のため私財を寄附し功績顯著なるものに賜與せられ。

黃綬褒章 は當時海防の爲に資を献じて、其事業を贊助せしものに對し臨時に賜與せられたものである。飾版 已に褒章を賜りたるもの、再度以上同様の實行ある時は其都度飾版一個を賜與し其の綬に附加せしめらる。

褒狀 表彰せらるべきもの團體なる時は褒狀を賜り其の死亡したる時は遺族に賜るか又は追賞さるゝこと

日本曆、西曆、支那曆對照表

日本	西曆	支那
天保元	一八三〇	道光 二〇
二	一八三一	二一
三	一八三二	二二
四	一八三三	二三
五	一八三四	二四
六	一八三五	二五
七	一八三六	二六
八	一八三七	二七
九	一八三八	二八
一〇	一八三九	二九
一一	一八四〇	三〇
一二	一八四一	三一
一三	一八四二	三二
一四	一八四三	三三
一五	一八四四	三四
一六	一八四五	三五
一七	一八四六	三六
一八	一八四七	三七
一九	一八四八	三八
二〇	一八四九	三九
二一	一八五〇	四〇
二二	一八五一	四一
二三	一八五二	四二
二四	一八五三	四三
二五	一八五四	四四
二六	一八五五	四五
二七	一八五六	四六
二八	一八五七	四七
二九	一八五八	四八
三〇	一八五九	四九
三二	一八六一	五一
三三	一八六二	五二
三四	一八六三	五三
三五	一八六四	五四
三六	一八六五	五五
三七	一八六六	五六
三八	一八六七	五七
三九	一八六八	五八
四〇	一八六九	五九
四一	一八七〇	六〇
四二	一八七一	六一
四三	一八七二	六二
四四	一八七三	六三
四五	一八七四	六四
四六	一八七五	六五
四七	一八七六	六六
四八	一八七七	六七
四九	一八七八	六八
五〇	一八七九	六九
五一	一八八〇	七〇
五二	一八八一	七一
五三	一八八二	七二
五四	一八八三	七三
五五	一八八四	七四
五六	一八八五	七五
五七	一八八六	七六
五八	一八八七	七七
五九	一八八八	七八
六〇	一八八九	七九
六一	一八九〇	八〇
六二	一八九一	八一
六三	一八九二	八二
六四	一八九三	八三
六五	一八九四	八四
六六	一八九五	八五
六七	一八九六	八六
六八	一八九七	八七
六九	一八九八	八八
七〇	一八九九	八九
七一	一九〇〇	九〇
七二	一九〇一	九一
七三	一九〇二	九二
七四	一九〇三	九三
七五	一九〇四	九四
七六	一九〇五	九五
七七	一九〇六	九六
七八	一九〇七	九七
七九	一九〇八	九八
八〇	一九〇九	九九
八一	一九一〇	一〇〇
八二	一九一一	〇一
八三	一九一二	〇二
八四	一九一三	〇三
八五	一九一四	〇四
八六	一九一五	〇五
八七	一九一六	〇六
八八	一九一七	〇七
八九	一九一八	〇八
九〇	一九一九	〇九
九一	一九二〇	一〇
九二	一九二一	一一
九三	一九二二	一二
九四	一九二三	一三
九五	一九二四	一四
九六	一九二五	一五
九七	一九二六	一六
九八	一九二七	一七
九九	一九二八	一八
一〇〇	一九二九	一九

大日本帝國憲法

朕祖宗ノ遺烈ヲ承ケ萬世一系ノ帝位ヲ踐ミ朕カ親愛スル所ノ臣民ハ即チ朕カ祖宗ノ惠撫慈養シタマヒシ所ノ臣民ナルヲ念ヒ其ノ康福ヲ増進シ其ノ懿德良能ヲ發達セシメムコトヲ願ヒ又其ノ翼贊ニ依リ與ニ俱ニ國家ノ進運ヲ扶持セムコトヲ望ミ乃チ明治十四年十月十二日ノ詔命ヲ履踐シ茲ニ大憲ヲ制定シ朕カ率由スル所ヲ示シ朕カ後嗣及臣民及臣民ノ子孫タル者ヲシテ永遠ニ循行スル所ヲ知ラシム

國家統治ノ大權ハ朕カ之ヲ祖宗ニ承ケテ之ヲ子孫ニ傳フル所ナリ朕及朕カ子孫ハ將來此ノ憲法ノ條章ニ循ヒ之ヲ行フコトヲ意ラサルヘシ

朕ハ我カ臣民ノ權利及財産ノ安全ヲ貴重シ及之ヲ保護シ此ノ憲法及法律ノ範圍内ニ於テ其ノ享有ヲ完全ナラシムヘキコトヲ宣言ス

帝國議會ハ明治二十三年ヲ以テ之ヲ召集シ議會開會ノ時ヲ以テ此ノ憲法ヲシテ有效ナラシムルノ期トスヘシ將來若此ノ憲法ノ或ル條章ヲ改定スルノ必要ナル時宜ヲ見ルニ至ラハ朕及朕カ繼統ノ子孫ハ發議ノ權ヲ執リ之ヲ議會ニ付シ議會ハ此ノ憲法ニ定メタル要件ニ依リ之ヲ議決スルノ外朕カ子孫及臣民ハ敢テ之カ紛更ヲ試ミルコトヲ得サルヘシ

朕カ在廷ノ大臣ハ朕カ爲ニ此ノ憲法ヲ施行スルノ責ニ任スヘク朕カ現在及將來ノ臣民ハ此ノ憲法ニ對シ永遠ニ從順ノ義務ヲ負フヘシ

御名 御璽

明治二十二年二月十一日

大日本帝國憲法

第一章 天皇

- 第一條 大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス
- 第二條 皇位ハ皇室典範ノ定ムル所ニ依リ皇男子孫之ヲ繼承ス
- 第三條 天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス
- 第四條 天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總攬シ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フ
- 第五條 天皇ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ立法權ヲ行フ
- 第六條 天皇ハ法律ヲ裁可シ其ノ公布及執行ヲ命ス
- 第七條 天皇ハ帝國議會ヲ召集シ其ノ開會閉會停會及衆議院ノ解散ヲ命ス
- 第八條 天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其災厄ヲ避クル爲緊急ノ必要ニ由リ帝國議會閉會ノ場合ニ於テ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發ス此勅令ハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出スヘシ若議會ニ於テ承諾セサルトキハ政府ハ將來ニ向テ其効力ヲ失フコトヲ公布スヘシ
- 第九條 天皇ハ法律ヲ執行スル爲ニ又ハ公共ノ安寧秩序ヲ有ス

序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ又ハ發セシム但シ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ得ス

第十條 天皇ハ行政各部ノ官制及文武官ノ俸給ヲ定メ及文武官ヲ任免ス但シ此ノ憲法又ハ他ノ法律ニ特例ヲ掲ケタルモノハ各々其ノ條項ニ依ル

第十一條 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス

第十二條 天皇ハ陸海軍ノ編制及常備兵額ヲ定ム

第十三條 天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講シ及諸般ノ條約ヲ締結ス

第十四條 天皇ハ戒嚴ヲ宣告ス

第十五條 戒嚴ノ要件及效力ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 天皇ハ爵位勳章及其他ノ榮典ヲ授與ス

第十七條 天皇ハ大赦特赦減刑及復權ヲ命ス

第十八條 攝政ヲ置クハ皇室典範ノ定ムル所ニ依ル

攝政ハ天皇ノ名ニ於テ大權ヲ行フ

第二章 臣民權利義務

第十八條 日本臣民タルノ要件ハ法律ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 日本臣民ハ法律命令ノ定ムル所ノ資格ニ應シ均ク文武官ニ任セラレ及其ノ他ノ公務ニ就クコトヲ得

第二十條 日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ兵役ノ義務ヲ有ス

帝國憲法

- 第二十一條 日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ納稅ノ義務ヲ有ス
- 第二十二條 日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ居住及移轉ノ自由ヲ有ス
- 第二十三條 日本臣民ハ法律ニ依ルニ非スシテ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシ
- 第二十四條 日本臣民ハ法律ニ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權ヲ奪ハルルコトナシ
- 第二十五條 日本臣民ハ法律ニ定メタル場合ヲ除ク外信書ノ秘密ヲ侵サルルコトナシ
- 第二十七條 日本臣民ハ其ノ所有權ヲ侵サルルコトナシ
- 第二十八條 公益ノ爲必要ナル處分ハ法律ノ定ムル所ニ依ル
- 第二十九條 日本臣民ハ安寧秩序ヲ妨ケス及臣民タルノ義務ニ背カサル限ニ於テ信教ノ自由ヲ有ス
- 第三十條 日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ言論著作印行集會及結社ノ自由ヲ有ス
- 第三十一條 日本臣民ハ相當ノ敬禮ヲ守リ別ニ定ムル所ノ規程ニ從ヒ請願ヲ爲スコトヲ得
- 第三十二條 本章ニ掲ケタル條規ハ戰時又ハ國家事變ノ場合ニ於テ天皇大權ノ施行ヲ妨クルコトナシ
- 第三十三條 本章ニ掲ケタル條規ハ陸海軍ノ法令又ハ紀律ニ牴觸セサルモノニ限り軍人ニ準行ス

第三章 帝國議會

- 第三十三條 帝國議會ハ貴族院衆議院ノ兩院ヲ以テ成立ス
- 第三十四條 貴族院ハ貴族院令ノ定ムル所ニ依リ皇族華族及勅任セラレタル議員ヲ以テ組織ス
- 第三十五條 衆議院ハ選舉法ノ定ムル所ニ依リ公選セラレタル議員ヲ以テ組織ス
- 第三十六條 何人モ同時ニ兩議院ノ議員タルコトヲ得ス
- 第三十七條 凡テ法律ハ帝國議會ノ協賛ヲ經ルヲ要ス
- 第三十八條 兩議院ハ政府ノ提出スル法律案ヲ議決シ及各々法律案ヲ提出スルコトヲ得
- 第三十九條 兩議院ノ一ニ於テ否決シタル法律案ハ同會期中ニ於テ再ヒ提出スルコトヲ得
- 第四十條 兩議院ハ法律又ハ其ノ他ノ事件ニ付各々其ノ意見ヲ政府ニ建議スルコトヲ得但シ其ノ採納ヲ得サルモノハ同會期中ニ於テ再ヒ建議スルコトヲ得
- 第四十一條 帝國議會ハ毎年之ヲ召集ス
- 第四十二條 帝國議會ハ三箇月ヲ以テ會期トス必要アル場合ニ於テハ勅命ヲ以テ之ヲ延長スルコトアルヘシ
- 第四十三條 臨時緊急ノ必要アル場合ニ於テ常會ノ外臨時會ヲ召集スヘシ
- 臨時會ノ會期ヲ定ムルハ勅命ニ依ル

- 第四十四條 帝國議會ノ開會閉會會期ノ延長及停會ハ兩院同時ニ之ヲ行フヘシ
- 衆議院解散ヲ命セラレタル時ハ貴族院ハ同時ニ停會セラレヘシ
- 第四十五條 衆議院解散ヲ命セラレタルトキハ勅命ヲ以テ新ニ議員ヲ選舉セシメ解散ノ日ヨリ五箇月以内ニ之ヲ召集スヘシ
- 第四十六條 兩議院ハ各々其ノ總議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得
- 第四十七條 兩議院ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可ク同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- 第四十八條 兩議院ノ會議ハ公開ス但シ政府ノ要求又ハ其ノ院ノ決議ニ依リ秘密會ト爲スコトヲ得
- 第四十九條 兩議院ハ各々天皇ニ上奏スルコトヲ得
- 第五十條 兩議院ハ臣民ヨリ呈出スル請願書ヲ受クルコトヲ得
- 第五十一條 兩議院ハ此ノ憲法及議院法ニ掲ケルモノノ外内部ノ整理ニ必要ナル諸規則ヲ定ムルコトヲ得
- 第五十二條 兩議院ノ議員ハ議院ニ於テ發言シタル意見及表決ニ付院外ニ於テ責ヲ負フコトナシ但シ議員自ラ其ノ言論ヲ演說刊行筆記又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ公布シタルトキハ一般ノ法律ニ依リ處分セララルヘシ
- 第五十三條 兩議院ノ議員ハ現行犯罪又ハ内亂外患ニ

關スルヲ除ク外會期中其ノ院ノ許諾ナクシテ逮捕セララルコトナシ

- 第五十四條 國務大臣及政府委員ハ何時タリトモ各議院ニ出席シ及發言スルコトヲ得

第四章 國務大臣及樞密顧問

- 第五十五條 國務大臣ハ天皇ヲ輔弼シ其ノ責ニ任ス凡テ法律勅令其ノ他國務ニ關スル詔勅ハ國務大臣ノ副署ヲ要ス
- 第五十六條 樞密顧問ハ樞密院官制ノ定ムル所ニ依リ天皇ノ諮詢ニ應ヘ重要ノ國務ヲ審理ス

第五章 司法

- 第五十七條 司法權ハ天皇ノ名ニ於テ法律ニ依リ裁判所之ヲ行フ
- 第五十八條 裁判官ハ法律ニ定メタル資格ヲ具フル者ヲ以テ之ニ任ス
- 裁判官ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルノ外其ノ職ヲ免セララルコトナシ
- 懲戒ノ條規ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム
- 第五十九條 裁判ノ對審判決ハ之ヲ公開ス但シ安寧秩序又ハ風俗ヲ害スルノ虞アルトキハ法律ニ依リ又ハ裁判所ノ決議ヲ以テ對審ノ公開ヲ停ムルコトヲ得
- 第六十條 特別裁判所ノ管轄ニ屬スヘキモノハ別ニ法

律ヲ以テ之ヲ定ム

- 第六十一條 行政官廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタルトスルノ訴訟ニシテ別ニ法律ヲ以テ定メタル行政裁判所ノ裁判ニ屬スヘキモノハ司法裁判所ニ於テ受理スルノ限ニ在ラス

第六章 會計

- 第六十二條 新ニ租稅ヲ課シ及稅率ヲ變更スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
- 但シ報償ニ屬スル行政上ノ手数料及其ノ他ノ收納金ハ前項ノ限ニ在ラス
- 國債ヲ起シ及豫算ニ定メタルモノヲ除ク外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スハ帝國議會ノ協賛ヲ經ヘシ
- 第六十三條 現行ノ租稅ハ更ニ法律ヲ以テ之ヲ改メサル限ハ舊ニ依リ之ヲ徵收ス
- 第六十四條 國家ノ歲出歲入ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經ヘシ
- 豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出アルトキハ後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス
- 第六十五條 豫算ハ前ニ衆議院ニ提出スヘシ
- 第六十六條 皇室經費ハ現在ノ定額ニ依リ毎年國庫ヨリ之ヲ支出シ將來増額ヲ要スル場合ヲ除ク外帝國議會ノ協賛ヲ要セス
- 第六十七條 憲法上ノ大權ニ基ツケル既定ノ歲出及法律ノ結果ニ依リ又ハ法律上政府ノ義務ニ屬スル歲出

ハ政府ノ同意ナクシテ帝國議會之ヲ廢除シ又ハ削減スルコトヲ得ス

第六十八條 特別ノ須要ニ因リ政府ハ豫メ年限ヲ定メ繼續費トシテ帝國議會ノ協賛ヲ求ムルコトヲ得

第六十九條 避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ爲ニ又ハ豫算ノ外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ

第七十條 公共ノ安全ヲ保持スル爲緊急ノ需要アル場合ニ於テ内外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召集スルコト能ハサルトキハ勅令ニ依リ財政上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス

第七十一條 帝國議會ニ於テ豫算ヲ議定セス又ハ豫算成立ニ至ラサルトキハ政府ハ前年度ノ豫算ヲ施行スヘシ

第七十二條 國家ノ歳出歳入ノ決算ハ會計検査院之ヲ検査確定シ政府ハ其ノ検査報告ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七章 補則

第七十三條 將來此ノ憲法ノ條項ヲ改正スルノ必要アルトキハ勅命ヲ以テ議案ヲ帝國議會ノ議ニ付スヘシ此ノ場合ニ於テ兩議院ハ各々其ノ總員三分ノ二以上

出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス出席議員三分二以上ノ多數ヲ得ルニ非サレハ改正ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第七十四條 皇室典範ノ改正ハ帝國議會ノ議ヲ經ルヲ要セス

皇室典範ヲ以テ此ノ憲法ノ條規ヲ變更スルコトヲ得ス

第七十五條 憲法及皇室典範ハ攝政ヲ置クノ間之ヲ變更スルコトヲ得ス

第七十六條 法律規則命令又ハ何等ノ名稱ヲ用キタルニ拘ラス此ノ憲法ニ矛盾セサル現行ノ法令ハ總テ遵守ノ效力ヲ有ス

讓出上政府ノ義務ニ係ル現在ノ契約又ハ命令ハ總テ第六十七條ノ例ニ依ル

皇室典範

(明治二十二年二月十一日)

天佑ヲ享有シタル我カ日本帝國ノ寶祚ハ萬世一系歴代繼承シ以テ朕カ躬ニ至ル惟フニ祖宗肇國ノ初大憲一タヒ定マリ昭ナルコト日星ノ如シ今ノ時ニ當リ宜ク遺訓ヲ明徴ニシ皇家ノ成典ヲ制立シ以テ丕基ヲ永遠ニ鞏固ニスヘシ

皇室典範

第一章 皇位繼承

第一條 大日本國皇位ハ祖宗ノ皇統ニシテ男系ノ男子之ヲ繼承ス

第二條 皇位ハ皇長子ニ傳フ

第三條 皇長子アラサルトキハ皇長孫ニ傳フ

皇長子及其ノ子孫皆在ラサルトキハ皇次子及其ノ子孫ニ傳フ以下皆之ニ例ス

第四條 皇子孫ノ皇位ヲ繼承スルハ嫡出ヲ先ニス皇庶子孫ノ皇位ヲ繼承スルハ皇嫡子孫皆在ラサルトキニ限ル

第五條 皇子孫皆在ラサルトキハ皇兄弟及其ノ子孫ニ傳フ

第六條 皇兄弟及其ノ子孫皆在ラサルトキハ皇伯叔父及其ノ子孫ニ傳フ

第七條 皇伯叔父及其ノ子孫皆在ラサルトキハ其ノ以上ニ於テ最近親ノ皇族ニ傳フ

第八條 皇兄弟以上ハ同等内ニ於テ嫡ヲ先ニシ庶ヲ後ニシ長ヲ先ニシ幼ヲ後ニス

第九條 皇嗣精神若ハ身體ノ不治ノ重患アリ又ハ重大ノ事故アルトキハ皇族會議及樞密顧問ニ諮詢シ前數條ニ依リ繼承ノ順序ヲ換フルコトヲ得

帝國憲法

第二章 踐祚即位

第十條 天皇崩スルトキハ皇嗣即チ踐祚シ祖宗ノ神器ヲ承ク

第十一條 即位ノ禮及大嘗祭ハ京都ニ於テ之ヲ行フ

第十二條 踐祚ノ後元號ヲ建テ一世ノ間ニ再ヒ改メサルコト明治元年ノ定制ニ從フ

第十三條 成年立后立太子

第十四條 前條ノ外ノ皇族ハ滿二十年ヲ以テ成年トス

第十五條 儲嗣タル皇子ヲ皇太子トス皇太子在ラサルトキハ儲嗣タル皇孫ノ皇太孫トス

第十六條 皇后皇太子皇太孫ヲ立ツルトキハ詔書ヲ以テ之ヲ公布ス

第四章 敬稱

第十七條 天皇太皇太后皇太后皇后ノ敬稱ハ陛下トス

第十八條 皇太子皇太妃皇太孫皇太孫妃親王親王妃內親王王妃女王ノ敬稱ハ殿下トス

第十九條 天皇未タ成年ニ達セサルトキハ攝政ヲ置ク

第二十條 攝政ハ成年ニ達シタル皇太子又ハ皇太孫之ニ任ス

第二十一條 皇太子皇太孫在ラサルカ又ハ未タ成年ニ達セサルトキハ左ノ順序ニ依リ攝政ニ任ス

第一 親王及王

第二 皇后

第三 皇太后

第四 太皇太后

第五 内親王及女王

第二十二條 皇族男子ノ攝政ニ任スルハ皇位繼承ノ順序ニ從フ其ノ女子ニ於ケルモ亦之ニ準ス

第二十三條 皇族女子ノ攝政ニ任スルハ其ノ配偶アラサル者ニ限ル

第二十四條 最近親ノ皇族未タ成年ニ達セサルカ又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ他ノ皇族攝政ニ任シタルトキハ後來最近親ノ皇族成年ニ達シ又ハ其ノ事故既ニ除クト雖皇太子及皇太孫ニ對スルノ外其ノ任ヲ讓ルコトナシ

第二十五條 攝政又ハ攝政タルヘキ者精神若ハ身體ノ重患アリ又ハ重大ノ事故アルトキハ皇族會議及樞密顧問ノ議ヲ經テ其ノ順序ヲ換フルコトヲ得

第六章 太 傅

第二十六條 天皇未タ成年ニ達セサルトキハ太傅ヲ置

官僚ニ命シ保育ヲ掌ラシム事宜ニ依リ天皇ハ其ノ父母ノ選舉セル後見人ヲ認可シ又ハ之ヲ委任スヘシ

第三十八條 皇族ノ後見人ハ成年以上ノ皇族ニ限ル

第三十九條 皇族ノ婚嫁ハ同族又ハ勅旨ニ由リ特ニ認許セラレタル華族ニ限ル

第四十條 皇族ノ婚嫁ハ勅許ニ由ル

第四十一條 皇族ノ婚嫁ヲ許可スルノ勅書ハ宮内大臣之ニ副署ス

第四十二條 皇族ハ養子ヲ爲スコトヲ得ス

第四十三條 皇族國疆ノ外ニ旅行セムトスルトキハ勅許ヲ請フヘシ

第四十四條 皇族女子ノ臣籍ニ嫁シタルモノハ皇族ノ列ニ在ラス但シ特旨ニ依リ仍内親王女王ノ稱ヲ有セシムルコトアルヘシ

第八章 世 傳 御 料

第四十五條 土地物件ノ世傳御料ト定メタルモノハ分割讓與スルコトヲ得ス

第四十六條 世傳御料ニ編入スル土地物件ハ樞密顧問ニ諮詢シ勅書ヲ以テ之ヲ定メ宮内大臣之ヲ公告ス

第九章 皇 室 經 費

第四十七條 皇室諸般ノ經費ハ特ニ常額ヲ定メ國庫ヨリ支出セシム

第四十八條 皇室經費ノ豫算決算検査及其ノ他ノ規則

キ保育ヲ掌ラシム

第二十七條 先帝遺命ヲ以テ太傅ヲ任セザリシトキハ攝政ヨリ皇族會議及樞密顧問ニ諮詢シ之ヲ選任ス

第二十八條 太傅ハ攝政及其ノ子孫之ニ任スルコトヲ得ス

第二十九條 攝政ハ皇族會議及樞密顧問ニ諮詢シタル後ニ非サレハ太傅ヲ退職セシムルコトヲ得ス

第七章 皇 族

第三十條 皇族ト稱フルハ太皇太后皇太后皇后皇太子皇太子妃皇太孫皇太孫妃親王妃親王妃内親王王妃女王

ヲ謂フ

第三十一條 皇子ヨリ皇太孫ニ至ルマテハ男ヲ親王女

ヲ内親王トシ五世以下ハ男ヲ王女ヲ女王トス

第三十二條 天皇支系ヨリ入テ大統ヲ承クルトキハ皇

兄弟姉妹ノ女王タル者ニ特ニ親王内親王ノ號ヲ宣

賜ス

第三十三條 皇族ノ誕生命名婚嫁薨去ハ宮内大臣之ヲ

公告ス

第三十四條 皇統譜及前條ニ關ル記録ハ圖書寮ニ於テ

尙藏ス

第三十五條 皇族ハ天皇之ヲ監督ス

第三十六條 攝政在任ノ時ハ前條ノ事ヲ攝行ス

第三十七條 皇族男女幼年ニシテ父ナキモノハ宮内ノ

ハ皇室會計法ノ定ムル所ニ依ル

第十章 皇 族 訴 訟 及 懲 戒

第四十九條 皇族相互ノ民事ノ訴訟ハ勅旨ニ依リ宮内

省ニ於テ裁判員ヲ命シ裁判セシメ勅裁ヲ經テ之ヲ執

行ス

第五十條 人民ヨリ皇族ニ對スル民事ノ訴訟ハ東京控

訴院ニ於テ之ヲ裁判ス但シ皇族ハ代人ヲ以テ訴訟ニ

當ラシメ自ラ訟廷ニ出ルヲ要セス

第五十一條 皇族ハ勅許ヲ得ルニ非サレハ勾引シ又ハ

裁判所ニ召喚スルコトヲ得ス

第五十二條 皇族其ノ品位ヲ辱ムルノ所行アリ又ハ皇

室ニ對シ忠順ヲ缺クトキハ勅旨ヲ以テ之ヲ懲戒シ其

ノ重キ者ハ皇族特權ノ一部又ハ全部ヲ停止シ若ハ剝

奪スヘシ

第五十三條 皇族蕩產ノ所行アルトキハ勅旨ヲ以テ治

産ノ禁ヲ宣告シ其管財者ヲ任スヘシ

第五十四條 前二條ハ皇族會議ニ諮詢シタル後之ヲ勅

裁ス

第十一章 皇 族 會 議

第五十五條 皇族會議ハ成年以上ノ皇族男子ヲ以テ組

織シ内大臣樞密院長宮内大臣司法大臣大審院長ヲ

以テ參列セシム

第五十六條 天皇ハ皇族會議ニ親臨シ又ハ皇族中ノ一

員ニ命シテ議長タラシム

第十二章 補 則

第五十七條 現在ノ皇族五世以下親王ノ號ヲ宣賜シタル者ハ舊ニ依ル

第五十八條 皇位繼承ノ順序ハ總テ實系ニ依ル現在皇養子皇猶子又ハ他ノ繼承タルノ故ヲ以テ之ヲ混スルコトナシ

第五十九條 親王内親王王女王ノ品位ハ之ヲ廢ス

第六十條 親王ノ家格及其ノ他此ノ典範ニ牴觸スル例規ハ總テ之ヲ廢ス

第六十一條 皇族ノ財産歳費及諸規則ハ別ニ之ヲ定ム

第六十二條 將來此ノ典範ノ條項ヲ改正シ又ハ増補スヘキノ必要アルニ當テハ皇族會議及樞密顧問ニ諮詢シテ之ヲ勅定スヘシ

皇室典範増補

(明治四十年二月十一日)

天祐ヲ享有シタル我カ日本帝國皇家ノ成典ハ祖宗ノ洪範ヲ紹述シテ敢テ違フコトアルナシ而シテ人文ノ發展ハ寰宇ノ進運ニ隨ヒ制度ノ燦備ハ條章ノ増廣ヲ必トス是ノ時ニ當リ朕ハ祖宗ノ不基ヲ永遠ニ鞏固ニスル所以ノ良圖ヲ惟ヒ且憲章ニ由テ以テ皇族ノ分義ヲ昭ニセム

定ハ此典範又ハ之ニ基キ發スル規則ニ別段ノ條規ナキトキニ限り之ヲ適用ス

皇室典範増補

(大正七年十一月二十八日)

朕惟フニ祖宗ノ遺範ヲ超述シ時ニ隨ヒ宜ヲ制シ以テ國運ノ進展ニ順應スルハ皇考ノ宏謨ニシテ朕ノ率循スル所ナリ今ハ皇家ノ成典ヲ増廣スルノ要ヲ認メ皇族會議及樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ皇室典範増補ヲ裁定シ茲ニ之ヲ公布セシム

皇室典範増補

皇族女子又ハ王族又ハ公族ニ嫁スルコトヲ得

宮廷錄事

聖駕御來縣

大元帥陛下には昭和九年十一月十日陸軍特別大演習御統裁の爲め上毛の地に錦旗を進めさせられた。この日秋晴なる北關東の空は一片の雲もなく、上毛の三山紅葉に映えて、翹望久しかりし百廿萬縣民は或は御道筋に奉迎、或は神社佛閣にて遙拜の式を行ひ、全縣光

宮廷錄事

コトヲ欲シ茲ニ皇族會議及樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ皇室典範増補ヲ裁定シ朕ガ子孫及臣民ヲシテ之ニ率由シテ愆ルコトナキコトヲ期セシム

皇室典範増補

第一條 王ハ勅旨又ハ情願ニ依リ家名ヲ賜ヒ華族ニ列セシムルコトアルヘシ

第二條 王ハ勅許ニ依リ華族ノ家督相續人トナリ又ハ家督相續ノ目的ヲ以テ華族ノ養子トナルコトヲ得

第三條 前二條ニ依リ臣籍ニ入りタル者ノ妻直系卑屬及其ノ妻ハ其ノ家ニ入ル但シ他ノ皇族ニ嫁シタル女子及其ノ直系卑屬ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 特權ヲ剝奪セラレタル皇族ハ勅旨ニ由リ臣籍ニ降スコトアルヘシ

前項ニ依リ臣籍ニ降サレタル者ノ妻ハ其ノ家ニ入ル

第五條 第一條第二條第四條ノ場合ニ於テハ皇族會議及樞密顧問ノ諮詢ヲ經ヘシ

第六條 皇族ノ臣籍ニ入りタル者ハ皇族ニ復スルコトヲ得ス

第七條 皇族ノ身位其他ノ權義ニ關スル規程ハ此典範ニ定メタルモノノ外別ニ之ヲ定ム

皇族ト人民トニ涉ル事項ニシテ各々適用スヘキ法規ヲ異ニスルトキハ前項ノ規程ニ依ル

第八條 法律命令中皇族ニ適用スヘキモノトシタル規

榮と感激のるつぼと化した。

御召列車は午後一時廿分上野驛を發御、午後二時三十五分前橋驛ホームに着御、ホームには久通侯爵、林陸相、大角海相以下海陸の諸將星、友邦滿洲國武官、各縣知事、江原前橋知事、金澤縣會議長、代議士、縣會議員等堵列し、また關係府縣代表有資格者は待合室兩側に整列して奉迎申し上げた。

陛下には龍顏殊の外御麗はしく午後三時四十三分、榮光に輝く大本營に着御遊ばされた。斯くして將兵約六萬參加し、近代科學の粹を集めた陸軍特別大演習を御統監遊ばされ、十四日には大觀兵式を高崎練兵場で御親閱あらせられた。又十五日よりは地方行幸あらせられ、御駐紮遊ばさること第九日、即ち十一月十八日御還幸あらせられたのである。

秩父宮殿下御來縣

秩父宮殿下には大演習御參加の爲めに、昭和九年十一月御來縣、前橋市曲輪町麻屋デパート社長手塚鎌五郎氏別邸にお成りになつた。

閑院參謀總長宮殿下御來縣

大演習統監部幕僚長の重任を帯びさせらるゝ閑院參謀總長宮殿下には、九年十一月五、六兩日埼玉、栃木を御檢分の上、六日午前館林町躰躰ヶ岡公園へ、更に渡

瀬大橋を御通過栃木縣佐野町に、午後三時十三分桐生驛御通過、三時十五分前橋驛御着あらせられ、同四時五十分九日までの宿泊所伊香保ホテルに向はせられた。同日高崎歩兵第十五聯隊を御検分、更に日赤支部病院に台臨あらせられ、次で大本營を御検分あらせられ、午後四時十五分御宿舎伊香保ホテルに御歸還遊ばされた。

梨本宮守正王殿下御來縣

殿下には大日本武徳會總裁並に日本消防協會總裁の御資格を以て九年九月九日午前十一時三分前橋驛御着、前橋市群馬會館に入らせられ、官民代表に謁を賜ひ有功章御授與の後午後一時十分武徳殿に御成り、武道大會選手の奉迎を受けさせられ、縣武徳殿落成記念台覽演武大會を台覽、三時十分群馬會館に御成り少憩の後群馬縣交水社を御視察、伊香保温泉伊香保ホテルに御假泊遊ばされた。翌十日には午前八時自動車で御發桐生市の産業を御視察の上、零時五十分再び桐生を御發伊勢崎に入らせられ、伊勢崎競馬場で縣下消防組の御檢閲を遊ばされ、三時五十分御發、四時三十五分下り東庄驛御發御歸還遊ばされた。

李王根殿下御來縣

李王根殿下には九年二月奥日光國立公園尾瀬沼の御探勝と高山植物御研究の爲め御來縣、高崎驛御着の後

午前九時七分上越線沼田驛に御着、午前十時半片品村古仲に御着、御乗馬にて戸倉部落玉城館に御着、菖蒲平に於ては安達校長から高山植物についての御説明を御聽取遊ばされた。又三日には尾瀬原を出發し磐嶽に御登山、夕刻長藏小屋に御一泊、四日は三平峠の嶮を越えて古仲及丸沼に向はせられた。

北白川宮永久王殿下御來縣

殿下には九年九月二十五日陸軍砲工學校高崎地方現地戰術演習に御參加の爲め午前十時四十八分高崎驛御着、正午高崎聯隊に台臨、營内を御視察、午後一時御出門、二十九日まで御滞在、演習に御參加遊ばされた御假泊所は市内柳川町岡源別館である。

朝香師團長宮殿下御來縣

朝香近衛師團長宮殿下には演習御統監の爲め昭和十年一月十六日午後零時廿四分高崎驛に御着、演習地向はせられ、十八日まで御滞在あらせられた。

各宮殿下御來縣

昭和九年十一月大演習の爲めに御來縣遊ばされた方々に、閑院宮春仁王殿下、賀陽宮恒憲王殿下、竹田宮恒徳王殿下、李王根殿下、李鍵公殿下、李錕公殿下を記し奉るの光榮を荷負ふものである。

館林綿織物工業組合

本店 館林町

伊勢崎織物工業組合

本店 伊勢崎町

實用百貨 良品廉賣

洋品を主とするデパート

前橋



龜 升 屋

本店 堅 町 電話 一七六三番
支店 久留万橋際 電話 一三三〇番
電話 一七三八番

國勢篇

帝國の面積概要

帝國の總面積は六十七萬五千百十三方秆に及び内地は五割七分、朝鮮は三割三分、臺灣、樺太は共に五分を占める。

内地の面積を府縣別に見れば、北海道は八萬八千七百七十五方秆で最も廣く、内地面積の二割三分を占め、岩手、福島、長野、岐阜は各々一萬方秆以上で面積の廣い縣に屬し、佐賀、沖繩、神奈川、東京、香川及大阪は何れも千乃至二千方秆臺で面積の狭い方である。

帝國内地の面積は列國中の第二十位であるが、帝國の總面積を列國の屬領を含めた面積に比較すれば第二十一位に上る。

帝國の面積表

内地面積は昭和七年十月一日現在朝鮮、樺太、關東州、滿鐵附屬地、

國勢篇

南洋は昭和五年末現在、臺灣は昭和六年末現在の陸軍參謀本部陸地測量部の調査に據る。

道府縣名	面積(方秆)
△内地	三八二、三〇九、〇〇
北海道	八八、七七五、〇〇四
青森縣	九、六三〇、九二
岩手縣	一五、二三五、三一
宮城縣	七、二七三、七五
秋田縣	一、六六三、八六
山形縣	九、三二五、七六
福島縣	一三、七八一、六一
茨城縣	六、〇九〇、九九
栃木縣	六、四三六、五九
群馬縣	六、三三五、八二
埼玉縣	三、八〇二、七〇
千葉縣	五、〇七八、八一
東京府	二、一四四、七九
神奈川縣	二、三五三、四九
新潟縣	一、二五七、八六
富山縣	四、二五七、四二
石川縣	四、一九七、五一
福井縣	四、〇一七、九七
山梨縣	四、四六五、八七
長野縣	一三、六二六、一三
岐阜縣	一〇、四九四、七〇
靜岡縣	七、七六九、九一
愛知縣	五、〇八一、一四
三重縣	五、七六五、二八
滋賀縣	四、〇五〇、九三
京都府	四、六二一、二〇
大阪府	一、八一三、六三
兵庫縣	八、三二二、八八
奈良縣	三、六八八、六〇
和歌山縣	四、七二三、四二
鳥取縣	三、四八九、四八
島根縣	六、六一八、〇四
岡山縣	七、〇四六、四八
廣島縣	八、四三六、五二
山口縣	六、〇八二、一一
徳島縣	四、一四三、二二
香川縣	一、八五八、七三
愛媛縣	五、六六七、一一
高知縣	七、一〇三、六二
福岡縣	四、九三九、六五
佐賀縣	二、四四三、九〇
長崎縣	四、〇七五、七八
熊本縣	七、四三七、七二

大分縣 鹿兒島縣 沖繩縣
△朝鮮 臺灣
△臺

七、七三八、三〇〇
九、一〇三、五〇〇
二、三八六、二九〇
二二〇、七四〇、七二〇
三五、九七三、五五〇

△樺太 三六、〇八九、七七七
計 六七五、一一三、〇四〇
尙この外に租借地たる
關東洲 三、四六二、四五五
滿鐵附屬地 二九〇、三〇〇

委任統治地として
南洋 二、一四八、八〇〇
があり之等を合算すれば實に六、八
一、〇一四、五九方料となる。

全國道府縣別人口

道府縣別
全 國
北 海 道
青 森 縣
岩 手 縣
宮 城 縣
秋 田 縣
山 形 縣
福 島 縣
茨 城 縣
栃 木 縣
群 馬 縣
埼 玉 縣
千 葉 縣
東 京 府
神 奈 川 縣

道府縣別	戸數	男	女	計
全 國	一二、七〇五、八九六	三三、七九六、四〇〇	三三、四四二、二〇〇	六七、二三八、六〇〇
北 海 道	五〇九、七五八	一、五六五、〇〇〇	一、四三二、九〇〇	二、九九七、九〇〇
青 森 縣	一四八、二九一	四六〇、八〇〇	四五八、七〇〇	九一九、五〇〇
岩 手 縣	一六二、九六五	五〇九、六〇〇	五一〇、四〇〇	一、〇二〇、〇〇〇
宮 城 縣	一八七、六六一	六〇五、〇〇〇	五九六、二〇〇	一、二〇一、二〇〇
秋 田 縣	一六七、〇九五	五〇九、四〇〇	五〇八、七〇〇	一、〇一八、一〇〇
山 形 縣	一七六、九八四	五四七、八〇〇	五六三、四〇〇	一、一一一、二〇〇
福 島 縣	二六三、九三九	七六一、一〇〇	七八八、八〇〇	一、五四九、九〇〇
茨 城 縣	二八一、一一〇	七五七、九〇〇	七七五、四〇〇	一、五三三、三〇〇
栃 木 縣	二〇五、三六〇	五七八、六〇〇	五九三、五〇〇	一、一七二、一〇〇
群 馬 縣	二一七、〇二五	六〇〇、二〇〇	六二五、七〇〇	一、二二五、九〇〇
埼 玉 縣	二六五、三五三	七四〇、六〇〇	七五七、〇〇〇	一、四九七、六〇〇
千 葉 縣	二八一、三一六	七五二、一〇〇	七六〇、〇〇〇	一、五一二、一〇〇
東 京 府	一、一二五、七七三	三、一三一、九〇〇	二、八二三、〇〇〇	五、九五四、九〇〇
神 奈 川 縣	三二二、三〇一	八九八、二〇〇	八四一、四〇〇	一、七三九、六〇〇

新 潟 縣
富 山 縣
石 川 縣
福 井 縣
山 梨 縣
長 野 縣
岐 阜 縣
靜 岡 縣
愛 知 縣
三 重 縣
滋 賀 縣
京 都 府
大 阪 府
兵 庫 縣
奈 良 縣
和 歌 山 縣
鳥 取 縣
島 根 縣
廣 島 縣
山 口 縣
德 島 縣
香 川 縣
高 知 縣

道府縣別	戸數	男	女	計
新 潟 縣	三四六、六八七	九八〇、三〇〇	一、〇〇二、四〇〇	一、九八二、七〇〇
富 山 縣	一五〇、六六一	三八九、六〇〇	四〇六、九〇〇	七九六、五〇〇
石 川 縣	一五五、〇八四	三七〇、一〇〇	三九〇、三〇〇	七六〇、四〇〇
福 井 縣	一一二、〇一一	三一八、八〇〇	三二四、八〇〇	六四三、六〇〇
山 梨 縣	一一二、〇一一	三二四、二〇〇	三二四、八〇〇	六四九、〇〇〇
長 野 縣	三二七、八七一	八五五、〇〇〇	九一四、一〇〇	一、七六九、一〇〇
岐 阜 縣	二二五、〇七一	六〇四、八〇〇	六〇〇、七〇〇	一二〇、五〇〇
靜 岡 縣	二二七、八七一	九三九、二〇〇	九三三、五〇〇	一、八七二、七〇〇
愛 知 縣	五二一、一四六	一、三五三、一〇〇	一、三六一、〇〇〇	二、七一九、一〇〇
三 重 縣	二三五、七〇六	五八六、五〇〇	六〇〇、三〇〇	一、一八六、八〇〇
滋 賀 縣	一四七、九六三	三四六、四〇〇	三六二、五〇〇	七〇八、九〇〇
京 都 府	三二八、二〇二	八三六、八〇〇	八〇二、七〇〇	一、六三九、五〇〇
大 阪 府	七七〇、八六八	一、九九四、六〇〇	一、八二九、七〇〇	三、八二四、三〇〇
兵 庫 縣	五六一、五九九	一、三八八、三〇〇	一、三七一、四〇〇	二、七五九、七〇〇
奈 良 縣	一一〇、三〇二	二九八、八〇〇	三〇四、八〇〇	六〇三、六〇〇
和 歌 山 縣	一七七、四五五	四二八、五〇〇	四二七、八〇〇	八五六、三〇〇
鳥 取 縣	九四、七二九	二四四、一〇〇	二五五、二〇〇	四九九、三〇〇
島 根 縣	一五七、五六八	三七四、一〇〇	三七五、五〇〇	七四九、六〇〇
廣 島 縣	二七四、九一五	六五二、四〇〇	六五八、五〇〇	一、三一〇、九〇〇
山 口 縣	三六〇、八九七	八七九、五〇〇	八五六、七〇〇	一、七三六、二〇〇
德 島 縣	二四九、一八八	五八二、八〇〇	五七七、二〇〇	一一〇、〇〇〇
香 川 縣	一四四、五四〇	三六四、三〇〇	三六八、一〇〇	七三二、四〇〇
高 知 縣	一五〇、一五三	三七八、二〇〇	三七三、九〇〇	七五二、一〇〇
四 七	一五三、九〇九	三六六、三〇〇	三七〇、〇〇〇	七三六、三〇〇

國勢篇

福岡縣	四九六、四四七
佐賀縣	一二八、七三八
長崎縣	二四一、五四七
熊本縣	二五六、二八五
大分縣	一九〇、三一八
宮崎縣	一四八、〇〇六
鹿兒島縣	三三二、〇八八
沖繩縣	一一三、二七四

日本の國富 (昭和五年末現在)
單位百萬圓

總額	一一〇、一八八
官有	一三、四六九
公有	四、六三五
私有	九二、〇八三

國民の所得と消費額

年次	所得總額單位千圓
明治二〇	二二三、五二二
同三〇	四二九、〇三七
同四〇	一、五三二、二七六
同五〇	二、二四六、七五八
大正三〇	一〇、六八八、三二八
同四〇	一三、三八二、三二三
同五〇	一〇、六三五、七五六

國債現在高

總額	八、八九八、五七五、五〇一
內國債	六、七二四、四四〇、一二五
外國債	一、四一四、五九八、二六八

昭和三年度豫算總額 單位千圓

經常部	一、三三五、五八七
臨時部	八五七、八二六
普通歲入	一〇一、一七四
公債金	七四九、六五一
前年度剩餘金繰入	七、〇〇〇
計	二、一九三、四一四
歲出	一、二九三、〇八二
經常部	九〇〇、三三一
臨時部	

各省別歲出額

計	二、一九三、四一四
所管別	經常部 臨時部
皇室費	四、五〇〇
外務省	一六、八三〇
內務省	一〇、六三一
大藏省	一六、三三四
陸軍省	四七、三三四
海軍省	四九、九八九
司法省	三三、七六五
文部省	五、六八四
農林省	二、九六六
商工省	二、九六六

昭和三年度の歳出豫算の各省所管別金額を示せば左の通りである。

逓信省 夫、八六六 三、九六六 一八、八八二
拓務省 一、九六七 一八、六三三 二〇、五九九
計 一、二九三、〇八二 一九、〇〇三 二一、二九三、四一四

昭和十年度豫算總額

大藏省では三月六日、昭和十年度歳入歳出豫算統計額を発表したが、これによると歳入七、九七六、二九七千圓、歳出七、八四一、四二二千圓にして、これを昭和九年度統計豫算に比すれば、歳入一、一五、一二三千圓、歳出一、一〇二、七六七千圓の増加に當る。増加の原因は十年度で特別五分利公債、滿鐵英貨債等の借換償還等二億二千萬圓、米穀證券借換八億三千萬圓等があり、これに伴つて國債整理基金特別會計繰入れの増加を來すが爲である。なほ十年度純計豫算の算出の基礎は左の通りである。(單位千圓)

△歳入

一般會計	二、一九三、四一四
特別會計	八、五八六、二七四
合計	一〇、七七九、六八九
重複勘定控除	二、八〇三、三九一
本縣一年史	

△歳出

一般會計	二、一九三、四一四
特別會計	八、五八六、二七四
合計	一〇、七七九、六八九
重複勘定控除	二、八〇三、三九一
差引 純計	七、八四一、四二二

昭和九年度内地對外貿易概算

輸出	二、一一七、五九六
輸入	二、二〇九、一〇一
合計	四、三二六、六九七
入超	九一、五〇五

地方財政

道府縣歳入總額	四九二、一七六千圓
市歳入總額	八〇八、三〇六千圓
市歳出總額	八〇八、一九八千圓
町村歳入總額	四五一、九二二千圓
町村歳出總額	四五一、七四七千圓

群馬縣一年史

○附・内外重要記録

昭和九年七月より十一年八月に至る非常時代一ケ年の重要記録集成

七月(九年)

一日 前橋商工會議所に於て商工聯合會開催。新田郡尾島町外六ヶ村飯米に欠亡。政府米の特別臨時拂下申請多野郡新嘗祭獻穀齋田植式施行齋耕者は八幡村富岡徳太郎氏。館林町會は九年度戸數割賦果額を可決

二日 群馬郡の天覽品献上品御料品を決定、國府校で修拔式舉行、齋耕者は、國府村森山淳、飯塚勝太郎(副)献上品は同村佐島伊勢二、依田又市(副)、天覽品西園分村蜂巢賀悦次内山米造(副)の諸氏と決定。

上田博士金山城址視察の爲め來縣。高崎市會は野球場敷地、高崎水道水

源地、農民道場建設、忠靈塔道場建設を可決。

新田郡の天覽米奉耕者は賣泉村別所渡邊伊四郎、鳥之郷村大島栗原彦博兩氏は田植式を、佐波郡茂呂村八田榮藏氏は齋耕の御料トマトの播種式を施行した。

五日 桐生市では午前九時市役所で左記多數兵役服務者を出した家庭の表彰状傳達式を施行。四人、東久方二丁目早川常吉、本町五丁目不破守二、新宿通二丁目小林喜三郎、高砂町佐藤芳太郎、織姫町小部平太郎外三名二十二名。

高崎市では一家三名以上入營兵を出した家庭へ表彰状及木杯傳達式を履行した。五名以上、八島町竹中菊藏石原町三輪角太郎、本町大谷淺五郎寺尾町岡田八百吉、並榎町山口政吉若松町湯淺永太郎、飯塚町井田卷太郎四名以上、柳川町武井榮太郎外五名、三名以上貝澤町新井市太郎、其他四十二名。

六日 前橋市九年度の徴兵検査は

三日を以て終了したが、適齡壯丁六百二名中甲種合格者二一・五パーセント、前年に比し三・九パーセント増の好成績、トラホームが前年の二・五八パーセントに比して、本年は六・八〇で半減、花柳病が前年の〇・四二に比して本年は一・六二に増した。

七日 高崎郵便局員で二年以上精勤した精勵者が逕信大臣より表彰せられた。十五年堤龍太郎、小野里三津藏。十二年河合岩吉、關根梅吉、十年廣田義雄、松本熊吉、松本茂三郎、飯塚周作。三年皆勤、吉井佐重郎、飯塚周作。三年皆勤、川上眞子、美野水政明、藤田あさ、村上眞子、高橋千代太。二年皆勤、木村英太、高橋圓次郎、廣田將直、岡部豊松、石原旨次、飯塚周作、砂田吉、外處富五郎、須藤太作、飯塚寅之助。

十日 定例縣參事會開催、縣立盲啞學校屋根修理費、公立青年訓練所設備改善費外合計五五〇三圓を國庫補助其の他で充當することに決定した。

十一日 佐波郡芝根村阪東飛行場が正式に認可された。水陸兼用の飛行場で將に世界一と稱されてゐる。

十五日 高崎實業組合聯合會第二回行燈祭の懸賞投票は、一等田町熊井吳服店、二等本町久保川吳服店、三等新紺屋町室賀吳服店、四等樂天食堂、五等四川屋町中村重藏商店が

當選した。

十七日 奥利根山間地一町十五ヶ村の中、利南、糸之瀬、久呂保、藤根、池田、赤城根の六ヶ村は村醫なき爲めに沼田町桑原三之助、中島藤兵衛等の有志發企して醫療組合を組織した。

勢多郡北橋村は農林省から全國的模範更生村として折紙をつけられ、又今秋大演習に際し有難き御汰法を拜したので、八幡神社に集合祈願を行つた。

二十日 碓水郡板鼻町の名家福田輝次郎は、明治十一年九月五日明治大帝東北地方御巡幸の砌り御立寄遊ばされた邸宅なので、聖蹟保存會が組織され御巡幸記念の建碑をするこゝとなつた。本日から二十三日まで縣町村長會主催の自治講習會が沼田町小學校で開催された。

二十五日 前橋寫眞材料商組合主催の赤城山寫眞競技會の入賞者決定。

(第一部)

本縣一年史

一等 見晴 伊勢崎町連取 森村哲
二等 神苑 前橋市岩上町四九前野 隆壽
三等 歸舟 伊勢崎町安田銀行内 清水一聲

(第二部)

一等登山道 前橋市榮町一 廣瀬義英
二等無題 前橋地方裁判所 横堀正一
三等無題 前橋市紅雲町 前田義男
二十八日 群馬縣廳前に置かれる富岡上等兵の銅像原型が東京市瀧野川區西ヶ原、北村四望氏のアトリエで出来上つた。

八月(九年)

一日 大間々町の祇園祭。武徳會本部では左の七名に劍道練士の稱號を授與した。前橋署巡査部長永井重作、前橋中學校教諭松村虎之助、伊勢崎商業學校教諭佐藤忠壽、吾妻郡名久田小學校教諭高橋勇次、桐生中學校教諭吉永邦彦、前橋市田中町細谷義雄、佐波郡藤井信藏。

七日 群馬縣庭球協會が創立され八月佐藤次郎選手から寄贈された優勝カップの第一回爭奪戦を行ふことに決定した。

十日 日光國立公園に群馬縣利根郡片品村が編入されることになつた

驛の縣道を四萬圓の工費で擴張することに決定。

十五日 本縣では十五日から二週間蠶業取締支所臨時出張所を南橋外八ヶ所に開設した。

十七日 勢多郡出身の縣會議員星野元治、中澤直治、品川金治、前橋市選出の勝山松太郎、北甘樂郡の山田平太郎、小金澤喜代治の政友六名と中立の利根郡の佐藤金松、大川仙太郎の八氏は、縣政淨化を目標に新團體八日會を創設した。

二十三日 高崎聯隊に於ては日支事變從軍者七千人に記念徽章を記念寫眞帖と共に贈與した。

二十六日 前橋郵便局では逓信大臣から表彰された左記の諸氏に褒狀並に褒賞を傳達した。
十五年勤續、石澤又平、羽人田次郎
十二年勤續、横室清茂、木村清司、萩原一二、一木三代吉、設樂執。
十年勤續、瀧澤延雄、佐藤政子外十三名。

二十九日 縣に於ては大演習の際

御料品奉耕者七十餘名の候補者中三十名を決定した。

▽トマト佐波郡茂呂村羽田榮作、▽葡萄多野郡平井村由村源五郎、▽蔬菜盛籠邑樂郡赤羽村坂村徳次郎、卯月藤三郎、▽梨勢多郡木瀬村梅澤馨重、▽甘柿勢多郡木瀬村關口長太郎、佐波郡宮郷村森村熊雄、▽わさび群馬郡室田村芹澤猪作、山田郡福岡村星野孫一、▽椎茸山田郡梅澤村石原誠一郎、北甘樂郡馬山村大河原茂平、▽白菜勢多郡富士見村萩原庄太郎、吾妻郡長野原町六里原成澤喜代太郎、▽大根勢多郡桂賞村田村庄作、船津市郎、△ねぎ勢多郡桂賞村神村善衛、群馬郡總社町村谷要八、△ごぼう勢多郡新里村淺水茂治、新田郡尾島町飯塚忠吉、△人參群馬郡國府村森村準一、山田郡大間々町藤生丈三郎、△粟多野郡小野村白石徳三郎、碓氷郡里見村宮田源三郎、△馬鈴薯吾妻郡嬭戀村川千葉五郎、利根郡片品村千明和三郎、△かぶら佐波郡豐受村小茂田丈衛、△山芋佐波郡采女村宮

崎昭一郎、新田郡尾島町川岸正作、△さつま芋新田郡笠懸村木村吉三郎、里芋邑樂郡六郷村若江良三郎。

三十日 大演習に聖駕を奉迎する百二十萬縣民が高らかに奉唱する奉迎歌詞は、縣下から集つた五百十五篇について東京女子高等師範學校教授尾上八郎博士が嚴選の結果左の如く決定した。

佳作(第一席) 群馬郡澁川町寄居小林武一方 南雲信彌
佳作(第二席) 桐生市西久方町 蟹江敏

前橋市前代田前橋高女教諭上原潤平 群馬郡國府村東國府 村山清益

▼九月(九年)
二日 尾瀬沼一帯の高山植物を御研究の爲め李王殿下御來縣、高崎聯隊の天覽品が決定。高崎城の圖面(大熊誠一氏寄贈) シュロのワラジ(日露戰爭當時第二中隊小隊長大熊中尉の携帯せるもの) 日露戰爭出征

記念寫眞、シスチエンコ將軍の感狀支那各種看板(平賀二十八旅團長の所有) 日清戰爭油繪、蓋平及金州城の戰闘狀況を書いたもの。
△利根郡水上村坪野部落が先住民族住居跡として文部省囑託古谷氏に依つて決定された。

四日 高崎乗付練兵場に於て御親閱豫行演習が行はれた。

六日 新田郡世良田村威徳山總持寺は新田義貞公生立の新田館坊であるが、寶庫から義貞公の眞筆を發見し國寶に指定を申請。

昭和九年度自作農創設維持資金本縣分割當額は五十六萬圓と決定。
五日 縣參事會開催、特別大演習警察費外數件を可決。久慈郡黒澤村負債整理組合では組合負債總額二萬九千六百圓中、九千八百六十圓を政府の特融資金で充當。

六日 高崎を紹介する商品見本市が商工會議所三階で開かれた。
九日 梨本宮守正王殿下御來縣、武徳殿落成式に臨御、群馬會館に於

て左記五氏に大日本武徳會有功賞の御授與があつた。

佐波郡赤堀村本間千代吉氏、北甘樂郡圓生村岡部榮信氏、前橋市曲輪町篠原秀吉氏、伊勢崎町板垣藤平氏、尙單獨拜謁者三四名、列立拜謁者一三七名。

十日 館林織物の光榮者決定。天覽品製作者中島幸三、谷津直次郎、

工場主	飯塚春太郎	萩野武安
	藍原和十郎	常見茂三郎
堀 祐平	北川政七	北川喜一郎
木村偉三郎	木村健司	金子倉三郎
岩下耕一郎	金子倉三郎	金谷重五郎
金谷芳次郎	共立機業	拓植憲邦
茂木米吉	伊勢崎町	小柴六郎
小柴平八郎	下城彌一郎	須永英作
小林竹藏	高崎市	四島軍次郎

茂木定三、川島富壽、小島茂吉、大膽信太郎、中野織物株式會社、小島時藏、本島新作、小林三藏、鈴木修二、山崎卯平、大塚榮吉、大膽紋三郎、毛塚安衛。群馬郡蠶繭天覽者、元惣社村都木重五郎、室田町石井清清里村松下政一郎。
△桐生市西小學校の天覽織物製織實演者は次の如く決定した。

機關手	周東常盤	佐藤ぶん
	佐々木金次	
關口峰三郎	小田部森次郎	北川しづ子
船藤金藏	富岡誠一	堀 とき
五十木辨治		丹羽まさ
		小池なか
		北野はま
栗原滿次郎		須永きみ

◇館 林 市

(工場主)宮田伴次郎(工場長)宮田晋松(機關手)新井喜三郎(織婦)鈴木とく。

十二日 農林省は在米高(九月一日現在)を發表したが、本縣の分は内地米二七二、二〇五石、朝鮮米一一石、臺灣米六、八三三石、合計二七九、〇四九石、前年に比し八一、七一四石増。

農林省は全國の本年春蒔實收高及夏秋蒔實收高を發表、本縣の分は春蒔實收高白蒔一、二〇七、一五九貫、黄蒔二、三九九、七四八貫、夏秋蒔實收高白蒔六、九五八、九〇〇貫、黄蒔二九、四〇〇貫である。

△本縣から大演習の際代表的物産として献上する品々の譯製者は左の如く決定した。
絹織物生市青木藤三郎、絹織抄前橋市縣立工業試験場、紋御召桐生市本芳織物工場、美麗緞子山田郡桐生村藍原和十郎、縞子縮緬佐波郡知蓮村下城虎次、大島小緋邑樂郡中野村

寄進した。

二十一日 午後六時半より颶風襲來し、風速毎秒二十米、縣下に大被害を與へた。

二十三日 高崎八王子間の八高線が開通、試運轉を行つた。

二十五日 北白川宮永久王殿下御來縣、高崎市柳川町岡源別館に御投泊。

縣立箕輪青年道場入場式舉行。
縣立小泉農學校のヨークシャ種豚が二十一頭の仔豚を出産した。世界記録英國の十九頭を破つた。

二十八日 鐵道省では佐波郡赤堀村曲澤より大字西久保に至る一・五キロのバス開通。

高崎市では市民の納税觀念向上の爲めに標語を募集、一等勇んで入營進んで納税(砂賀町福地日出子)、二等玉の汗から輝く完納(住吉町中島瀧太郎)、税に追はれて税を追へ(請地山本經世)、三等勵め家業忘るな税金(寺尾岡田秀雄)外九名。

小島貞二郎、横橋銘仙伊勢崎町小森重三郎、廣綿細館林町綿布工業組合生絹北甘樂郡新屋村金井農事組合、生糸前橋市片倉久登、北甘樂郡富岡町原富岡製糸所、前橋市交水社、玉糸前橋市井出仁作、藤卷登、燃糸前橋市竹内燃糸會社、同岩崎平三郎、眞綿、碓水郡板鼻町和光學園授産場(場長西島眞徳)、文庫高崎市木工配分組合、清酒利根郡沼田町士田國三郎、多野郡藤岡町高井佐右衛門、群馬郡東村町田傳次郎、醬油正田醬油會社、磯部煎餅碓水郡磯部村安立政尚、落雁館林町丸山菊藏、花能碓水郡烏淵村美術副業組合(組合長原田達造)、米縣農事試験場、蔬菜笠籠山田郡梅田村青木勝次郎、石島義一郎、邑樂郡赤羽村増村徳次郎、卯月藤三郎、大豆利根郡片品村入澤市平馬鈴薯吾妻郡嬭懸村戸部六平、和梨瀨田郡木瀬村梅澤馨重、葡萄多野郡平井村田村源五郎、栗群馬郡箕輪町山口彦太郎。

十四日 農林省の發表によれば本

▼十月(九年)

二日 神流川初渡の式を舉行。

三日 本縣警察部火防標語の當選發表があつた。一等、仰けよ錦旗守れよ火防(吾妻町郡草津町大木清太郎)、二等、錦旗奉迎ぬかるな火防(利根郡深村尾合生方壽男)仰けよ錦旗根郡深村尾合生方壽男、仰けよ錦旗舉つて火防(北甘樂郡福島村小出庫太郎)、聖駕を迎へ協力火防(勢多郡上川淵後閑川端義巳)、大演習火事を起すな縣の恥(前橋市雲町町木村清)仰け錦旗努めよ警備(碓水郡後閑村横井清)。

六日 八高線けふ全通。

十日 縣醸友會主催の清酒品評會賽章授與式が九日高崎市公會堂で舉行。優等章群馬縣駒形村馬場久三郎、譽國光沼田町土田國太郎、巖藤岡町高井佐右衛門、廣盛中之條町近藤太郎、春遊安中町島山茂平、惣婚總社町本間善太郎、駒正宗東村町田傳次郎、泉末廣高崎市岡村合名會社、東喜富岡町東野捨吉、瀧水瀧川村渡邊

縣穀貯藏高は四六、五八九石である。

十四日 澁川町醫師佐々木一夫氏邸は明治二十六年十月二十一日近衛師團小機動演習に充てられた聖蹟として文部省に聖蹟指定を申請。

十六日 聖駕を奉拜する縣民の奉迎心得が縣より告示された。

十八日 高崎聯隊は滿洲事變三週年記念日に模擬戦を行つた。

十九日 宮内省町村行幸主務官一行の地方行幸實地調査が四日間に亘りて行はれた。

二十日 群馬郡農會では九年度小麦増収競技審査成績を發表。入賞者二八名。一等長野村會根竹吉(反當り六百一斗七升四合)、新高尾村登坂久四郎(五百八斗二合)。二等箕輪町田口岩太郎、長野村藤卷平八、豊秋村奥泉善輔、長尾村齋藤國一郎、中川村植松喜太郎。三等瀧川村田中光二郎外六名、四等東村小野里松平氏外十四名。

高崎新聞雜誌會社長根岸慶三郎氏は高崎新聞清水寺境内に弘法大師の像を

築治、清藤駒込村町田卯三郎、萬葉櫻吉井町馬場藤八、赤城正宗大間々町近藤春吉、榊の花山賀孝治。

特選賞碓水盛松井田町小山長四郎、金巳壽太田町柏崎重吉、三波岩美九里村合名會社田島酒造店、龜の榮秋間村大竹金次郎、金星原町阿部勝平坂東一古卷村海津政之丞、日野村關仙藏、惣祝九藏町酒井金次郎、文北姫磯部村尾崎酒造株式會社、月の友澁川町狩野廣、カタネ正宗永縣村山川建治、富樂富岡町株式會社横山酒造店、群首白雪太田町太刀川又吉、群鶴板板鼻町野田六左衛門。

十二日 勢多郡北橋村は更生村中實績第一として富民協會より表彰された。

十三日 大演習、地方行幸に二萬の男女參加、二十一日高崎乗付練兵場にて第二回受閱豫行す。

十四日 桐生愛國飛行場第一次工事終了、發着可能となる。

十七日 森村西三郎氏、帝展出品『白銅鷺置場』が見事入選した。氏は

佐波郡宮郷村出身で、八年連続しての入選である。高崎市八島町分部順治君、沼田町の榎山三郎毅君も彫刻日本畫それゝ入選の榮を得た。

十八日 高崎市四ッ屋町中村子祥氏は、家寶を賣り放ち高崎に高商設立、人材養成に起つ。驛、縣道、永久橋の完成に伊勢崎市祝賀會で賑ふ

十九日 故飯塚少將の胸像が、同様事業にて和田喜平治氏の手で完成され太田町高山神社に建築中、二十八日に除幕式を行ふ豫定。

二十日 群馬社への行幸は御取止と決定す。蠶試へ行幸を奉請した。

二十一日 急速蠶業試験場、聖駕奉迎の準備。一兩日中行幸、主務官出張實地檢分の上奏の筈。

二十二日 大久保群馬社々長、行幸御幸御取止めの責任を負ひ自殺した。四重役辭意を撤回、社葬を行ふことに決定。

二十四日 大演習の爲め本縣下を中心にして十八府縣より警官二七〇〇名増置。

二十五日 待望の機動演習廿九日火蓋を切られる。勇躍の十四師團管下將兵引きつゞき檜舞臺兩毛地方に目ざして進發する。

二十六日 桐生の天覽機織場、昨日實演豫習、光榮の織姫等腕に擬りをかけて行幸の當日を仰望。お召列車の車掌七名選出さる。田中金太郎(碓氷郡)中島富次郎(碓氷郡)關口半造(勢多郡)神山慶重(埼玉縣大里郡)櫻井喜平(碓氷郡)坂上隆良(埼玉縣兒玉郡)眞尾通(同)の諸氏。

三十日 群馬埼玉の兩縣境利根川上武大橋の竣工式は本日午前十一時新橋畔の河原で舉行、兩縣の官民千餘名參列、兩知事列席にて盛大な祝賀會を開催した。

十一月(九年)

光榮と感激に滿つ大演習の行ははれる十一月、縣民を擧げて奉迎の準備を進み、全縣光榮に輝いてゐる。

六日 鹵簿前後驅の大任決定、警務課長八木芳信、特高課長北村隆、

前橋署長清水生松、高崎署長大原至誠、桐生署長狩野平六。

七日 高崎市八島町理髮業林常吉氏は、宮様方に御奉仕申し上げることに決定。

八日 桐生ッ子で初めて醫學博士が出た。桐生市天神前一丁目前原勝樹氏は、昭和四年京大の出身であるが、今回糖尿病と呼吸器病に關する論文を提出、學位を授與された。

九日 林陸軍大臣は大演習陪觀の爲めに來縣、眞島甚三郎、川島義之、兩大將、男爵内山小二郎大將來縣、其他大官將星來縣。

十日 午後三時三十五分御召列車御到着、大元帥陛下には聖駕を前橋市群馬縣廳の大本營に進めさせられた。

後藤内務、湯淺宮内、林陸軍、大角海軍、小泉司法各大臣來縣。

十一日 特別大演習は愈々開始された。東軍は第一、第二師團を基幹として有力なる騎兵團を有し、下妻町栃木に主力を集結、阿部大將之

を率ひ、西軍は近衛及第十四師團を基幹とし荒木大將之を統べ、桐生、太田、尾島、深谷に進出した。六萬の將兵烈々の士氣を兩毛の野にくり展べられ、十一日未明砲火一閃、壯烈なる火蓋は霜夜の靜寂を破つて切つて落された。

十三日 決戦を御統裁後高崎聯隊に行幸、金澤知事陪聽を許され、高柳中尉御前講演。

十四日 高崎練兵場で大觀兵式舉行、續いて營庭で賜饌。

前橋中學校行幸、劍道及柔道天覽試合。

十五日 本日より地方行幸。

十六日 六縣消防組の精銳新川で御親閱遊ばさる。織物製織の實況も天覽、赤城へ御登山遊ばさる。

十七日 高崎練兵で六縣の郷軍及青年御親閱。

十八日 氷川神社、埼玉縣廳御巡幸、還御遊ばさる。

二十日 十月一日現在の本縣推計人口が内閣統計局から發裁された。

總數一、三三九、五〇〇人、男六〇六七〇〇人、女六三二、八〇〇人。

二十二日 赤城山縣營公園を行幸記念に促進することになった。

二十一日 桐生體育協會主催の桐生體育祭が新川球場で行はれた。血盟團盟主井上日昭に無期の判決言渡があつた。日昭は利根郡川場村の出身。

二十四日 通常縣會開催、御禮言上文襟を正して可決、金澤知事の豫算説明後來月二日まで休會。

二十七日 富岡市は救護所を設置した。

二十九日 青年團青訓では御親閱記念に感激録編纂。

三十日 縣教育會は行幸記念事業として金二十萬圓乃至二十五萬圓を募集して、教化會館を建設することになった。

十二年(九月)

二日 本縣主要縣道改修も第一次やがて完成。

四日 日光、四日附を以て國立公園と正式指定された。なほ區域中本縣關係は利根郡片品村で、縣廳及び同村役場に於てその圖面を從覽に供す。

五日 東北凶作地救済に、愛國婦人會本縣支部協力活動し、四日朝には既に八百餘圓に達した。國立日光園を公園認可に地元利根郡近く祝賀會を開催する筈。

八日 前橋市八年度決算市會は七日招集、御下賜金に對する御禮奏上文捧呈を協議決定し、八年度決算は同委員で擧げ委員付託となつた。

九日 前橋市中央街廣瀬河畔に、五萬圓投じて建てた勢多會館は無事落成、勢多郡農會を中心に郡内各團體の事務所、各種研究集團の文化の殿堂にて、勢多郡の發展もこゝより出發する譯である。

十一日 足尾の鏽毒事件交渉遂に決裂した。鹵簿誤導の責任徵戒決定し發令があつた。

十三日 縣下の農村應急救済土木

事業費國庫補助の本縣割當額は四十萬七千七百五十圓と決定。高崎聯隊は地元救済の意味で御用商人を廢し農産品販賣組合から直接十萬圓買上ける。

十四日 高崎市では御下賜金使途協議中であつたが、十萬圓になるまで積立て育英資金に當ること、決定

十五日 赤城山縣立公園計畫につき御料林無償拂下げを交渉の結果、赤城山大沼を取巻く御料林を廉價で持下げ、残るを保安林に編入し公園地域とする件許可された。

十七日 通常縣會を開く。九、十兩年度追加豫算を提案。

十九日 高崎市會議長に反市長派黒澤成實氏が當選した。

二十日 政民の妥協決裂し十九日縣會混亂に混亂して流會となつた。新田郡澤野村出身井上北之助氏は細菌研究により醫學博士となつた。慶大醫科出身である。

二十一日 農民の陳情奏効し鑛山局より古河へ禁止嚴命され、鑛毒の

流下やみ渡良瀨川の流れも淨められた。榛名山ゴルフリンクには八萬五千坪にてこの度認可を受け直ちに工事に着手の豫定。

二十三日 高崎市都市計畫の道路設計が完成され、明年三月の縣地方委員會へ提出するはこびとなつた。

二十五日 後閑村の萬葉歌碑の除幕式が二十五日興行された。

二十六日 鹵簿誤導の責を負ひ金澤知事辭意を提出、昨日丹羽事務次官を訪ひ進體を一任。

二十七日 農林省では二十六日米穀と火災復舊資金六十三萬圓を本縣へ融通配當の發表があつた。縣立太田中學校同窓會では、今年も新たに三回卒業の野田清氏が海軍少將に任官された外、林省吾、尾形貞男、井上林之助の三氏が醫學博士の學位を堀越一三氏が工學博士の學位を授與されたので、祝賀會を一月三日に開催、因みに同様出身の將官、博士をあけると、

陸軍に川岸文三郎少將、野田清少功勞者、東野正吉、佐藤賢三、桐淵伊太郎の三氏に火鉢を贈り、鐵カブトを寄贈した町議岩崎半之助氏に感謝狀を傳達した。

十三日 水上温泉を中心に大遊園地出現、知事の認可も下りて工事開始近く、水上村は大活況を呈してゐる。

十五日 高松宮殿下農山漁村振興御獎勵の思召による有栖川宮記念厚生資金第五回選奨の光榮者は、北甘樂郡丹生村岡部榮信氏で、銀製花瓶を賜る。

十六日 群馬縣新知事に君島清吉氏が任命された。氏は苦學力行の人で東大政治科出身、太中の出身栗原右金太氏が醫學博士に。太中が生んだ第九人目の博士である。

十七日 新田郡農會の初會議、協議事項は芋麻二町歩、果樹四丁歩、茶樹一町歩の増植獎勵を決定。一面蠶種保護と養蠶實行組合の普及擴張畜産組合議員選舉、改正農會法の研究を行つた。

十八日 前橋區長改選、細ヶ澤を除き候補全部決定。曲輪は今井角次南曲輪石川は荒井長重、堀川は中岡染次、田町は横田駒吉、連雀は道下富一郎、本町林山三郎、桐生は植木金太郎、田中は伊東保乃鷹、片貝は尾崎泰治、中川は増田龍平新町は太宰金藏、天川は前田清宗、百軒は柏野豊作、芝町は久保村喜次、萱町は立石照太郎、榎町は小林周造、紺屋は日比野鐵彌太、桑町は横山喜八、横山は深町富八、立川町は龜井寛而堅町は西川與之助、北曲輪は關口孝五郎、神明は岩崎徳太郎、向町は原島與都藏、小柳は今井床平、一毛は金子政次郎、榮町は河野要治、諏訪は藤野長次郎、清王寺は淺川參三郎大川が近藤久三郎、國領は蜂巢忠次郎、萩町は久保田喜代太郎、岩神は渡邊仁平次、琴平は小野里龜澄、紅雲は小林己之助、前代田は小池福太郎、小野は田佐四郎、市の坪は高橋茂七郎、宗甫分は小林喜藤治、大供吉は吉田清康、王川原は淺香龜吉、

前橋市才川町上毛貯蓄銀行頭取平田健太郎氏は亡父母追善の爲め、令弟東京市荏原區戸越町二二八芝浦製作所長平田篤次氏と二人で、金一萬圓を前橋社會事業に寄附した。

一月(十年)

八日 天覽品麥落雁の製造元丸山家が、明治初年の大國學者堀秀成翁の子孫と判明。縣會議決問題は中旬に決定の見込み。繭糸同業組合大會を開き産繭統制に反對決議を行ふ。

九日 八坂堰水利組合會は五百町歩を美田と化すべく今年とかけ護岸工事施行と決定。立憲養正會第一區聯合支部前橋にて發會式を舉行

十一日 一萬圓を目標に製糸織物の聯携成立した。伊勢崎織物輸出へ躍進。群馬農會廳舎の上棟式舉行工費一萬二千五百圓のモダン建築である。澁川——長野原に青葉の頃には省營バスが開通する見込み。

十二日 富岡町在郷軍人分會新年初總會はお酒ぬきの非常時集會。尙

高田は齋藤朋太郎の諸氏である。

十九日 草津町國立癩療養所長、樂泉園長、皇太后陛下に仰付けらる水上出身阿部三郎君、外務省選抜の選に入り南米へ雄飛、海外農業實習生十三人のうちの一人である。

二十日 縣の首脳部更新、總務部長に三樹樹三氏、群馬縣經濟部長に松澤龍雄氏、同警察部長に今松治郎氏が任命された。

二十二日 四部長制の下、縣廳新陣容成る。課長級の異動は殆ど實質的に變化はないとみられてゐる。桐生組合病院眼科主任大橋國富氏は論文名古屋醫大を通過し醫學博士の學位を授けられた。

二十三日 横野村の洞窟から國寶的な石の佛像が発見された。鎌倉中期、里見氏の建立である。

二十四日 高崎聯隊の將兵一千八百餘名が、滿洲にて活躍した功により勳章を授與されたが、更に二千四百九十餘名功勞章を受けることになつた。

三日 多野郡藤岡町南町共勵組合は組合員の廿八年間の協力一致がむくひられ、模範的部落更生團體として十一日紀元節に縣より表彰状と賞金が授與されることになつた。

五日 民間航空普及協會日本航空少年會は長距離飛行の爲め、十一日高崎練兵場へ着陸することになり高崎航空普及會は歓迎の準備中。

六日 利根郡小田村の寒天が遂に海外へ輸出された。寒天製造が縣下農閑期副業中のトップを切つてゐるので非常に期待されてゐる。群馬郡箕輪町の箕輪城趾と、利根郡水上村の石器時代の住居跡は史蹟方申請中であつたが五日假指定が下りた。

七日 富岡警察署管内に於ける皇太后陛下よりの眞綿下賜の光榮者は左記十二人。福島町齋藤代吉(百歳)富岡町黒澤こま(九八)小幡町松井いと(九五)小野村白石龍吉(九五)一ノ宮町永峰とら(九四)小野村高橋ぶん(九四)福島町高橋つる(九四)吉井町黒澤こう(九四)福島町須賀宇市(九

本縣一年史

二十五日 地方事務官の異動があり、吉田政雄氏、長瀬英一氏が同縣事務官に赴任、増岡氏が同縣警察部勤務となつた。

二十六日 一府七縣聯合で縣教育會總會を開催の豫定、會期は四月二十五日、出席者四百名と豫想されてゐる。

二十七日 昨秋地方の行幸際御臨幸の光榮を記念する爲め行幸記念館建設案桐生高工に起る。

二十九日 課長級異動、縣廳の空氣が一新された。關東農會會長會議に群馬縣より金澤氏が出席。當會は二十九日より三十一日に至る豫定である。

三十日 本縣出身古賀聯隊へ参加した伍長山口輝尙君以下十四名の勳章傳達が行はれた。高崎市では第十五聯隊五十週年と鐵道開通記念とをあはせて四月二十七日に大々的に祝賀會を開催の豫定。

三十一日 佐波郡豐受村渡邊多三郎氏は、さきに同氏の大餅を御買上

けの光榮に浴したので感激し、東郷元帥の揮毫『皇國興廢』を織出す事に考案、荒木陸軍、山本海軍兩大将より鞭撻諒辭をうけこの程苦心成功した。

二月(十年)

一日 商工課長内田觀章氏の勇退にて課長級更に動き、經濟部商工課長に松村弘氏、總務部會計課長に金谷幹次氏、商品陳列所長に松澤龍雄氏が任命。

二日 縣養蠶組合聯合會の蠶桑能率共勵入賞は左の通り決定。

絕對能率入賞 △邑樂郡東部養蠶實行組合△新田郡堀口同△群馬郡青梨子同△新田郡岩宿同△北甘樂郡土小村同△高崎市江木北部同。

比較能率入賞 △邑樂郡郷谷村第一實行組合△勢多郡大胡町堀越第一同△多野郡阿久津同△勢多郡下小出同△吾妻郡赤坂中央同△多野郡多野七區上落合同。

授與式は七日に行ふ。

老院、高崎樹徳學校、外八團體。有栖川宮記念銀製花瓶傳賜。北甘樂郡丹生村長岡部榮信。

內務省獎勵金傳達。桐生市方面事業助成會、群馬縣社會事業協會、外九團體。

縣知事表彰。孝子義僕、北甘樂郡西牧村並木新吉。

自治旗授與。新田郡太田町。自功治勞者。佐波郡境町長、正田虎四郎。

勤績町村吏員。多野郡美原村西川平次、碓氷郡豐岡村島守十郎、群馬郡漸川町辻菊之助、佐波郡伊勢崎町山口角次郎、邑樂郡永樂村松澤政雄、利根郡水上村阿部藤三郎、新田郡九合神藤隆治、外、組合、學校、教育者、青年團、消防組、社會事業功勞者。

十四日 明治大帝明治十一年前橋御臨幸の行在所保存運動に須川翁起つ。惜しきは大火に焼けて記録さへ無い事である。

十五日 産業組合本縣支會では産

業會館を建築することになつた。敷地は曲輪町か前中路の二ヶ所が候補に上つてゐる。

十七日 前橋青訓演習は今十七日舉行、二百七十四名の生徒は赤城山麓の白雪を蹴つて壯烈な演習を展開夕刻終了する筈だが、前橋市から堀助役以下吏員、市内各小學校長、青訓主事總出動の筈。

十九日 桐生織物組合第三部主催帶地圖案大會の同市入賞者は、一等 町田圖案所内石田喜一、二等 保倉圖案所、三等 岡田圖案所内須田生、町田内石田喜一。

東京五大デパートの審査結果である。二十三日 伊香保消防頭横手賢一氏より、群馬、埼玉、栃木の消防組協力で、國防機を一臺づゝ陸軍へ獻納したき旨君島知事に建言した。利根郡新治村ロクロ木工組合は、新案申請の筈。

二十六日 業議院本會議は憲政功勞者尾崎行雄氏以下六氏を表彰。二十一日 ベルシャ國はイラン國と國名を改稱した。

二十三日 北滿鐵道護渡交渉成立し外相官邸に調印式舉行さる。二十四日 廣田外相は衆議院北洋漁業取締法案委員会で、ソビエト聯邦側で意志あらば北樺太の買収折衝開始の希望ある旨言命。

二十五日 第六十七議會は延長を見ずして閉幕。審議未了のまゝで打ち切られた政府提出の重要法案は米穀關係の三法案外八法案である。二十六日 第六十七議會閉院式舉行。與謝野寬氏逝く、行年六十三。

二十八日 政友會議院總會は新役員を左の如く決定した。幹事 長 松野鶴平 政務調査會長 若宮貞夫 常議院會長 砂田重政

二十九日 閣議席上林陸相、大角海相は美濃部學說問題の善處を希望

『鳩のマッチ立て』が米國向き輸出品として大量注文あつたので、業界は海外進出に機模擴充し活氣立つ。

二十四日 新田郡太田町の豫算町會は二十三日開會、二日間休止し再び二十六日再開と決定。尙戸數割賦課數によると昨年度より百五十戸増加。

二十六日 縣で大演習と地方行幸を記念する爲め、縣參事會に於て行幸記念碑建設費三一七七圓の追加豫算提出され直ちに可決。前橋市武道大會に山田郡選手として四名の不參の爲め、只一人にて戦つた田村正夫君に二十五日西巻幹事から激動的謝状を贈つた。

二十八日 上信蠶糸業研究會は二十七日上諏訪町片倉會館に開催。參加者は養蠶國を誇る東群馬、西長野の有力者達である。

伊勢崎町新町板垣清一郎氏は亡父の遺志により、圖書館建設費として一萬圓、水泳プール建設及び細民窟救済に一萬圓の寄附を申出た。

四月(十年)

一日 男女師範學校、實業補習學校教員養成所を巢立つた新教員の任用配置が縣學務部から發表された。男子本科卒業生六六名、專攻科二八名、女子本科六九名、專攻科四名。實業補習學校出身十四名、合計一八一名。

二日 元大運民政署長から本縣學務部長に水谷秀雄氏來任、氏は大正四年廣島高師英語科の出身。本縣學務部長星子政雄氏は靜岡縣學務部長に榮轉した。

四日 警察部未曾有の異動があり小學校亦異動の發表があつた。

五日 伊勢崎織物組合が友邦滿洲國皇帝御來訪に際し、日滿親善の誠意を織込んで獻納する井下辰雄氏併用大耕、橋本勝氏謹織人絹交織美麗緞子各一匹は謹製を終り、五日天田副社長と羽島理事が携へて上京獻納した。赤城裏開墾更生樹立計劃に關する關

三月(十年)

一日 安達國民同盟總裁は高橋藏相を私邸に訪問、政國共同提案の地方財政補整金法案に關し内容を説明諒解を求めた。

二日 坪内博士の逝去に對し、衆議院は全會一致院議を以て弔詞を贈り哀悼の意を表した。

三日 産蘭處理統制法案に對する態度を決すべき全國製糸聯合會緊急評議院會は協議の結果態度を一變、全面的反態を決議。

四日 貴族院豫算總會は十年度總豫算案を可決した。八日 全國農會大會は日本青年會館に開かれ、米穀自治管理法案並に産蘭處理統制法案支持の決議を滿場一致可決。

十日 日露戰役三十週年陸軍記念日祝賀會は大元帥陛下の行幸を以て階行社に於て盛大に舉行さる。

十五日 農林省は昭和十年三月一日現在内地に於ける米穀現在高を四

係各課聯合協議會を群馬會館で開催青年三十名で先づ百町歩開墾と決定した。

七日 關東軍の行賞中、本縣の人々に、歩兵少佐東宮鐵男(功五旭小綏章)、同吉田榮治郎(同上)少將齋藤彌平(功四旭中綏章)があつた。

九日 文部省内の祖先文化研究會支所が本縣に設置された。

十日 縣工場協會主催伊勢崎支部恒例の従業員慰安園遊會が華藏寺公園で開かれた。

前橋工業展覽會が前橋工業會主催の許に開催され、商工會議所が入賞授與式が舉行された。

十二日 伊勢崎、前橋、高崎各署長更迭、水野榮、高橋源市、久井忠雄各々就任した。

四十年振りに上越國境で積雪を冒して熊狩をした上越狩人は、日本特有の月輪熊親子を射止め、之を剝製して友邦皇帝に獻上することになつた。

十三日 高崎聯隊の將兵三千餘名に對する日支事變動章は、今十三日

賞動局から聯隊に到着、二十三日傳達式を舉行した。

十四日 前橋市寫真材料商組合主催のカメラデーが行はれた。

内外不出の逸品を集めて松平舊前橋藩主を中心とした舊藩士の集りである庶民會が主催となりて刀剣類の展覽會を開いた。

武徳會支部主催の武徳祭と演武大會が前橋公園武徳殿で舉行された。

富岡町會木の町民九百名が、水田の灌漑や組合製糸の用水等に用ひる用水池(面積千八十坪)は修理完成して祝賀會を行つた。

十七日 全縣に亘る三市二百一町村の農會總會選舉施行。

十九日 縣農務課では桑園の整理路地や畑作改良の爲め、十年度豫算に二萬七千三百八十圓を計上した。

二十日 伊勢崎郵便局では選信記念式を舉行、選信大臣より表彰者十三名を出した。就中同局勤務大賀國造氏は三十七ヶ年の勤続者であつた。

二十二日 高崎歩兵第十五聯隊の歴史を永遠に飾る滿洲事變の勇士、役山聯隊長以下在營將兵七百五十三名に對する勳章傳達式が行はれた。

二十三日 縣では青年學校制度の運用と敬神崇祖の觀念を根本とした國民更生運動と社會教育の徹底を期し、又町村自治の刷新と併行して農村の更生を圖る爲めに、教育課を學務課と社會教育課に分け職員の異動を行つた。

二十四日 關東教育聯合總會は二十四日から三日間、本縣男子師範學校で開催。關東一府八縣の加盟教育團體一六九團體の代表者三六一名出席、諸議題を審議。澁川小學校長正七位勳一等田部井慶藏氏は滿場一致の決議に依りて表彰された。

二十七日 高崎聯隊では軍旗祭を行つた。

二十八日 同聯隊では招魂祭を施行し、地下に眠る三千六百九十五柱と新に合祀された二十七柱の英靈を祭つた。

四日 帝國發明協會では關東地方及中部地方一府十五縣の發明表彰授賞者を決定、本縣關係は次の通りである。

優等賞 爆音信號器、高崎市連雀町連藤条太郎。優等賞 護謨和流促進劑、桐生市宮本町島田慶一。同上 東京市板橋區志村前野町君島卓三。良等賞 摩擦鋼式糸繰機、桐生市錦町野澤氏。青山式摺摺機、高崎市青山徳太郎氏。模擬機關銃、高崎市連雀町。

五日 本縣兒童保護協會では兒童愛護週間(端午の節句)に十一名の子女を生み完全に育てあげた産賢母百十二名を表彰した。

二十五日 關院總裁宮殿下邸へ伺候して有功賞を拜授した郷軍人は左の通りである。

山田郡大間々町 歩伍 飯島弘之助
利根郡系之瀬村 步特曹 加藤喜一郎
邑樂郡長柄村 步中尉 齋藤民三
新田郡生品村 同 齋藤修太郎

二十九日 縣と市町村で本年度施行する救農土木事業費の都市割當は縣道八十ヶ所に四十二萬一千圓、河川八ヶ所に十萬二千圓、其他砂防工事に一萬八千圓、市町村道三十一萬二千五百六十圓、合計八十二萬五千五百六十圓。

五月(十年)

一日 東京市赤坂の三會堂で開催した大日本農會大會で、總裁梨本宮殿下から全國農事功勞者として名譽賞状を拜授した本縣人は左の諸氏である。

- 邑樂郡大島村 山本榮四郎
 - 勢多郡柱萱村 長沼佐文治
 - 利根郡薄根村 片野新助
 - 新田郡藪塚本町 松井直太郎
 - 佐波郡剛志村 阿久澤源次郎
 - 多賀郡多胡村 大澤良太郎
 - 群馬郡澁川町 後藤善夫
- 二日 學術振興會では昭和十年度研究補助を決定した。本縣關係の分は左の通りである。

六月(十年)

三日 政友會久原房之助氏は鈴木總裁を訪問し、黨の更生並に統制に關し意見を開陳。

四日 滿洲視察中の林陸相は奉天に於て北支紛糾は支那側誠意あらば解決は至極簡單であると語つた。

六日 全國各府縣の商業組合を一丸とする商業組合中央會の創立總會は名古屋市公會堂に開催。

八日 大日本蚕糸會は五月廿五日現在に於ける本年春蚕収繭豫想數量は四千二百五十一萬七千六百七十七貫前年實數より一割二分一厘減と發表

十五日 農林省は六月一日現在の米穀現在高調査の結果を左の如く發表。(單位石)

内地米	三〇、五五七、五九六
朝鮮米	一、二二八、一七〇
臺灣米	一九五、二四七
外國米	九、三五二
合計	三二、九九〇、三六四

續編素及びその誘導體の勝潤解熱の研究(期間一年四百圓)桐生高工教授中島正博士、膠質溶液組織構造の研究(期間一年千圓)桐生高工教授平田文夫氏、スプリングの履歴現象に就て(期間一年三百圓)桐生高工教授直野克己氏、室内を一樣溫度にする爲めの隅角部壁形の研究(期間一年百圓)桐生高工教授田村民平氏。

三日 群馬郡の縣會議員補欠選舉投票は二日午前七時から郡内三十五ヶ村で執行。午後六時締切つたが結果は、投票總數は一三〇八一、棄權率は五割六分六厘弱。

當選八、〇〇〇一 飯島吉之助(三五)無所属 農。

次點四、七五五 眞下禎三(四八)民政公認 農。

其の差三二四六票で飯島氏當選。眞下氏は亡父利藤太氏の補欠選舉であり、政友會も故人に敬意を表して立候補しなかつたが遂に戦ひ利あらず一敗地に塗れたのである。

昭和十年陸軍特別大演習

奉迎歌

南雲信彌作詞

一

三山よく晴れ
上野國原
こよなき光榮に
仰ぎ奉るも

菊作き匂ふ
御車進む
今眼の前に
畏き極み

二

御軍統べます
群馬の縣の
こよなき光榮に
歡喜の情を
聞こる上ぐるも

御旗の風に
草木も靡く
胸をば張りて
聲うち揃へ
畏き極み

女子奉迎歌

藤原能婦子作詞

菊の香妙なるこの日
御車を迎へまつれば
尊さに胸ぞとどろく
うれし今日の日　うれし今日の日
大御影まちかく仰ぎ
よろこびの歌をうたへば
畏さに涙あふれつ
うれし今日の日　うれし今日の日
この榮を忘るゝ日なし
一筋にまことつくして
みめぐみにこたへまつらむ
うれし今日の日　うれし今日の日

陸軍特別大演習

大元帥陛下には、毛武平野に展開される陸軍特別大演習を御統裁遊ばされるために、昭和九年十一月十日午後一時、群馬縣、一時二十分上野驛より七輛連結の御召列車に乗御遊ばされ、九日間に亘り鳳輦を駐めさせ給ふ大本營前橋市群馬縣廳に聖駕を進めさせ給ふた。

大演習は十一日から十三日まで錦旗を奉迎して兩毛の野に展開された

◇兩軍の主腦部

甲軍司令官 阿部 信行大將
乙軍司令官 荒木 貞夫大將
甲軍參謀長 飯田 貞固少將
乙軍參謀長 小畑敏四郎少將

◇觀兵式

十二月十四日高崎市乗附練兵場で行はれ、續いて高崎聯隊で賜饗。

◇地方行幸

十五日 前橋地方裁判所、前橋中學校、縣蚕業試驗場、師範學校、縣種畜場。

陸軍特別大演習

十六日 桐生市に於て機織實況を天覽、桐生高等工業學校行幸、群馬栃木、新潟、長野、茨城、埼玉、六縣消防組一萬餘名を御親閱、次で足利市に行幸、市内御展望、足利工業學校、太田町中島飛行機株式會社に行幸。

十七日 貫前神社御親拜、高崎聯隊營庭に於て第十四、第一、第二の三師團管下八支部の在郷軍人二萬人を御親閱、前記六縣中等學校、男女青年團、青訓生等諸團體御親閱。

十八日 行在所を御發轅埼玉縣に入らせられ、水川神社に御親拜、埼玉縣廳に行幸、午後二時二十五分上野驛若御宮城に還御遊ばされた。

▽御視察 閑院宮殿下には三日御來縣、七日午後二時三十分日赤群馬支那病院御視察、八日一ノ宮町貫前神社御參拜、續いて大演習地を御視察遊ばさる。

▽司令官 六日種村衛兵司令官以下廿八名、大本營付として來縣。
▽軍事講演 十三日高崎公會堂で軍

事講演、十四日同所で戸山學校軍樂隊演奏、十四日夜前橋市柳座で軍事講演と軍樂隊演奏があり、松井石根大將の講演。
▽團體野營 十六日より十八日まで三日間、六縣の中等學校生徒、青訓生一萬五千名が乗付練兵場附近で野營。

▽奉迎旗行列 十四日前橋市を中心中小學校聯合の奉迎旗行列は女子提燈行列は男子によつて各々一萬人行進し、大本營前で最敬禮の上奉迎歌を奉唱して萬歳奉唱解散。

▽拜觀 大本營跡を十九日官衛團體に、廿日から廿二日まで一般人と團體に拜觀を許す。

◇光榮の御宿舎

宮様十一方お奉迎◇

大演習の爲め御來縣遊ばされた秩父宮殿下を初め奉り十一方の御宿舎は左記の箇所に充てられた。

陸軍特別大演習

秩父宮殿下御宿舎 前橋市南曲輪町
麻屋デパート社長手塚鍾五郎氏別邸
閑院參謀總長宮殿下御宿舎 大本營
前群馬會館
閑院宮春仁王殿下御宿舎 前橋市榮
町佐藤榮太郎氏邸
加陽宮殿下御宿舎 前橋市紅雲町醫
學博士桑原政榮氏邸
梨本宮守正王殿下御宿舎 高崎市柳
川町新井清兵衛氏邸
朝香宮孚彦王殿下御宿舎 高崎市下
和田町市川朝次郎氏邸
竹田宮恒徳王殿下御宿舎 多野郡藤
岡町星野兵四郎氏邸
李王殿下御宿舎 前橋市田中町岩
崎吉氏邸
李鐘公殿下御宿舎 碓氷郡八幡村藤
塚沼賀大治氏邸
李錫公殿下御宿舎 多野郡新町鐘坊
工場長堀八十郎氏邸

單獨拜謁者

大元帥陛下行幸の御り單獨拜謁
を賜りた縣下産業、教育、自治
實業、社會事業等に披群の功績
ある人々。

社會事業功勞

金子尚雄氏 前橋市岩神町
明治二十五年岩上町に横地源七郎
氏等と共に上毛兒孤院を創立、四十
二年院長となり、四十有三年間終
始孤兒救濟事業に惠念、大正七年、
十三年、昭和三年の三度内務大臣よ
り銀牌を授與された。
山端息耕氏 高崎市
明治三十九年以來高崎市に樹徳子
守學校を建て又修養會を起し、四十
餘年間社會事業に盡し、樹徳學校は
毎年下賜の光榮に浴してゐる。

自治功勞

武川六太郎氏 新田郡太田町
明治四十二年太田町助役を振出し
に二十有餘年間町治の發展に努め、
衛生、消防施設の完備、圖書館、中
女學校、信用組合等の建設に奔走、

縣社高崎神社々掌の家に生れ、明
治六年十八歳で同社掌となり、縣神
職會の前身、神職取締所長として今
の縣神職會を創立し、現に群馬郡神
職會長。

衛生功勞

齋藤壽男氏 北甘樂郡高瀬村
慶應三年父祖の業を繼ぎ醫師を開
業、花柳病の多きを憂へ、明治十二
年梅毒検査醫となり研鑽、檢査法を
改正し貢獻する處多く、十五年縣議
とるや公娼制度廢止を提唱、遂に之
を實現し、曩に衆議院議員として癩
豫防の國策を建議、豫防法の實施と
なつた。現に縣醫師會長、日本癩病
豫防協會評議員、縣衛生協會副會頭
で、藍綬褒章を賜り、内務大臣の銀
盃花瓶を授與された。

M.H.コンオールリー女史 吾妻郡
草津町

英國カンタベリーの人、大正五年
草津町に癩瘰癧瘻所を設け癩患者を収
容、その後遂次擴大して、患者の子

陸軍特別大演習

敬神崇祖の美風涵養に努め、大正十
一年自治功勞者として知事より表彰
を受く。

大澤夏太郎氏 多野郡
大正四年以來二十餘年間村長の職
にあり、現に多野郡町村長會長、其
の間農會の振興、衛生思想の普及及向
上等に貢獻、數度表彰された。

正田虎四郎氏 佐波郡境町
明治三十一年以來町會議員、縣會
議員として町及縣政に盡力、大正十
二年町長となり、町用水引入工事、
警察署、幼稚園、高等女學校、養業
取締支所の設置に惠念、昭和七年知
事より表彰。

綾谷正太郎氏 群馬縣長野村
村長の職にあること十六年、公職
三十有餘年、全生涯を捧げ、昭和元
年藍綬褒章を授與された。氏の努力
に依り長野村は村有林五十四町歩、
小學校記念林二十町歩を有してゐる

神社功勞

高井東一氏 高崎市堰代町

田部井鹿藏氏 群馬郡澁川町
明治三十四年群師率、大正二年郡
視學となり、後玉川小學校長から澁
川小學校長に轉じ、三十有餘ヶ年を
初等教育界に貢獻、澁川實科女學校
創設に盡力、校長を兼任し、圖書館
を創設、縣教育共濟會副會長、臨時
教育調査委員の職に就き教育の振興
に貢獻、昭和五年文部大臣より表彰

小峰茂樹氏 勢多郡桂堂村
明治二十六年郡師率、教職に従事
する事四十年、昭和八年勇退、勢多
郡教育會長、郡小學校長會長等とし
て盡瘁、大正十四年知事より表彰。

學術功勞

角田金五郎氏 勢多郡芳賀村
明治十七年善勝小學校に奉職、植
物學に興味を持ち、明治四十一年職
を去つて研究に専念、蘇類標本九十
餘種を宮中に献上、御嘉納の光榮に
浴し、現在授集した標本は一萬に上
る。

教育功勞

中山正心氏 前橋市清王寺町
甲府市の人、明治三十七年東京高
等師範卒業、廣島縣下の中等教育に
従事、新潟縣を経て昭和六年縣師範
學校長となり三十七餘年を教育界に

◇ 社會事業功勞

岡部榮信氏 北甘樂郡丹生村 資性聰明、夙に社會教育の振興に 惠念、貫前神社、保勝會長、協議會 長となり、敬神崇祖の美俗を作興、 昭和四年郡教育會長、八年郡聯合青 年團、女子青年團長に就任、又郡農 會長、縣山林會副會長として農事に 貢献、昭和三年紺綬褒章を賜はり、 四年文部大臣の表彰を受く。

◇ 實業功勞

平田健太郎氏 前橋市才川町 明治二十四年資本金五萬圓の共同 組合資會社を創立、前橋商工銀行 と改稱、交水社重役、米國に絹業を 視察し、群馬大同銀行創立に努力し 昭和三年日本産業協會總裁宮殿下よ り表彰された。

齋藤虎五郎氏 前橋市北曲輪町 明治三十八年日本銀行に入り、大 正十年横濱興信專務、横濱復興會役 員、昭和七年群馬大同銀行設立され るや大藏省、日銀等の推薦で頭取に

選任。

飯塚春太郎氏 山田郡廣澤村 代議士、明治三十二年桐生織物同 業組合長に就任以來、組合長に當選 すること六回、蠶糸、織物業に盡瘁 輸出織物の功勞者、太正九年以來の 衆議院議員。

彦部駒雄氏 山田郡廣澤村 桐生織物組合長、昭和二年以來三 期連続組合長を勤め、鋭意蠶糸、織 物業の發展に努め、縣會議員として 産業開發に盡瘁。

中島知久平氏 新田郡尾島町 明治三十六年海軍機關學校卒業、 後歐米で飛行機研究、横須賀海軍飛 行場を設立、工場長となり設計製作 に従事し、歐州大戦後辭職して郷里 に歸り、太田町に飛行機製作所を設 置し飛行機製作事業を開始、東京市 荻窪に工場を増設。衆議院議員、商 工政務次官となつた。

井上保三郎氏 高崎市 工業翁として知られ、高崎板紙會 社の創立、生糸事業等に盡し、帝國

銀行協會の支部長として活躍し、高 崎市外觀音山の開發には私財十萬圓 以上を支出した。

櫻井朝雄氏 北甘樂郡下仁田町 上洲葛蕪製粉同業組合を創立、組 合長となり、大正七年組合製糸下田 銀行取締役、縣木炭組合聯合會副會 長とし金融、林業等の開發に貢献。

勝山益太郎氏 前橋市片見町 明治四十三年始めて前橋で獨力織 物業を創始し、特に伊勢崎銘仙の聲 價發揚に努力、上毛電鐵、市立商業 學校の建設、大渡橋の架設、市道改 良に功績ありて、現に縣議、市議、 商工會議所會頭。

◇ 産業功勞

清水及衛氏 勢多郡木瀬村 明治二十五年居村の大火災に逢ひ 部落民の一同困憊するを見て共存共 榮の理想を掲げて共同組合等を設立 勤勞貯蓄觀念の確立に努め、圖書館 農事組合等を設立、産業組合の設立 に力を竭し、現に縣購買組合聯合會

立、組合長となり、四十四年郡蚕種 同業組合を創立、昭和七年まで二十 一年間縣下蚕業事業に貢献、昭和二 年大日本蚕糸會總裁宮殿下より第二 種紅綬功績章を賜る。

福島藏之助氏 群馬郡總花町 明治三十二年群馬産業同盟會を組 織、昭和六年縣蚕種業同盟會を組織 次で縣蚕糸協會の議員となり終始斯 界に盡瘁、昭和二年大日本蚕糸協會 總裁宮殿下より第二種紅綬功績章を 賜る。

新井高四郎氏 碓氷郡西横野村 縣蚕糸業界の宿老、明治十一年碓 氷社に屬する碓源組を創立、後碓 氷社長に就任、功績全國に及ぶ。昭 和二年大日本生糸販賣聯合會を創立 全國組合生糸の統制と生糸直輸出の 斷行に努め、近くは帝國蚕糸組合理 事、又縣農工銀行取締役でもある。

昭和二年第一種功績章を賜はる。 岡部傳平氏 前橋市向町 明治十五年製糸業を創始して業界 革新の氣運を開き、四十二年交水社

會長。大正十五年大日本農會より綬 綬有功賞を受く、昭和八年高松宮殿 下より表彰、有栖宮厚生資金の銀花 瓶を賜はる。

宮田傳三郎氏 碓氷郡磯部村 明治二十八年縣農事試驗場技手と なり、二十有餘年間農事指導に努め 大正七年初代米穀検査所長となり、 昭和五年碓氷郡畜産組合副會長、四 年碓氷社副會長となり、組合製糸及 び農家經營の改善に力を致し、昭和 八年大日本蠶糸會總裁宮殿下より第 二種紅綬功績章を賜はる。

飯塚幸四郎氏 邑樂郡多多良村 明治三十二年札幌農學校を卒業、 北米に渡り園藝研究を爲して歸朝し 農事經營に着手、國有林拂下地に模 範農場を建設、農業經營改善と合理 的農法を鼓吹しつゝある。日本農會 より名譽賞狀、紅白綬有功章、陸軍 大臣より銀盃を受く。

星野元治氏 前橋市友軒町 養蠶業の改善に志し、明治三十五 年共同製紙事業を起し、後ち信用販

理事、坂東蚕業株式會社創立、現に交水社相談役。紅綬章を賜つた。

杉山寅雄氏 前橋市岩上町 明治四十年來福島縣及京都府で製糸業の指導に従事、爾來交水社技術部長、常務理事、理事長、製糸聯合會長、日本蚕糸中央會議員に歴任、各種の技術發明考案二十種を超え、功勞章を賜つた。

半田善四郎氏 碓氷郡 財團法人濟生會の功勞者、朝鮮に半田農林合資會社を經營、輕井澤と碓氷郡とで大規模の植林業を經營中。

塚城與市右衛門氏 新田郡寶泉村 明治四十一年新田郡蚕組聯合會長、四十二年縣蚕聯合會副會長、蚕糸業の發達に貢獻、昭和二年東毛乾組合を創立、理事長となり、五年縣蚕糸業協會理事、縣蚕組聯合會評議員となつた。功勞章を賜はる。

軍事功勞 平野四郎氏 高崎市

谷内田としみ氏 前橋市城南小學校訓導 小澤徳治郎氏 利根農學校教諭

中堅青年 新井一郎氏 佐波郡玉村町下新田 植塚寅吉氏 高崎市青年團飯塚支部長 發地好次氏 群馬郡岩鼻村青年團長 松井彦一氏 利根郡蓮根村青年團長 佐藤福重郎氏 碓氷郡富岡町瀬下 天笠一郎氏 新田郡鳥之郷村鶴生 蓮見一郎氏 邑樂郡梅島村 阿部節也氏 勢多郡荒砥村荒口

侍從御差遣の光榮に浴す 左記三十五ヶ所、新田郡太田町、縣社新田神社、同太田町縣社高山神社、勢多郡桂萱村前橋養老院、前橋市岩神町上毛孤兒院、吾妻郡草津町聖ハルナハ醫院、前橋市前千田、前橋積善會、吾妻郡草津町栗生樂泉園、高崎市若松町高崎陸軍墓地、群馬郡岩鼻村岩鼻火藥製造所、前橋市紅雲町前橋高等女學校、縣佛敎聯合保護

陸軍特別大演習

豫備中佐、大正十四年以來在郷軍人聯合分會長となり、滿洲事變には高崎市に國民國防同盟會を組織し飛行機の獻納や銃後の後援に努めた。

御前講演の光榮者

高柳恒三郎氏 佐波郡赤堀村 勢多郡農林學校卒、高崎歩兵第十五聯隊一年志願として入營、現役滿期後赤堀村分會長在任中。大正七年歩兵少尉、十三年中尉、昭和六年分會長辭任、同年縣會議員に當選、現に縣議、村議、侍從御差遣の榮を擔ひ、大正十五年從七位に叙せられた。講演題目は『新田義貞の旗上げ』補員羽生田俊次氏は長野縣北安曇郡美麻村出身、現に前橋市曲輪町在住、東大醫科卒、日露戦争の勇士で市會議長である。

光榮の標札

『大本營』と『行在所』の標札は、宮内省秘書課梅園良正翁が謹書した

會、勢多郡桂萱村勢多農村學校、前橋市榮町交水社、北甘樂郡富岡町原富岡製作所、多野郡美九里村三名川貯水池耕地整理組合、邑樂郡海老瀬村、邑樂耕地整理組合、桐生市永樂町桐生織物同業組合、佐波郡伊勢崎町伊勢崎織物同業組合、桐生市三吉町兩毛織物株式會社、桐生市巴町日本絹株式會社、桐生市錦町桐生織機株式會社、高崎市矢島町高崎板紙株式會社、邑樂郡館林町正田醬油株式會社、前橋市三の坪盲啞學校、前橋市岩神町前橋工業學校、高崎市常盤町高崎中央小學校、佐波郡赤堀村赤堀實業補習學校、新田郡綿打村綿打實業補習學校、北甘樂郡福島町多井戸榮養改善村落福島尋常小學校、勢多郡北橋村、利根郡川場村、群馬郡滋川町滋川信用組合、北甘樂郡富岡町甘樂社、北甘樂郡下仁田町生糸販賣組合聯合會下仁田社、高崎市矢島町生糸販賣組合聯合會碓氷社。

教育家

教育家は十一日午後大本營に參入、中堅青年は十四日行在所に參入、何れも御召の光榮に浴し、農村の實狀を具に言上した。

杉山榮一氏 縣立女子師範教諭 昭知二年東京帝大文科出身、熊本縣女子師範に國漢教諭を勤め、曩に本縣に榮轉した。

日野原芳三郎氏 勢多郡宮城小學校長 佐波郡豐受村出身、大正六年師範卒、昭和九年本校長に轉勤した。

矢野嘉重郎氏 高崎中學校教諭 富田俊一氏 同

小林徳衛氏 富岡町富岡小學校訓導 小野塚由之助氏 利根郡地内村小學校訓導

竹下榮氏 沼田中學校教諭 廣島高師出席

瀨下武松氏 箕輪青年道場主事 内海利忠太氏 群馬郡桃井小學校訓導

原澤延壽氏 佐波郡東小學校長

建國の佳節に表彰された 光榮の團體と人

△宮内省傳賜 上毛孤兒院、前橋養老院、前橋積善會、前橋市方面事業助成會、高崎樹徳學校、高崎幼稚園、明昭保育園、桐生市方面事務助成會、草津聖バルナバ醫院、高崎盲學校。 △有栖川宮記念厚生資金の銀製花瓶傳賜 農村社會教育功勞者 北甘樂郡丹生村長 岡部榮信

△内務省獎勵金傳達 上毛孤兒院、前橋養老院、前橋積善會、前橋市方面事業助成會、高崎幼稚園、明昭保育園、昭和幼兒園、桐生市方面事業助成會、修證學園、栗生樂泉園慰安會、群馬縣社會事業協會。

縣知事表彰 孝子義僕 並木新吉 北甘樂郡西秋村

自治旗授與 新田郡太田町

自治功勞者 佐波郡境町長正田虎四郎、優良農事組合、白井農事實行組合、群馬郡長尾町外四組合。

縣勢篇

縣の概観

位置 本縣は關東地方の西北部に位置し、北及西は新潟、長野、福島各縣に接し、南は埼玉縣、東は栃木縣に接し、面積六、三三五平方、人口一三三萬九千、密度一九五。

地勢 三面に山を負ひ唯南の一面のみ開けて平野で、形舞ふ鶴の如く其の頸は東南に延びて栃木、埼玉の二縣に突入。西方尾に當る部分は長野縣に接し、淺間山噴火し、縣の略中央を東北より西南に向つて那須火山帯が通じ、赤城、榛名、妙義、淺間の諸火山時つ。これ等の諸火山は其の形狀優美、岩石奇拔、河の急流瀑布、湖沼を生じ、景觀に富む。且つ附近に温泉が多いので保養地として知られてゐる。赤城、榛名は標式的の二重式火山で、外輪山、火口丘火口原湖等が備はり、箱根、阿蘇の如く大でない故に一見理解に困難でない。

ない。妙義山は奇岩怪石亂立するを以て著名、集塊岩の浸食作用を受けた結果である。越後、上野の間に略ぼ西南より東北に向つて三國山脈が走つてゐる。

平岳、守佛山の諸山を起し、分水嶺として明瞭なる國境をなし、近時トネルを以て有名な清水越の通路の如きも海拔一四四八米に達してゐる。

山岳 縣の東、栃木縣との境に山岳重疊せるは足尾山塊で、鬼怒沼山温泉岳、白根山があり、南方地藏岳に及ぶ。縣の西南隅は秩父山脈の北端で、三國嶺を以て三國の境とし、東に武藏、北に信濃を望む。

河川 斯くの如く殆んど四圍に山を繞らす故其の水は東南の一角に集る。利根川の東支流即ち之である。利根川は源を北境の平嶽に發し、清水峠の國道に沿ふて南下し、沼田の盆地を作り、東北より流れ来る片品川を合せ、更に國の中央を南下して

赤城山の西を過ぎ、少して東向し、榛名山南の諸流なる烏川、碓氷川、鐺川、神流川を合せ、東南流して下總、常陸の間に入る。赤城山の東には足尾より流れ来る渡良瀬川がある。之も利根川の支流にして古川附近に於て本流に合す。利根川の上流地方は山間峽谷を流る、故景勝頗る富むも耕地少く、沼田盆地あるのみ。然れども吾妻川合流以南は右左開けて第四紀層の沃野ありて農産に富む。湖沼としては榛名山の榛名湖、赤城山の大沼、共に火口原湖にして風景よく、岩代との國境の尾瀬沼は山間の低地に水を湛えたものである。

氣候 中部以北の山地は寒冷、二月に於て前橋市と沼田町は平均攝氏三度位の差がある。冬季北又は西北の風烈しく、夏季は南西の風が吹く。産業 地勢上山地多くして農業振はず、却つて工業殊に織物、製糸が盛んで、工産額は縣下總産額の過半を占むる有様である。従つて米産は

十八日に二十九米九と云ふ颯風があつた。

湿度 一年の平均、前橋は七十一度

降水 前橋の降水量は千二百八十九耗二、北部及北西の山間部は最も多く、平坦部は概ね千耗以下である。

降水日數 前橋では百四十七日、水上の二百十三日が最も多く、澁川及桐生の百十七日が最も少い。

降雪日數 利根水上村の七十五日が最も多く、前橋は一年二十日である。雹は平均二日である。

霜日數 吾妻郡嬭懸村が百十二日、草津町が百十日、前橋は六十七日である。

季節雪 湯原は十一月十五日に初り翌年四月十二日に終り、前橋は十二月八日から三月二十七日である。

雷の日數 前橋の三十四を最多とし、四萬〇八を最少とす。本縣に於ける氣象の特異性を見るに、本縣は大利根の水源地である關

需要を満たし得ず、畑地却つて多く麥、粟、稗、甘藷等を産し、縣の西部に於ては苧蔴の製粉多く、盛に各地に送り出してゐる。縣下到處に桑園があり、養蚕盛大で長野縣に次いで第二位を占め、群馬、勢多、佐波北甘樂の諸郡最も盛大である。

工業は本縣が最も力を入れ、織物が第一位を占む。桐生、伊勢崎、高崎、館林等で産するが、桐生は殊に盛大で、縣下總織物高の過半を出してゐる。一般に絹織が多く、海外に輸出するものも尠くない。唯館林は木綿織が多い。織物に次ぎ日本全國に於て第三位である。近來機械製糸多く、前橋、高崎、富岡、新町等には大工場がある。殊に富岡の製糸場は昭和五年政府の手によつて開かれた日本最初の模範製糸場であつた。

林業 山林は面積廣きを以て用材薪炭等を出し、又桐の植付多く、指物、履物等の木製品の産額も少くない。

沿革 群馬縣は元の上野の國である。

縣勢篇

係上其の河川の水量の消長は灌漑に
出水に其の重きを爲してゐること、
上州名物空ッ風...北西の季節風と
雷雨と降雹、晩霜の多いことである

前橋氣象

曇晴

快晴 五六日

晴天 一六二日

曇天 一四八日

氣温(攝氏)

平均 一三度四

最高 三七度四

最低 氷點下五度一

降水量

總量 一、三五二耗

(一坪につき二四石七五)

風速(秒速)

平均 三米五

最強 一八米六

最多方向 北北西

天氣豫報信號の見方

風向豫報(三角旗八種)

北風 白色

北東風 白、綠色
東風 綠色
南東風 赤、綠色
南風 赤色
南西風 赤、綠二色
西風 青色
北西風 白、綠色
備考 北風後南風などの時はこれを
を重用し、北風と南風の旗を掲げる
以下これに準ずる。

曇 赤色
雨 青色
雪 綠色
雨又は雪 青緑二色を叙線で區
切る。
晴一時曇 白色下部赤色
晴時々小雨 白色下部綠色
曇一時晴 赤色下部白色
曇小雨 赤色下部青色
曇小雪 赤色下部綠色
備考 風と同様その時に依つて各
旗を重用する。

縣廳所在地

前橋市曲輪町

極所の經緯度

方位 地名
極東 邑樂郡海老瀬村
極西 吾嬭郡嬭懸村
極南 多野郡上野村
極北 利根郡水上村

經緯度
東經一三九度〇四分
北緯 三六度二三分

經緯度
東經一三九度〇四分
東經一三八度二四分
北緯 三五度五九分
北緯 三七度〇三分

土地總反別

御料地 三四、七三〇町
國有地 一九八、一二二町
民有地 三一四、八九五町
(有租地 二八五、〇一八町)
(免租地 二八、九一四町)
(年期地 九六三町)
合計 五四七、七四七町

民有有租地

田畑 三三三、三六六、町
宅地 七七、一〇五、町
山林 一〇、一三六、町
山野 一三〇、九四三、町
其他 二九、三三八、町
計 二八五、〇一八、町

賃貸價額

一〇、五七七、四五八圓
八、四五七、三四三
七、六七二、一八四
一、二三七、一〇二
一三四、二五二
三四、二五三
合計 二八、一一二、五九二

郡市別面積世帯人口

郡市	面積 (方里)	世帯數	男	女	計
勢多郡	四二、七〇二	二〇、九六〇	六二、九〇〇	六三、七〇〇	一二六、六〇〇
群馬郡	二九、六七八	二六、六六〇	七四、六〇〇	七七、六〇〇	一五二、二〇〇
多野郡	三四、五五一	一五、四八〇	四〇、四〇〇	四三、〇〇〇	八三、四〇〇
北甘野郡	三二、七九一	一五、七四〇	四三、三〇〇	四四、七〇〇	八八、〇〇〇
碓氷郡	二五、五四八	一二、八六〇	三三、九〇〇	三五、二〇〇	六九、一〇〇
吾妻郡	八二、九三二	一二、四四〇	三二、七〇〇	三二、六〇〇	六五、三〇〇
利根郡	一一四、五〇四	一六、三三〇	四二、七〇〇	四一、九〇〇	八四、六〇〇
佐田郡	一一〇、三九五	二〇、四〇〇	五五、八〇〇	五八、七〇〇	一一四、五〇〇
新田郡	一一〇、七五一	一三、四二〇	三六、三〇〇	三九、二〇〇	七五、五〇〇
山田郡	一一〇、八七三	九、二九〇	二五、二〇〇	二六、四〇〇	五一、六〇〇
樂田郡	一二、四五七	一七、九二〇	四七、二〇〇	四八、八〇〇	九六、〇〇〇
邑樂郡	〇、七七〇	一七、六四〇	四二、五〇〇	四九、一〇〇	九一、六〇〇
前橋市					七七

高崎市 一、八一七
 生市 一、〇二二
 計 四一〇、七九一

現在人口動態 婚姻 八、八七二件
 離婚 六三七七件 出産 三九、九二一件

死亡 二二、五三三件 死産 一、五九二件

政治篇

齋藤内閣總辭職

帝國人絹會社並に神戸製鋼株式處分に關する疑獄事件の取調べは、臺灣銀行當事者の背任問題から大藏省官吏の瀆職問題に進展し、五月十九日黒田大藏次官の起訴収容となり、ついで大久保銀行局長、大野特別銀行課長、相田豪銀監理官等の召喚收容等相ついで行はれ、大藏省銀行局は潰滅に瀕するに至り、果然高橋藏相並に内閣の責任問題が論ぜられ五月末黒田次官以下の罪狀明白となつたが、財政、外交等の關係上、自己の後繼者として岡田啓介大將に眼をつけ、眞相不判明の口實の下に時期を延期してその出馬工作を爲し、

岡田内閣成立

後繼内閣の首班に關し御下問に接した西園寺元老は、七月四日御殿場より上京し、午前十時宮中に牧野、一木、清浦、齋藤、高橋、若槻の各重臣を招いて重臣會議を開催。岡田大將を推挙することに決し、西園寺公は直ちに陛下に拜謁仰せ付けられ岡田大將に大命降下あつて然るべき旨を奉答した。組閣の大命を拜した岡田大將は、直ちに首相官邸を組閣本部とし、後藤内相、河田拓務次官を參謀として組閣に着手し、即日大角海相、林陸相の留任を交渉し、翌日には廣田外相の留任、小原東京控訴院長の法相、藤井大藏次官の藏相

第六十六臨時議會

關西風水害を初め全國農村の災害救済豫算並に在滿機關改革案を審議する第六十七議會は、昭和九年十一月二十七日を以て召集され貴衆兩院共に成立。同月廿八日皇駕臨御の上

第六十七帝國議會

第六十七議會は昭和九年十一月十日公布、帝國議會召集の公布に依り十二月二十四日東京に召集され、當日議長候補者選舉を行ひ即日議長勅任あり、翌二十五日議院成立。而して同日公布帝國議會開會の詔書により翌二十六日皇駕臨開會の式を挙げさせられ、昭和十年三月二十六日即ち會期終了の翌日を以て閉院式を行はせられた。

第六十六臨時議會各派の分野

皇族	一八方
火曜會	四一人
研究會	一五五
同成會	二二三
同和會	三三二
公成會	六六六
交友クラブ	三三八
純無所屬	三三六
缺員	三

政友會	二六四
民政黨	一一八
國民同盟	三一
第一控室	二七

政友會	二六三
民政黨	一一八
國民同盟	三一
第一控室	二五
無所屬	二

豫算案九件
 △兩院を通過したるもの九件
 ▲昭和十年度歳入歳出總豫算並に昭和十年度各特別會計歳入歳出豫算案
 ▲豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件 ▲昭和九年歳入歳出總豫算追加案 ▲昭和九年歳入特別會計歳入歳出總豫算追加案 ▲(第一號)昭和十年度歳入歳出總豫算追加案 ▲(第二號)昭和十年度特別會計歳入歳出豫算追加案 ▲(第三號)昭和十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案 ▲(追第一號)豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件
 △兩院で承認されたるもの三件
 ▲昭和八年度歳入歳出總決算 ▲昭和八年度各特別會計歳入歳出決算 ▲昭和八年度國有財産増減總計算書
 △兩院で是認されたもの七件

財政篇

昭三・三・二	桂	(對露外交彈劾奉答文)
大・三・三・五	大隈(朝鮮增師案否決)	
六・一・二・五	寺内(内閣不信任案)	
九・二・二・六	原(普通選舉法案)	
三・一・一・三	清浦(内閣不信任案)	
三・一・一・三	田中(内閣不信任案)	
六・一・一・三	濱口(與黨少數)	
七・一・一・三	犬養(與黨少數)	
九・七・三	齋藤(編紀問題)	

代議士職業別

明三六年	大正四年	昭和七年
第八回	第二回	第一八回
選舉	選舉	選舉
官公吏	軍人	醫藥師
九	四	一
八	二	一
五	三	一
一	五	四
一	一	六
一	一	三
三	一	一
九	四	一

財政篇

農林業	一二六	八
鑛山業	六	一
諸教員	一	五
無職	七二	七
その他	二二	一
總數	三三六	三八一

群馬縣富力

總額	一、七二〇、一九四圓
官有	一三二、九〇一
公有	七四、七〇九
私有	一、五〇二、五八四

所得稅納稅人員

總數	九、六〇九人
第一種法人	五五五
第二種	九、〇五四
第三種	一、一七九千圓
第一種法人所得	五〇六千圓
第二種	一六一千圓
第三種	五一二千圓

第三種所得種類別

總額	一七、八四九
田自作	一九七
田小作	七〇八
畑自作	二七八
畑小作	七〇一
貸宅地及貸家	二、四八九
原野土地其他	三
鑛業	一五四
牧畜及採取業	一五四
商業	三、五五三
工業	九三八
貸金預金其他利子	五〇五
配當	一、四五九
俸給料歲費	二、四九八
賞與	五三三
諸給與	一、四三九
庶業	一、八六〇
勞力	一、一七〇
其他所得	一、一七〇
山林	一、一七〇
控除額	一、一七〇
差引額	一、一七〇
昭和九年度歲入豫算(單位千圓)	九、九一三

地租

所得稅	一、二八九
營業收益稅其他	三七九
特別地稅	三一四
家屋稅	二〇三
營業稅	五八〇
雜種稅	九七
財產收入	九一五
使用料及手数料	一一三
國庫交付金	八一一
縣費	二、七三〇
前年度繰越金	一、三八四
其他	一、一九一
歲出豫算(單位千圓)	九、九一三
總額	二九
會議費	八六六
警察費	三、三八九
土木費	一、六一一
教育費	一、七一二
勸業費	二、三九
衛生費	五
記念事業費	一、三四七
道府縣債費	一〇〇
同取扱費	一〇〇

吏員費

四五八
一一一

產業篇

產業界の展望

古來關東の中央關門として重要な地位を占めてきたが、現在に於ても高崎線、信越線の開通と共に更に重要性を加へ、殊に昭和六年ループ式による清水トンネルが開通されて以來は、上越の二地方は最短距離を以て結ばれ、本縣の產業界は異常な躍進振りを發揮するに至つた。殊に工業產額は縣下生產總額の五七パーセントを占めてゐるが、中でも生糸類が最も多く、主なる生糸産地は前橋市、多野郡、北甘樂郡、碓氷郡の各地である。この他伊勢崎、桐生を中心とする著名な機業地が各地に散在して我が國第一の機業地帯を形成してゐる。又農産物は米、麥、蕎麥、馬鈴薯、果實などを多く産し縣外に輸出してゐる。本縣は總面積の七五

パーセントが森林で我が國屈指の森林國である。

昭和九年度の本縣生產總額

農產	七、一〇三、〇六四
畜產	三、三四七、七七三
林產	四、一九九、五三八
鑛產	一、三七四、八七六
水產	四〇五、五六五
工業	一、三五、六七六、二五七
計	二一六、一〇七、〇七三
一世帶當	九三六
人口一人當	一七六

耕地面積

田自作地	一六、二九三町三
田小作地	一八、一二三町五
計	三四、四一六町八
畑自作地	四四、二二〇町七
畑小作地	三一、〇〇二町一
計	七五、二二二町八

農家戸數

兼業	八九、九八七
專業	二七、九九七
計	一一七、九八四

產業篇

八三

産業篇

自作農 三三、八九八
小作農 三三、一七四
自作農兼小作農 五〇、九一二

▽農産物 (産額一萬圓以上ノモノ)
作付反別 收穫高

米	陸	三三、六七二、六	八五三、九三九
水	稻	七、四〇三、一	八四、〇二二
計	稻	四一、〇七五、七	九三七、九六一
大	麥	一七、五八九、二	四〇四、一八七
小	麥	二九、八六八、一	四七四、一一〇
大	豆	三、七八七、八	二八、九一六
小	豆	一、四四八、七	八、二〇八
粟		一、四三四、三	一五、〇六五
稗		八、六六〇	一六、三六七
黍		三、一一六	三、一六三
玉蜀黍		一、一八二、四	一五、四六四
甘藷		一、八七一、一	一七、七一三
馬鈴薯		三、二八五、四	二、九〇二、六二四
生大根		二、九二〇、七	二、七三九、三九九
ニンジン		一、八九〇、二	三、六七二、五七四
ゴボウ		三、四三三、六	九一九、二六四
里芋		五二〇、一	一、七四九、三九三
		二、一二一、九	六、七二六、八八七

價額

米	陸	一七、一二〇、〇一〇
水	稻	一、四七一、七三三
計	稻	一八、五九一、七四三
大	麥	二、五一八、四〇〇
小	麥	七、〇三八、八〇二
大	豆	三八一、六八五
小	豆	一四五、〇九六
粟		一二八、一九一
稗		七九、四一九
黍		二八、三九三
玉蜀黍		一六二、九四三
甘藷		九七〇、〇六六
馬鈴薯		七七四、九七七
生大根		六九四、七四九
ニンジン		一一四、五八三
ゴボウ		二二六、八四〇
里芋		七一一、三六二

式四

▽桑畑
根刈 二五、三一四町三
中刈 一二、五三五町二
高刈 三、九六二町八
立通 一、七五二町一
計 四三、五六四町四

▽養蚕戸數

春蠶 七九、一三四
夏秋蠶 八二、四九四
實戸數 八三、八二三

▽蚕種掃立數量

春蠶 六、五八七、八〇九瓦
夏秋蠶 八、二七三、〇二五瓦
計 一四、八六〇、八三四瓦

▽繭産額

春蠶上繭 三、二一九、三八七貫
同價額 一八、九八八、一七七圓
夏秋蠶 三、〇〇〇、九二一貫
同價額 一一、三六七、二八二圓

價數量 六、二二〇、三〇八貫
同價額 三〇、三五五、四五九圓

葱	七、二七八、二	六一九、六一〇	二四一、九五七
タマネギ	二四、四	七九、九四六	一一、九八九
キヤベージ	一三〇、一	六七六、四九三	三九、六八四
漬菜	一、六〇四、二	八、〇九四、九九六	五八一、四六一
エンドウ	一、二〇六	一、四七一	一八、六〇二
ソラマメ	八五、八	一、一三二	一四、二〇六
インゲン豆	二三一、九	二、三一〇	三四、七一九
キノコ	四三五、一	二、二二二、八四四	一九一、八五〇
シロウリ	七〇、九	二六六、八四一	二八、三四三
カボチャ	三一、二〇	一、七六六、七三四	一一五、六二七
スイカ	八二四、四	四、二一一、八二九	三五七、八一八
マクワウリ	四八、一	一七一、二五一	二二、三八三
ナス	八〇、一	三、七五八、〇八三	三二九、三〇一
トマト	二二二、〇	九七五、五六三	九六、六六三
トウモロコシ	四一、〇	一、三三〇、五二七	四五、一九〇
花百合	三一八、七	三、六三六、石	五五、四六四
茶種	一一九、四	八四八	二〇、七八八
胡麻	一一二、九	三九、七五九	三二、五三三
大瓜	三九、〇	六六七、五二〇	一九、九五四
絲瓜	一、四一九、九	一、六七三、五三六	六四四、七九〇
蒟蒻	一七八、三	八、二三一	二五、八三四
其計			三六、五〇三
産業篇			三五、六五五、一四八

▽玉繭
春蚕 一三九、五三〇貫
同價額 三七八、四一六圓
夏秋蚕 三二六、三七四貫
同價額 五五九、三九七圓
計 四六五、九〇四貫
價額 九三七、八一三圓

▽肩繭
春蚕 一四六、四六二貫
同價額 三七一、四二一圓
夏秋蚕 二三四、六四四貫
同價額 三七八、三二九圓
計 三八一、一〇六貫
價額 七四九、七五〇圓

總計
春蚕 三、五〇五、三七九貫
同價額 一九、七三八、〇一四圓
夏秋蚕 三、五六一、九三九貫
同價額 一二、三〇五、〇〇八圓
計 七、〇六七、三一八貫
同價額 三二、〇四三、〇二二圓

産業

▽果物

梅	樹數	一四二、二六三	收穫高	一〇、三一七	價額	一八、八一七
桃	樹數	九五、七五九		二五八、〇〇四	五八、五七七	
梨	樹數	一三二、三九九		七七、一〇四	一六三、八六〇	
生柿	樹數	一三六、九六二		九三二、四二九	一〇二、五五四	
干柿	樹數	六〇、八三五		七〇、〇七四	二六、七三五	
葡萄	樹數	一		一二七、八三二	三一、八九〇	
其他	樹數	一		一	八、七七九	
計					五一、二二二	

▽其他

綠肥作物	作付反別	八、〇三七、五	收穫高	一七、二二二、〇二九	價額	三二二、三一八
製茶		九四、六		七、六七一	三一、二七二	
葉煙草		一〇八、三		六一、三二四	九一、六四三	
果樹	樹數	一五、七一九、八〇〇			六六五	
桑樹	樹數	九、三四三			一八二、八五五	
計					六二八、七五三	

八六

▽蚕種

製造者	三六三人
原蚕種	一、五一三、六五五
普通蚕種	一、七三五、一〇八
價額	一、二九五、四四一

牧畜

家畜	飼養戸數	頭數
牛	六、一四七	八、二三六
馬	三〇、九五六	三二、三〇六
豚	二六、七三四	四二、四八四
綿羊	二九八	五八四
山羊	四、六五二	五、二四三
乳牛頭數		一、四二九
搾乳工場		二〇四
搾乳高		一五、〇七三
屠殺		四八五、二四一
成牛		一、四四四
馬		二四三
家禽		一、六一七
飼養戸數		五七、二八九

蠶	五二二、二七五
雄	六六、二三七
雌	二六四、〇九八
價額	五三一、四六二
産卵數量	一、二五六、五四九
蜂箱數量	八〇八
飼養戸數	二一、一三六
價額	一七、七四六

林野面積	三九九、七七九町四
内譯	
御料	一〇、八一五町六
國有	一九五、八三七町八
社寺有	三、一三六町六
私有	一七三、〇一〇町七
林野産物	
竹皮、柴草、フシ、松茸、木炭等。	
計	二、二六八、六四〇圓
伐採	
用材	八三七、一五五圓
薪炭材	一、〇一〇、九一九
竹材	四四、七一〇

工業	
製糸類	五、七二七
製紙場數	四一、七四一
職工數	
産額	
器械生糸	三四、〇六〇、八五七圓
産額	二〇八、七六九
産額	二、九二〇、五五九
計	三七、一九〇、五八五
眞綠數造場	
數量	三、七八五貫
價額	八七、八六七圓
織物工場と機械數	
綿織物	三、九六七
絹織物及其交織物	一、六九二六
六、八〇四臺	
毛織物	三
職工數	三八〇臺
綿織物	五、二一五
絹織物及其交織物	三三、三八三
毛織物	八二三

砂利、粘土、鑛水等を産す。

水産業者	三一〇人
本業	二、二四〇
副業	二、五五〇
計	
漁獲物	
數量	
マ	三、一六九
ア	七、二六一
コ	五、四三七
ウ	六、一五三
ナ	二二、一一一
ヒ	九、〇四〇
フ	二二、二二二
カ	四七、六五四
キ	七六一
ク	八九
ケ	五〇、〇〇〇
コ	一四〇、四二二

鑛業	
鑛産物	
金	八二圓
銀	二四
銅	一、五四〇
滿	四、六一一
亞砒酸	六一、八二二
亞炭	八六七、四一八
硫黃	九三五、四九七
合計	
其他石炭、花崗岩、安山石、砂利、	

林業	
計	
類	五〇、〇〇〇
其他魚類	三九、四二六
貝類	七六一
藻類	八九
計	一四〇、四二二

八七

織物産額

綿織物		絹織物		毛織物	
廣幅物	小幅物	廣幅物	小幅物	廣幅物	小幅物
金天竺	綿共	縮二重及平絹	縮二重及平絹	縮二重及平絹	縮二重及平絹
木	木	御召他	御召他	御召他	御召他
物	物	物	物	物	物
數量	數量	數量	數量	數量	數量
價額	價額	價額	價額	價額	價額
一〇、三五六、〇〇〇	一、〇八五、〇〇〇	二四、〇〇一、五〇七	一、九四二、三三〇	一、三三七、五五八	三九、〇三二
一、五一三、九四五	四九八、六三〇	二、三九九、八六四	一九、〇七九、二五八	一、七二二、五〇〇	一、七五八
六四、三九八	二七六、一一六	二、二二〇	三、一三三、四二〇	一、七三六	一、一四六
一、三四六、二八〇	二一七、〇〇〇	一、二八、二二五	五九、六五〇	三、七〇四、三六三	九、六〇〇
一、七四、三二八	一〇四、七二二	一、〇二、八四一	三三、〇〇四	六、七〇四、三六三	四二、六三八
六八、四三七	三六二、六四二	一、三三〇、五七〇	一、一〇二、八四一	五五、〇四四、五二六	四二、六三八
六七、八四三	二、三四一、二四二	三、七〇四	一、〇二、八四一	一、一八〇、〇〇〇	一、一八〇、〇〇〇
		二〇、五四九、七二〇	一、〇二、八四一	五二六、三七六	一、六九五、八一二
		三、〇〇九、三六〇	一、〇二、八四一	一六〇、二五四	一、六九五、八一二
		一、一七四、九三二	一、〇二、八四一	八三〇	六〇、五六一、三九八
		五、九六一、四一八	一、〇二、八四一	四〇七、〇六〇	
		一、五六一	一、〇二、八四一	二〇五、二九八	
		一、二八、二二五	一、〇二、八四一	一、四七九、八一八	
		三、七〇四	一、〇二、八四一		
		一、〇二、八四一	一、〇二、八四一		
		一、三三〇、五七〇	一、〇二、八四一		
		三、七〇四	一、〇二、八四一		
		九一、八五五	一、〇二、八四一		

綿織物		絹織物		毛織物	
廣幅物	小幅物	廣幅物	小幅物	廣幅物	小幅物
金天竺	綿共	縮二重及平絹	縮二重及平絹	縮二重及平絹	縮二重及平絹
木	木	御召他	御召他	御召他	御召他
物	物	物	物	物	物
數量	數量	數量	數量	數量	數量
價額	價額	價額	價額	價額	價額
一〇、三五六、〇〇〇	一、〇八五、〇〇〇	二四、〇〇一、五〇七	一、九四二、三三〇	四、〇三六、一九一	一、八〇九
一、五一三、九四五	四九八、六三〇	二、三九九、八六四	一九、〇七九、二五八	一、二三九、〇二六	一、八〇九
六四、三九八	二七六、一一六	二、二二〇	三、一三三、四二〇		
一、三四六、二八〇	二一七、〇〇〇	一、二八、二二五	五九、六五〇		
一、七四、三二八	一〇四、七二二	一、〇二、八四一	三三、〇〇四		
六八、四三七	三六二、六四二	一、三三〇、五七〇	一、一〇二、八四一		
六七、八四三	二、三四一、二四二	三、七〇四	一、〇二、八四一		
		二〇、五四九、七二〇	一、〇二、八四一		
		三、〇〇九、三六〇	一、〇二、八四一		
		一、一七四、九三二	一、〇二、八四一		
		五、九六一、四一八	一、〇二、八四一		
		一、五六一	一、〇二、八四一		
		一、二八、二二五	一、〇二、八四一		
		三、七〇四	一、〇二、八四一		
		一、〇二、八四一	一、〇二、八四一		
		一、三三〇、五七〇	一、〇二、八四一		
		三、七〇四	一、〇二、八四一		
		九一、八五五	一、〇二、八四一		

産業篇

各種工産物及各種飲食物

帽 磁器子
陶磁器
瓦(土製)
瓦(セメント製)
管及非戸桁
漆器
皮革製器
木製器
竹製品(縣限)
竹製品
藥製
紡績品
蠶製粉類
紙製粉類
紙製粉類

(産額一萬圓以上)

製造場數	價額
二二	二二,四五八
二五	一一,五一〇
八六	一一四,一七七
六八	六一,五八七
二四	五六,九六九
二四	六一,六六〇
一四	八九,九八五
二,一七七	一,八八〇,八九五
一,一〇七	一九三,五三五
一六一	二二,一四三
二九〇	一一〇,一一六
三三,九三九	一五,四五〇
四	一六四,一七七
四	八,〇二四,〇二四
一八三	二八四,九七〇
一四	九,一八一,八七四
二二	九六六,六七五
二〇	一一四,八六八

煉炭及炭類
履物類
車輪類
貴金屬製
銅器青銅
及銅鑄器
鐵製物類
鐵力製器
農用機械器具
石細工品
傘袋
足袋
石燈籠
提燈
箒(竹製ヲ除ク)
摺絲
麵類
蕎麥類
菓子類
油類
豆類
菜類
油類

製造場數	價額
五五	二二,六四三
八七九	九六〇,一六四
一六〇	四四,七六一
一七	一一,二八九
八	二四,二六〇
二五七	一一二,六七六
三三四	五四三,二五五
三二五	七六,五七五
一三五	八〇,〇一五
二五二	一四二,六六六
四九	二六,五六四
一六〇	二二,一一七
七〇	一九,一五〇
二六六	三五,九二〇
三二四	一一,〇三四
二四	八六二,〇三二
二四	九七,五一九
六六〇	七〇九,三七九
七一	四四,五四一
八	一四,九七〇
一,二一九	一,五四五,〇一九
六四七	一一二,八二五

九〇

餅類
菓子類
豆類
水類

製造場數	價額
二二	一四,六八〇
二九	二五,五二九
三〇	一〇一,一九五
三	六一,四一五

其他飲料水
味噌油
酒類

製造場數	價額
三五	一六,一三四
四四	二四四,六〇六
五四	二,一八四,七七六
一三五	四,七四〇,八一八

經濟更生指定市町村一覽表

市町村名	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
勢多郡 群馬郡	粕川村、北橋村、長尾村、新高尾村	横野村、荒砥村、木瀬村、相馬村、白郷井村、長野村、豊秋村	敷島村、富士見村、大類村、駒寄村、國府村	上川淵村、大胡町、黒保根村、東村、清里村、堤ヶ岡村
多野郡	多胡村、美原村、小野村、小坂村	八幡村、中里村、秋畑村、額部村	神流村、萬場村、岩平村、馬山村	小野村、美九里村、丹生村、妙義町
北甘樂郡	原市町、八幡村	岩野谷村、九十九村	細野村、後閑村	秋間村、烏淵村
碓氷郡	伊參村、名久田村	原町、坂上村	長野原町	高山村
吾妻郡	川場村、新治村	白澤村、糸之瀬村	川田村、薄根村	池田村、片品村
利根郡	上陽村、三郷村	東村、名和村	豐受村、玉村町	剛志村、芝根村
佐波郡	澤野村、綿打村	生品村、藪塚本町	九合村、世良田村	筈懸村、木崎町
新田郡	福岡村、矢場川村	廣澤村、休泊村	葦川村	梅田村
山田郡	長柄村、千江田村	梅島村、海老瀬村	郷谷村、西谷田村	大箇野村、六郷村、永樂村
邑樂郡				
高崎市	二十二ヶ町村	二十五ヶ町村	二十三ヶ市町村	二十三ヶ町村

九一

本縣産業組合の状勢

一般状勢

組合運動の進展 昭和七年四月第二十八回全國産業組合大會に於ては全産業組合の意思として、産業組合擴充五ヶ年計畫を樹立し、之に依つて今後産業組合の進むべき途を明かにすると同時に、其の運動の度を一層擴大することを決議したのであるが、本年は其の第三年度に當り其の計畫は着々進捗し、今日では全國組合數一萬四千餘、組合員數は實に五百萬を突破し、各種事業亦之に應じて著しき進展を示し、中小産者の生活を安定せしめる爲め漸次斯うした自主的經濟組織の確立を見んとしつつあることは、寔に喜ぶべき傾向である。

政府に於ても現下の状勢に鑑み、産業組合の普及發達が極めて必要である所以を認め、近年各種の農業政策は殆どその中心を産業組合に置いたのである。例へば農村自力更生運

動は、農林省が經濟更生部を新設して新に起した運動であるが、その更生運動實行の主體は産業組合として認められ、更生運動の促進は、とりも直さず産業組合運動促進そのものであつたのである。斯ふした政府の方針と、五ヶ年計畫とは相呼應し此の組合運動の大なる展開を見たのである。

本縣に於ては中央の方針に従ひ、且本縣の事情を顧み、昭和七年擴充五ヶ年計畫樹立の方針を定め、同年十二月縣下産業組合長會議の決議を見たのである。その結果は原則として、

組合員に付ては——區域内全加入、組合員調育、法人加入
 目的及區域に付ては——農村に於ては一町村一組合主義に依る四種事業の兼營
 未設置町村に付ては——四種事業兼營組合の設立
 事業執行に付ては——各種系統聯合機關の全利用等を目標として進むこととなり、爾來之が實行に付ては

支會は縣、系統機關、各種農業團體と聯絡し該事業の促進を圖る爲め各種の協議會、講演會、映畫會等を開催し、其の成績は相當顯著なるものがあり、地方經濟會に於ける産業組合の地位は、熾然たる進出を示しつつあるのである。

四種兼營組合の設立 農村に於ける産業組合は一町村區域の四種事業兼營を目標として大いに之が設立を勸奨した結果、未設置町村は勿論、部落組合又は特殊組合等のみ存する地方に於ては、四種兼營組合の設立を見たものが少くないのである。昭和八年一月より本年三月迄に設立された組合は三十二組合で、其の内二十四組合即ち總數の七五%は四種事業兼營であり、而も一二を除いては何れも一町村を區域としたものである。尙この内九組合は從來所謂未設置の町村と謂はれて居つた所の新設であり、今後之等組合の活動は期して俟つべきものがあると思はれるのである。

間内に解散を見たものは、其の數は三十五組合に及んだのである。然し其の大部分は部落組合若は特殊組合の事業不振のもので、四種兼營組合設立の爲めに解散したのもも少くないのであるから、或る意味に於て組合

合の新設代辦が行はれ、從來の舊態不整備のものが完備した形のものに置き替へられつゝあるとも云へるのである。

關の充實等に依り産業組合の事業は躍進的發達を見つゝあるのであるが最近三ヶ年間に於ける情勢を掲ぐれば左の通りである。

種別	昭和六年度		昭和七年度		昭和八年度	
	組合員數	組合員數	組合員數	組合員數	組合員數	組合員數
組合員數	九九,五七七	四二〇	九八,三八五	四一四	一〇三,一九九	四一四
出資總額	一〇,二八三,三九八圓	一〇,〇七〇,三二五圓	九,九六九,三六九圓	一〇,三〇九,六二九圓	九,九六九,三六九圓	一〇,三〇九,六二九圓
拂込出資金	七,一〇一,八二六	七,〇五三,六九四	七,〇九三,七五八	七,〇九三,七五八	七,〇九三,七五八	七,〇九三,七五八
諸積立金	三,四八三,一八九	三,〇二五,四四三	三,七四五,三一六	三,七四五,三一六	三,七四五,三一六	三,七四五,三一六
借入金	一四,一八八,八三九	一五,五四八,一八一	一七,九五五,八五六	一七,九五五,八五六	一七,九五五,八五六	一七,九五五,八五六
貯蓄金	一四,四七六,一一八	一五,一三二,九六〇	一六,七二五,五二八	一六,七二五,五二八	一六,七二五,五二八	一六,七二五,五二八
貸出金	三九,二四九,九八二	四一,三六〇,二七八	四五,五一六,四五八	四五,五一六,四五八	四五,五一六,四五八	四五,五一六,四五八
販賣品賣却高	二二,三二六,〇九三	二五,三六八,一八七	三二,四七三,四六七	三二,四七三,四六七	三二,四七三,四六七	三二,四七三,四六七
購用品賣却高	一六,二六九,八三七	一七,四二四,四八三	一八,四一四,七一	一八,四一四,七一	一八,四一四,七一	一八,四一四,七一
利裕金	一,二四二,二五九	一,二九二,四九二	一,五一九,六九三	一,五一九,六九三	一,五一九,六九三	一,五一九,六九三
餘裕金	六,〇八一,〇七〇	六,四五四,二七二	八,三〇九,六二九	八,三〇九,六二九	八,三〇九,六二九	八,三〇九,六二九

右に依ても明な如く、組合事業の運轉資金を始め各種事業分量は漸次増進の傾向を示してゐるのであるが更に本年の統計が明となれば販賣、

金利低下 産業組合の借入金、貯金、貸付金等の利率は今尙低下の必要あるものが少くないが、之を數年前のものに比較すると漸次低下の趨勢をたどりつゝある。左記は全組合中最も多く行はれたものを示したのである。

種別	昭和四年度		昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		昭和八年度	
	借入金	貯金	借入金	貯金	借入金	貯金	借入金	貯金	借入金	貯金
組合員貯金	〇、〇八五	〇、〇六一	〇、〇八二	〇、〇六〇	〇、〇八〇	〇、〇六〇	〇、〇七〇	〇、〇五二	〇、〇六五	〇、〇五二
家族貯金	〇、〇五九	〇、〇五九	〇、〇六一	〇、〇五九	〇、〇六〇	〇、〇六〇	〇、〇四三	〇、〇四三	〇、〇四四	〇、〇四四
員外貯金	〇、〇五三	〇、〇五三	〇、〇五一	〇、〇五一	〇、〇五〇	〇、〇五〇	〇、〇四八	〇、〇四八	〇、〇四五	〇、〇四五
貸付金	〇、〇一六	〇、〇一六	〇、〇九九	〇、〇九九	〇、〇一〇	〇、〇一〇	〇、〇九七	〇、〇九七	〇、〇九六	〇、〇九六
手形割引	〇、〇九七	〇、〇九七	〇、〇九七	〇、〇九七	〇、〇九八	〇、〇九八	〇、〇九二	〇、〇九二	〇、〇八三	〇、〇八三

利用事業

本事業を行ふものは約百組合あるが、其の内半数近くは事業休止の状態で甚だ振はず、取扱種目も家屋、乾繭機、精米麥機、製粉機等が主で利用料も一ケ年七萬圓内外に過ぎなかつたのであるが、本事業に付き特筆すべきは醫療組合の設立である。之は本縣産業組合運動に於ける最近の事例として注目すべき事項である。醫療組合の沿革は極めて新らしいものであるが、本縣に於ける實情は此の種の事業の發達を必要とする

こと切なるものがあり、今日では先進地の夫を凌いで進展せんとする勢を示してゐるのである。一昨年九月桐生市を中心に、山田郡、新田郡、勢多郡の一部を區域として設立された桐生醫療組合の設立を嚆矢として、續いて北甘樂郡を區域とする甘樂醫療組合、前橋市を区域とする勢多郡、群馬郡の一部を區域とする前橋醫療組合の設立を見、何れも診務を開始して相當の成績を収めてゐるのである。又碓氷郡に於ても目下設立の準備中であつて、近々の内に其の實現を見んとしてゐるのである。

其の他

駐在指導員の設置、組合運動の進展につれ、當然の結果として指導機關擴充の必要に迫られ、遂に昭和八年各郡市に夫々郡市部會が生れ、支會活動の基礎的細胞機關として其の任に當ることになつたのであるが更に昭和九年縣下各組合の切實なる要望に依り、駐在指導員の設置を見る産業組合指導獎勵の空壁を期するの緒を得たのである。尙指導員の擔當區域は左の通りで

經費の關係から各郡市一名宛の設置を爲し得なかつたことは遺憾とする所であつたが、本年度よりは組合關係者の希望はいれられ遂に各郡に一名宛の指導員を置くことになつたのである。

- 第一區 勢多郡、前橋市
- 第二區 群馬郡、高崎市
- 第三區 多野郡、佐波郡
- 第四區 北甘樂郡
- 第五區 碓氷郡
- 第六區 吾妻郡
- 第七區 利根郡
- 第八區 新田郡、山田郡、邑樂郡、桐生市

産業組合講習會 本縣産業組合の現狀からすれば、何と云つても指導の重點を産業組合教育に置く必要があり、支會では従來屢々各種の講習會を開催し、或は一般組合關係者に或は教育者に、或は青年幹部に産業組合の意義、運動等を理解せしめ、其の進むべき方向を明にしたのであるが、更に縣に於ては將來組合の經

産業篇

營又は事務處理の任に當る者の養成の必要なるを痛感し、昭和九年度に於て豫算を計上し、之が講習會を開催したのである。第一回は昨年九月一日より三箇月間前橋市向町矯風會館に於て開催せられ、組合關係法規、經營、簿記其の他組合運営上必要な各種の科目に於て講習あり、二十七名の終了生を出したのであるが、第二回は本年二月一日より三月二十二日迄約五十日間に亘り縣廳内自治講習所に於て開催せられ、二十八名の終了生を出したのである。

本講習會は縣主催により昭和十年度に於ても引續き開催せられるのであるが、指導機關の充實と相俟て將來本縣産業組合運動の進展の原動力として、又經營の改善發達の上で大いに役立つものと思はれるのである。青年聯盟 産業組合は法律發布以來三十有餘年を経過し、數字的には相當の發展を來したとは云ふものゝ、未だ全民衆を包含するに至らず、且

組合當事者の組合意識不充分に依る經營の不活潑、又は組合員の無自覺等があつて、其の一部には老衰的兆候すら現はれ組合事業が徹底しない嫌がないとは謂ひ得ないのである。然るに一方農村青年の間には産業及經濟に對する關心は組合事業の必要性を深く認識するに至り、眞摯なる農村青年運動の表現として、産業組合青年聯盟を結成する地方が簇出し今日では其の數が三十六に及び、近く縣産業組合青年聯盟を結成し、組合革新運動と理想農村建設の爲め邁進せんとしつゝあるのである。郡市別聯盟數は左の通りである。

信用事業

郡市	聯盟數
勢多	六
多野	一
碓氷	四
利根	五
山田	一
高崎	一
計	三六

事業概況 現在信用事業を行ふ組合は三百三十餘組合に上り、農村不

産業篇

況と銀行合同等に依る中小産者の金融逼迫の折柄益々其の機能を發揮しつつあるのである。昭和八年度事業概況を示せば左の通りである。

一、貸付金	(一) 貸付償還状況
前年度末現在	二五、一五二、六三三(六二、三八四件)
年度内償還	二二、〇二二、三一一
年度内貸付	一四、七〇一、四七六
年度末現在	三二、四七三、四六七(六五、六六七件)
二、産業	(一) 年度内用途別貸付金
農業	一七、〇五二、六〇二(四一、二七八件)
工業	四、九六九、七〇九(一九、一六五件)
商業	二二、〇二二、三一一(六〇、四四三件)
計	(三) 年度内擔保別貸付金
土地建物	一、三三九、九六〇(一、三五三件)
建物	三六八、八五一(五二八件)
土地	一、九三六、二七七(七九三件)
有價証券	二、二二五、五七六(一、八八七件)
其他	二、三九五、九一〇(五、三五五件)
計	八、二五六、五七五(九、九一六件)
(四) 手形割引	一二六、〇九二(四四六件)
前年度末現在	五八九、二五〇
年度内割引	六一〇、一一三

本年度末現在	一〇五、二二九(三八〇件)
二、貯金	九、八八七、二六〇
組合員貯金	二、八〇〇
豫約者貯金	四、八四六、五〇八
家族貯金	一、四七一、三六五
團體貯金	五二七、五九五
員外貯金	一六、七二五、五二八
計	

販賣事業

此の種の事業を行ふものは二百四十餘組合あり、從來本縣の販賣事業は生絲の販賣を意味するが如きものであつたが、今日では縣購販聯即ち群馬縣購買販賣組合聯合會の發達や農業倉庫の建設に伴ひ漸次發展せんとする傾向にあるのである。

昭和八年度の取扱額は約千八百四十一萬五千圓で、長野縣に次ぎ全國第二位の數字を示してゐるが、其の主なるものを擧げると左の通りである。			
生絲	一五、一二八、五〇四	生繭	二二六、二〇六
織物	一、三五八、六五二	玄米	一八、二四三五
乾繭	一、二七二、三六七	小麦	六八、二六一
牛乳	六八、二六一		

購買事業

本事業を行ふ組合は百九十餘組合で、近時縣購販聯

の發達の發展及四種事業兼營組合の設立等により漸次進展し、殊に肥料の如きは政府が肥料配給改善助成規則を制定して、産業組合系統に依る配給改善の助成を爲した結果、著しい進出を見つゝあるのである。取扱品の主なるものは肥料、飼料、米、酒、織物、薪炭等であるが、之を仕入先別に見ると左の通りである。

種別	購買組合聯合會	其ノ他	計
産業用品	四一六、六二四	三二一、五二二	七三八、一四六
經濟用品	二二三、一七〇	五〇九、二七九	七二二、四四九
計	六二九、七九四	八三〇、八〇一	四、六〇五、九五一

産業組合聯合會

種別	組合名	創立年月日	組合員數	區域	會長	事務所
保	群馬縣信組聯合會	大 四・一・一	三〇〇	群馬縣一圓	後藤善十郎	前橋市曲輪町(群馬會館内)
保	群馬縣購販組合聯合會	昭 三・一・二一	一三九	群馬縣	清水 及衛	"
保	信販組合聯合會確氷社	明四三・五・二〇	九一	"	新井高四郎	高崎市八島町
保	信販組合聯合會甘樂社	明四三・六・三	六〇	群馬縣、埼玉縣	星野 元治	北甘樂郡富岡町
有	下仁田生糸販組合聯合會	明四三・五・一八	二一	北甘樂郡下仁田町、馬山村、青倉村、磐戸村、尾澤村、西牧村、小坂村、多野郡萬場町、中里村、上野村	櫻井 朝雄	北甘樂郡下仁田町
有	群馬縣蒟蒻販組合聯合會	昭 四・三・二七	七	群馬縣	町田 崇山	前橋市曲輪町
有	群馬縣牛乳販購利組合聯合會	大五・五・一七	三四	"	清水 及衛	"
有	前橋信用組合	大二三・二・二二	五五五	前橋市	木村 二郎	前橋市横山町
有	前橋中央信用組合	昭五・四・一〇	七九八	"	八木原良作	前橋市堅町

産業篇

有	高崎信用組合	大 三・六・二四二、九二九	高崎市	友松 喜平	高崎市田町
保	高陽信用組合	大 一・一・八	二八九	清水 濱吉	高崎市連雀町
有	積善信用組合	昭 三・一〇・一八	六四三	戸塚五郎作	高崎市大字飯塚
有	桐生信用組合	大 一四・二・一〇	一、六二八	増山作次郎	桐生市本町
有	館林信用組合	大 一五・六・二三	一、二六四	邑樂郡館林町	近藤晋二郎 館林町
保	伊勢崎信用組合	昭 三・一〇・一八	七二三	佐波郡伊勢崎町	三郷村大字太田、殖蓮村大字下植木、
	茂呂村大字今泉、宮郷村大字連取の門、北原、横松、辻、川岸			本問 億次	伊勢崎町新町

本縣下の産業組合

前橋市

種別	組合名	創立年月日	出資金	組合員數	組合長	事務所
有	前橋新町信	明四二・四・六	一、〇〇〇	二六	齋藤 銅藏	新町
有	信販組合交水社	明四二・六・五	四六、二五〇	三九	杉山 寅雄	榮町
有	鹿城信購利	大 一・七・四	六六、四七〇	六三九	松澤 龍雄	曲輪町
有	前橋農友建築信購利	昭 二・一・一八	二、二五〇	九	久保貞次郎	"
有	隆榮建築信購利	"	一、七五〇	七	加部 恒夫	"
有	既橋建築信購利	大 一・一・一	六〇〇	一二	久合田米三郎	紅雲町
有	共榮建築信購利	大 一・三・三	一、〇〇〇	一〇	代田 頼穂	前代田
有	前橋文化建築信購利	大 一・三・三	九〇〇	九	角田善十郎	萱町
有	前橋信	大 一・三・二	二五八、六〇〇	一、五五五	木村 二郎	"

有	信販組合上州社	大 一・五・三	三、三一		渡邊 暢山	國領町
有	前橋中央信	昭 五・四・一〇	九一、五二〇	七九八	八木原良作	堅町
有	群馬縣食肉購利販	昭 五・八・二五			羽生田與作	一毛町
有	前橋西洋料理店購	昭 五・一〇・二八			大島 義翁	立川町
有	上毛染料ドライク	昭 五・五・九	六、六〇〇	二五	吉田兼太郎	紅雲町
有	群馬縣體育教會購	昭 五・六・一三	四、〇八〇	二九六	桑原 政宗	曲輪町
有	前橋醫療購利	昭 九・一〇・四			青木 巖	國領町

高崎市

有	高崎信	大 三・六・二四	八二五、〇〇〇	二、九二九	友松 喜平	田町
有	高崎購	大 七・一・二	五、二八〇	三九二	須藤 元吉	新町
有	高陽信	大 一・一・八	四五、三五〇	二八九	清水 濱吉	連雀町
保	片岡信購	大 一・二・五	五八、〇五〇	四二九	茂木織太郎	石原
有	上毛建築信購利	大 一・二・一	八五〇	一七	高木 武助	飯塚
保	上和田製糸販	昭 三・六・一	一三、五八〇	二〇一	塚越 倉吉	桐生町
有	積善信	昭 三・一〇・一八	一〇〇、九八〇	六四三	戸塚五郎作	飯塚
保	昭和信販購利	昭 三・一〇・二四	二二、三五〇	二七一	竹本伊勢太郎	赤坂村向請地
有	高崎表原料購	昭 四・七・八	一〇、〇〇〇	一六	太田嘉之助	若松町
有	高陽購	昭 七・一・二	六一〇	六一	木戸 又平	寄合町

産業篇

桐生市

有	桐生購	大 二・五・一三	一九、五〇〇	八八	平田 善七東 久方町三丁目
有	桐生信	大 一四・二・一〇	三三〇、三五〇	一、六二八	増山作次郎 本町三丁目
信	織姫購	大 六・三・二四	一五、二〇〇	一六〇	周東森太郎 新宿通一丁目
有	桐生東部信購	大 八・五・二四			岡部權右衛門 今泉町
有	桐生織物信購販利	大 九・八・二四			小川 嘉平 安樂土
有	桐生中央信購	大 一・二・一〇・二			室田 晋造 本町六丁目
有	桐生建築信購利	大 三・三・七			佐藤 政治 永樂町一丁目
有	桐生第一建築信購利	昭 三・五・八	七三、六〇〇	一三八	田村 峻 "
有	桐生物産信販	昭 三・五・一六	八〇、三五〇	二三一	飯野 知次 天神町一丁目
有	桐生高工購	昭 四・九・二七	二、四五〇	五七	小林 平内 末廣町二丁目
有	桐生西部信購	昭 五・一・二・三	三三、九〇〇	四三九	牧島榮四郎 境野
有	境野購	大 六・一・三一	一三、八二五	一〇四	新井 機一 "
有	境野建築信利	大 一・九・二八			福島 兵馬 末廣町三丁目
有	昭和運送利	昭 七・一・一三			佐藤 政治 東堤町
無	桐生共同購利	昭 八・六・一五	六、三三〇	三八	森 正雄 諏訪町
有	桐生醫療購利	昭 八・九・二			
勢多郡	下川淵信販購利	昭 四・五・一	一〇、八八〇	二五六	角田 鎮平 下川淵村鶴光路
有	南橋信販購	大 二・四・五	二九、七五〇	一七一	高橋富太郎 南橋村荒牧

保	東橋信販購	大 五・一・二・二七	一六、一七五	一八九	粕川鶴三郎 "青柳
有	北橋信販購利	昭 三・一・一九	八、五二〇	二二〇	飯田與兵衛 北橋村眞壁
有	橋篠竹販	昭 三・五・一六	一六、〇〇〇	一二	木暮茲之助 "
有	横野信購販利	大 一四・四・六	五五、八〇〇	六三八	荒井 琮作 横野村瀧澤
有	中毛蒟蒻販購	昭 三・六・一	九四〇	六九	諸田 新一 "宮田
有	敷島信販購	明 四・三・三〇	二五、〇〇〇	三四五	田子 英一 敷島村津久田
保	富士見信購販利	昭 八・二・二二	四二、七六〇	八九五	船津 惣平 "原之郷
保	芳賀信購販利	昭 四・七・一八	一一、五〇〇	三八	近藤哲三郎 芳賀村端氣
保	桂萱信購販利	大 一四・六・二二	四五、八八〇	五二七	大澤 安造 桂萱村上泉
保	木瀬信購販利	大 一三・三・三〇	三三、三二〇	六一〇	清水 及衛 木瀬村小屋原
無	二之宮信購	明 四・四・二二	八、五五〇	一三二	岡 龍右衛門 荒砥村二之宮
無	東大室信購販	明 四・四・五・二二	四、一二〇	五六	福島彦太郎 "東大室
保	荒砥信販購利	昭 九・六・二二	五、一〇〇	三二	阿部 勘作 "荒子
保	大胡信	昭 四・一・一・五	一四、五八〇	三〇五	岡田丑五郎 大胡町大胡
保	月田信購販利	明 四・一・〇・二三	一八、三六〇	一三八	關谷 務三 粕川村月田
有	新川信	明 四・二・二・五	二、一四〇	二七	鹿沼岩太郎 新里村新川
保	黒保根信購販利	明 三・七・二・一七	二〇、六二〇	四九四	鍋木 茂作 黒保根村水沼
有	水沼製絲信販	明 四・三・三・四	七、八二五	九八	星野 元治 "
保	東信販購	大 五・九・二・九	八、二四〇	七四	松島 隆 東村山中
有	東蒟蒻販購	大 三・一・〇・五	二、二〇〇	五三	宮原 彌一 "

産業篇

産業篇

保 新里信販購利 昭八・六・五 六、〇六〇 二五七 今泉 義祐 新里村武井
 保 粕川信販購利 昭八・七・九 一三、二二〇 四三七 新井 濱治 粕川村西田面
 有 三須澤信販購 昭七・二・一 五、一〇〇 三二 櫻井 辰三 宮城村三須澤

群馬郡

保 岩鼻信販購利 大二三・九・五 四八、五〇〇 三〇九 五十嵐仲藏 岩鼻村左新田
 有 販組合群馬社 昭二・二・一 八三、五三〇〇 一八、三四四 元總社村元惣社
 保 元總社信販購利 昭九・五・一六 一二、一四〇 三四四 吉田秀一郎 中川村小八木
 有 中川信販 大二三・六・三 一四、〇〇〇 一六〇 中澤庄三郎 長野村濱川
 有 進桑製絲信販 大七・五・一三 四、七五〇 七二 高橋 縫三 樂間
 有 長野販 昭四・六・二七 一四、二〇〇 三四五 藤卷勇太郎 久留馬村高濱
 有 久留馬信販 大二三・三・二四 一五、二一〇 一八一 高井 善作 本郷
 有 本郷信販購 明四三・三・一六 三〇、八四〇 四八五 關 利一郎 室田町下室田
 有 室田信販 昭四・二・二〇 一七、六五〇 二〇九 清水 忠平 萩原嘉平次 上室田
 有 本庄信販 明四三・三・三〇 一二、四二〇 二二四 丸山 可信 倉田村權田
 有 權田製絲信販 明四三・四・一 七、〇二〇 四八四 戸塚 教司 三之倉
 有 倉田信 大二三・五・二八 二二、三〇〇 一九七 上野 龍藏 岡田捨五郎 東郷村白川
 有 倉田製絲新販 大六・五・一〇 八、二二五 五三 岡田捨五郎 東郷村白川
 有 車郷製絲新販 大六・五・一〇 八、二二五 五三 後藤平太郎 富岡
 有 車郷信 大二三・五・二七 三、〇七〇 一七六

有 車澤信販 大一一・六・三 六、四〇〇 一二七 島方作次郎 善地
 有 箕輪信購 明四三・三・二九 二六、三六〇 一四八 安田 正作 箕輪町矢原
 有 箕輪販購利 昭三・一〇・六 六、四〇〇 一四 山口 芳雄 箕輪町西明屋
 有 箕輪信 大一一・七・二〇 一五、三〇〇 一七三 清水初五郎
 有 箕輪搾乳信購販利 大七・六・七 二七、六四〇 二三五 石田藤五郎 相馬村柏木澤
 保 相馬製絲信購販 大一一・四・二一 三、七〇〇 四四 青山 吉松 青山 吉松
 有 上毛搾乳信購販利 明四三・三・一九 一四、〇四〇 一九二 岸 惣平 上郷村保渡田
 保 上郷信販 昭三・二・一四 一、八〇〇 三六 神澤 寅藏 本郷村善地
 有 善地搾乳信購販利 明四三・三・一七 一七、〇〇〇 一三五 去村半三郎 堤ヶ岡村棟方
 有 棟高製糸信販 明四三・三・一七 一七、〇〇〇 一三五 相澤喜惣治 三ツ寺
 有 堤ヶ岡信販 昭七・九・二九 六、四六〇 三二一 高橋 豪健 新高尾村日高
 保 新高尾信販購利 明四三・三・一八 三四、三六〇 一五七 小幡 甚作 總社町植野
 有 總社信販 明四二・四・一五 二六、三〇〇 一二七 高野 成一 駒寄村大久保
 有 駒寄信販購利 明四五・六・二四 一三、一〇〇 一二一 須田 善一 駒寄村漆原
 保 長岡信販購 大二・四・七 一八、四五〇 一七〇 小林 九平 桃井村長岡
 有 長岡信販購 昭四・一・一五 二、〇八〇 八六 飯塚永三郎 桃井村山子田
 有 桃井販 明四三・三・三〇 二六、六八〇 二一五 伊藤條太郎 豊秋村行幸田
 有 豊卷製絲信販 明四三・三・一八 八、四五〇 一〇四 見城嘉三郎 中村
 有 中村製糸信販

産業篇

産業篇

有 豊秋信	昭二	三三〇	一九〇二〇	二一〇	大谷善	豊秋村中村
有 澁川信	明四一	一・二九	二二六、一〇〇	一〇八八	後藤善十郎	澁川町
有 御蔭搾乳購販利	昭三	四・二七	一、二五〇	一三	高瀬常三郎	澁川町折原
有 湯中子信購	大九	一〇・一九	一四、六〇〇	五一	戸塚裕太郎	伊香保町湯中子
有 伊香保信購	大四	三・二五	六三、七〇〇	一〇一	塚越七平	伊香保町伊香保
有 川島信購	大三	四・九	八、一〇〇	一六二	淺見重雄	金島村川島
有 金井信購	大	四・三	二二、八〇〇	二九四	岸榮太郎	金島村金井
有 祖母島信	大	一・二・二一	七、六六〇	一三五	福島龜之丞	祖母島
有 長尾信販購利	明四三	三・一八	三四、四四〇	九三八	金井芳五郎	長尾村吹屋
有 北牧搾乳信購販利	大	一四・四・一三	五、一〇〇	一四	田島桓一郎	北牧
有 上毛蒟蒻粉販	昭	四・三・一五	三、二五〇	二三	飯塚儀内	白郷村上白井
有 白郷井信販購利	昭	一〇・二・二二	一、五六〇	八八	猪熊鶴吉	
有 上戸白井信	有		一、五六〇	八八		
有 白郷井信	有		三、三二五	八四		
有 小野上村信販購	明四三	三・一八	三五、二五〇	二九九	平方輪平	小野上村小野子
有 古卷信	大	一三・七・一〇	四三、三四〇	六一〇	一倉安太郎	古卷村八木原
有 西毛搾乳販利	昭	四・八・一三	二、六〇〇	二二	成田清	佐野村上佐野
有 日東信販購利	昭	七・一・二八	一一、二四〇	三六七	石坂儀八	東村箱田
有 大類信販購利	昭	八・四・二六	一一、〇六〇	三一六	櫻井與一	大類村南大類
有 長野信販購利	昭	八・五・一六	二八〇	一四	塚越林三郎	長野村南新波

保 京ヶ島信販購利 昭八 六・七 五、二〇〇 二四四 阿久津太郎 平京ヶ島村島野上宅地

保 倉賀野信販購利 昭九 九・一一・一 六〇、一〇〇 四三一 原惣太郎 藤岡町藤岡

保 清里信販購利 昭一〇 三・二 一二、五〇〇 三三七 神保孝三郎 清里村野良犬

多野郡

有 藤岡信 大一二 三・一 六〇、一〇〇 四三一 原惣太郎 藤岡町藤岡

有 神流信購販利 大九五 三・三〇 一二、五〇〇 三三七 神流村下栗須

有 阿久津信購 大九五 三・三〇 一二、五〇〇 三三七 神流村下栗須

有 緑野信購 明三四 九・七 二九、一六〇 二五九 酒井林三郎 平村東平井

保 平井信購販利 明四三 三・一八 三六、九〇〇 二〇四 八木金三郎

有 平井製糸信販 明四三 三・一七 一五、七七五 二四四 新井清作

有 多野信販 大 一・一一・一五 三七、一〇〇 一三〇 三木文四郎

有 入平信販 明三四 七・三〇 一四、七〇〇 一一五 須野原綱藏

無 白石購利販 明四四 八・二六 二六、七六〇 三五六 齋藤敏郎

有 美九里信販購利 明四三 四・一 三〇、八六〇 三七六 關口文五郎

有 美九里製糸販 大 二・四・四 三、〇〇〇 五五 萩原福藏

有 牛田信購 大 五・六・二一 七、六六〇 一〇五 田島文太郎

有 神田信購販利 明四三 四・六 一一、〇五〇 二八一 大澤匡三郎

有 淨法寺信販購 明四三 三・二一 一六、二三四 一六一 飯塚清

保 三波川信購販 明四三 三・二一 一六、二三四 一六一 飯塚清

産業篇

有	三波川電氣信購利	大・一五・四・一二	一四、四七五	三〇五	飯塚 清	三波川村
有	鍋南信販購	明四三・三・一七	二五、一四〇	三八九	樋口 京次	吉井町片山
有	吉井信販購	明四三・三・一六	二三、一五〇	三二二	岡野愛太郎	吉井町吉井
保	多胡信販購利	昭一〇・二・一二	四七、八〇〇	二八三	大澤良太郎	多胡村鹽
有	井池信販購	明四三・二・二二	一六〇、二八〇	九一五	向井 淳三	"
有	多比良信販	大五・六・三〇	五、五五〇	七八	羽切 重治	入野村多比良
有	黒熊信購	大九・九・三〇	一六、三二〇	一一一	三木 直義	" 黒熊
有	鍋北信販購利	大・一三・六・二〇	一八、七六〇	一六七	松本 武平	" 馬庭
有	日野中信販購	明四三・三・二四	一五、三二〇	三〇六	堀越慶次郎	日野村下日野
有	下日野信販	"	二七、七六五	二〇四	山田市五郎	"
保	新町信	昭七・一・二二	一三、二〇〇	一五四	加藤金之助	新町
保	坂原新販購	明四三・三・一八	二五、五〇〇	五一九	佐藤源太郎	美原村坂原
有	美原信販購	明四三・三・一七	一〇、〇〇〇	九五	須田 作治	" 保美濃山
有	萬場信販購利	昭四・四・二五	四、五〇〇	二二	新井 寅武	萬場町萬場
有	神川信	昭九・一・〇・三一	六、四四〇	二六二	新井 太郎	萬場町萬場
保	萬場信販購利	明四三・三・三〇	一〇、〇〇〇	一〇〇	高橋 藤松	中里村魚尾
保	魚尾信販購利	明四三・三・二四	二、二〇〇	二一	山口牧太郎	" 平原
有	中里信販購	昭三・七・二四	二六、二二	二二	茂木楠次郎	上野村新羽
有	新羽信販購利	昭五・一・一一	二、二〇〇	二二	宮下 利次	小野村森

北 甘 樂 郡

有	平井搾乳販利	昭五・五・六	五四〇	九	小林平太郎	平井村西平井
有	多野郡販購	昭六・四・三〇	一四、二五〇	二三四	布施龜十郎	藤岡町藤岡
有	光勢信販	明四三・三・一一	一一、三六五	二四三	佐藤 仁作	富岡町富岡
有	宗岐信販	明四三・三・一八	一四、〇七五	一四七	飯塚 理七	" 會木
有	富岡信	大・一四・五・二二	七五、三二〇	六三七	太田長三郎	" 富岡
有	黒岩信販利	明四三・三・二四	一三、九六〇	一〇七	本多 仲藏	黒岩村上黒岩
有	萬蒲信販購	明四三・三・一一	二五、〇〇〇	一九九	笠原 九市	一ノ宮町一ノ宮
有	昭和信販	昭三・六・五	六、八一〇	八九	上原 嘉助	" 宮崎
有	田島信販	明四三・三・二四	一七、四〇〇	六四	越石竹次郎	" 田島
有	神農信販	明四三・四・二五	二一、三〇〇	七八	田畑 福司	" 神農原
保	共進信販	明四三・三・一四	一六、五五〇	二二九	岩井鍋十郎	丹生村下丹生
保	丹生信販購利	明四三・三・一一	五四、一五〇	二〇七	黛 宇平	" 上丹生
保	原信販	明四三・三・一九	一三、五九〇	九三	黛 太二三	" 原
保	高田信販購	明四三・四・五	一九、〇五〇	一六〇	矢島萬二郎	高田村下高田
有	高木製糸信販	大・四・三・二〇	九、八四〇	六四	清水三代太郎	" 上高田
保	菅根信販	明四三・四・八	四、二五〇	五五	藤井又太郎	妙義町中里
有	諸戸信販	明四三・三・一六	四五、八〇二	一六六	佐藤 量平	" 諸戸
保	妙義信販購利	昭一〇・二・二一	一、一三四〇	七八	大塚徳次郎	"
保	大岳信販	大・三・四・八			佐藤市三郎	" 大手

有	天滿製糸信販	昭三・六・一五	六、六〇〇	九七	竹田 定市	妙義町菅原
有	小坂信販	明四三・三・二四	四、九八〇	七三	佐藤保次郎	小坂村小坂
有	中山坂信販	"	二、八七〇	五二	永井今太郎	" 中小坂
有	蛇田信販	明四三・四・五	二、三一〇	四七	永井繁太郎	"
有	金榮信販	明四三・四・二〇	三、四一〇	六二	東間慶次郎	" 上小坂
保	矢川信販購	明四三・三・一八	八、二〇〇	一〇六	柳澤喜三郎	西牧村西牧野
有	砥澤信販	"	二、一九〇	七四	淺川瀧太郎	尾澤村砥澤
有	星尾信販	明四三・四・二二	四、九三〇	七四	掛川今五郎	" 星尾
有	月形菊蔦販利	大・一・五・七・一七	二、一〇〇	三三	市川 鶴吉	月形村大仁田
有	大日向菊蔦生利	大・一・〇・四・四	三、四〇〇	三〇	市川清太郎	" 大日向
保	南牧信販購利	大・一・〇・五・一〇	五、五〇〇	二八七	市川 土喜	"
有	繁戸信販	明四三・三・二七	六、〇〇〇	一三七	佐藤 量平	繁戸村繁戸
有	繁戸信購販	大・一・一・一・二七	"	"	" 千原	"
有	檜澤信販	明四三・三・八	二、四〇〇	五九	工藤 安吉	" 檜澤
有	大鹽澤信販	明 四・三・一八	四、八六〇	一〇六	市川 房吉	" 大鹽澤
有	小澤信販	"	一〇、〇〇〇	一〇一	伊原彌三郎	" 小澤
保	青倉信販	明四三・三・二九	八、七八〇	八二	青倉村青倉	"
有	上青倉信販購	明四三・三・一七	三、六二〇	五四	工藤 里吉	"
有	大桑原信販	明四三・三・一八	六、一二〇	五七	岡田 量平	" 宮室
有	盛柳信販	"	三、三七〇	一一〇	高橋永十郎	下仁田町吉崎

有	上州菊蔦信販	昭三・二・一八	五五、六〇〇	七五	櫻井 朝雄	" 下仁田町
有	甘樂醫療購利	昭 九・四・一二	"	"	小金澤喜與治	下仁田町下仁田
保	馬山信販	明四三・三・一七	二一、五〇〇	一七八	小金澤倍三	馬山村馬山
保	鎗南信販	明四四・七・一一	一三、八〇〇	八九	今井 卯三	"
保	上馬山信販購	明四三・三・二七	二五、八〇〇	一七一	大河原茂平	"
有	中島信販	明四三・三・一八	三、二〇〇	三〇	佐藤 龜吉	" 白山
有	神成信販	明四三・三・一一	一二、五〇〇	八九	佐藤 豐吉	吉田村神成
保	中澤信販購	明四三・三・一七	二五、〇〇〇	八六	津金澤定吉	" 中澤
保	南蛇井信販購	明四三・三・一八	一九、二六〇	一一二	越田泰次郎	" 南蛇井
保	高瀬信販	"	一五、四八〇	一一〇	高橋源太郎	高瀬村高瀬
保	高瀬中央信販	"	二七、五五〇	一一三	白田己三郎	"
保	野上信販	明四三・三・一一	一一、九〇〇	一八二	富田 喜平	額部村野上
有	後箇信販	"	三四、二五〇	二〇一	原田 又市	" 南後箇
有	岡本信販購	"	四八、六〇〇	一九七	三田銀太郎	" 岡本
保	秋畑信販購利	"	二六、四六〇	三七六	黒澤 知平	秋畑村
保	國開信販	明四三・三・一七	八、五七〇	一五四	高麗 喜市	小幡町國峰
有	小幡信販購	明四三・三・一八	一一八、一二〇	九九九	柴山 兼吉	" 小幡
有	古川信販	"	一〇、六〇〇	一二五	金井幸三郎	福島町君川
有	眞榮信販購	"	二四、六〇〇	二五八	堀口 晋松	福島町福島
保	田篠信販	"	三一、二五五	一三〇	折茂秀治郎	" 田篠

産業篇

保	白倉信販	昭四三	三・二四	六、五六〇	一〇七	小林郷三郎	新屋村白倉
保	鍋榮信販	昭四三	三・一八	一七、七六〇	二〇四	吉田菊次郎	新屋村庭谷
保	東盛信販購	"	"	二三、二八〇	三一八	"天引	"
保	岩平信販購	大 二	六・二九	一〇、八〇〇	一九七	吉江幸太郎	岩平村岩崎
保	小野信販購利	昭四三	三・二四	二七、八四〇	二〇七	松井 十藏	小野村下高尾
有	景川信販	昭四三	三・一一	五、三四〇	一二五	齋藤 伊平	"上高尾
保	藤原信販	昭四三	三・一四	二〇、八五〇	一五二	白石榮三郎	"藤木
有	西牧信販購利	昭 五	四・一	六一、四七〇	四四一	金井 忠藏	西牧村元信
有	新屋搾乳販利	昭 五	九・九	四五〇	一一	山田善一郎	新屋村白倉
保	尾澤信販購利	昭 八	一・二三	四、三二〇	三一	工藤正次郎	尾澤村羽澤
保	北甘樂養鶏信販購	昭 二	六・八	三、二〇〇	五一	岡部 榮信	富岡町富岡
碓氷郡							
保	安中町信	昭 九	五・三一	一四、七七五	一〇八	田島 滋郎	安中町安中
有	柳瀬信販	昭四三	三・一一	三〇、〇三〇	二五〇	澁谷正太郎	安中町中宿
有	東九十九信販	昭四三	三・一四	一四、二二五	一五五	武井 龜吉	原市町原市
有	原一信販	昭四三	三・二四	一九、二六〇	一二五	櫻井 淳一	"
保	晁明信販購利	"	"	四、八六〇	一四三	須賀 義二	"郷原
有	盛定信販	"	"	一四、七五〇	一三四	小森谷市郎	"梁瀬
有	鼓信販購利	昭四三	三・一八	一四、七五〇	一三四	高木 源吉	白井町王料
有	碓東信販	"	"	"	"	猿谷盛太郎	"

有	碓氷西信販	昭 三	八・二四	一六、一三〇	一〇三	中島 章一	"
有	碓西信販	昭四三	三・三〇	一六、一三〇	一〇三	高橋孫四郎	坂本町北野牧
有	碓南信販	大 六	六・二九	一六、一三〇	一〇三	中山次郎三	西横野村行田
有	中瀬信販	昭四三	三・一八	一六、一三〇	一〇三	武者 寅吉	"八城
有	碓源信販	昭四三	三・一六	一六、一三〇	一〇三	新井高四郎	"二軒在家
有	碓部信販	昭四三	三・一八	一六、一三〇	一〇三	關口 照次	碓中村東上碓部
有	水口信販購	大 六	一・一七	一七、四三〇	二一四	田村京太郎	"下碓部
有	千鳥信販購	昭四三	三・一八	一〇、八三〇	一〇八	金田 福松	"上碓部
有	董信販	昭四三	三・一八	一〇、八三〇	一〇八	遠間 善吉	東横野村中野谷
有	鷺宮信販	昭四三	三・一八	二七、四〇〇	一四〇	新井金太郎	東横野村鷺宮
有	間仁田信販購	"	"	二三、三五〇	一五八	茂木 宋二	東横野村下間仁田
有	鰻橋信販	昭四三	三・二四	一三、五四〇	八六	佐藤 庄吉	"上間仁田
有	野殿信販購利	昭四三	三・一	七、四〇〇	八五	白石 寅吉	岩野谷村野殿
保	岩野谷信販購利	昭 九	七・三〇	七、四〇〇	八五	白石 寅吉	"
保	白山信販購利	昭四三	三・三〇	三四、三二〇	一三八	白石 德重	"
保	岩井信販	昭二二	三・三一	一〇、〇八〇	六六	松本西八郎	"岩井
有	八劍信販	昭四三	三・一五	一三、三八〇	一八四	櫻井卯三郎	八幡村劍崎
有	不二販利	昭四三	三・二四	一四、九五〇	一三一	飯沼彦太郎	"藤塚
有	豐岡信販	昭四三	三・一八	七、〇八〇	一五八	外處建次郎	豐岡村上豐岡
有	上里見信販	昭四三	三・二四	一三、九二〇	一八〇	中曾根由三郎	里見村上里見

産業篇

産業篇

有	中里見信販	明四三・三・一八	七、四九〇	二〇〇	乾 助五郎	里見村中里見
有	鳥岸信生販購	昭三・三・七	一、〇〇〇	二八	中會根喜藤次	" 上里見
有	里見信	明四三・三・一八	五二、二〇〇	四四一	富澤 佐市	" 下里見
有	里見信販	明四三・二・二八	二二、六五〇	二八九	原田孫太郎	秋間村下秋間
有	東飽馬信販	明四三・三・一四	二〇、七〇〇	二九五	島崎近太郎	秋間村東上秋間
有	飽馬販	明四三・三・一四	二八、六八〇	三二五	戶塚 義朝	" "
保	秋間信購販利	大・一四・五・一四	九、八三〇	六一四	長日部礎一郎	後閉村上後閉
有	本九十九信販	明四三・一〇・七	九、三六〇	八八	小河原良吉	" 中後閉
有	北九十九信販	明四三・三・二四	三三、一六〇	二一六	田中普治郎	後閉村下後閉
保	澁藻信販購	"	一七、二〇〇	三〇五	木村徳次郎	九十九村高梨子
有	春日信販	"	一一、四九〇	一一七	小坂橋藤太郎	" 下増田
有	白精信販	"	一一、三三〇	一一四	山賀 孝治	九十九村小日向
有	南九十九信販	昭九・六・八	一一、三六〇	一七三	宇佐美平吉	九十九村下増田
保	九十九信購販利	明四三・三・二四	一六、四五〇	一二七	上原朝治郎	細野村上増田
保	細野信販購利	明四三・三・一六	八、八二〇	六五	萩原 俊雄	" 土鹽
保	共明信販購	明四三・三・一四	一三、九〇〇	一一〇	山田 三秀	" "
保	西九十九信販購	"	九、四〇〇	六六	石井 忠造	" 新井
有	仙流信販購	明四三・四・一	一六、四八〇	一八七	塚越 喜平	鳥淵村岩氷
有	倉淵信販購利	大八・八・六	九、〇七五	一二六	中島 徳一	" 川浦

吾妻郡

有	中之條信	明三五・九・八	七一、七八〇	一、一七七	小坂橋菱三郎	中之條町伊勢町
有	中之條製糸信販利	明四三・三・一八	三九、四二〇	四一五	町田 崇山	" "
有	吾妻蒟蒻販	大・一五・八・一九	一四、五〇〇	一六三	佐藤 鴨三	中之條町中之條
有	東信販購	明四三・三・一八	一四、五〇〇	一二二	佐々木仙重郎	" 箱島
有	箱島製糸信販購	明四五・六・七	六、六三〇	一三二	青木和三郎	太田村小泉
有	太田信販購利	明四三・三・一七	四三、七一〇	五三一	中澤喜傳次	" "
保	小泉信販購利	大・一五・三・一五	二二、四一〇	一四〇	新井伊三郎	太田町原町
保	原町信販	明四三・三・一八	一一、六八〇	一九五	田村孝次郎	" "
有	原町信	大九・八・一〇	六、三四〇	一九六	日野 太七	岩島村岩下
保	漆貝戸信購	明四〇・三・二七	五、二二〇	九九	中島 隆三	" "
有	岩島信販	明四三・三・一九	一七、〇二五	二〇三	菅谷勘三郎	" 厚田
有	萬手信販	"	二一、一八〇	一五六	小林 儀一	" 松谷
有	松谷信購	大・三・七・二〇	二、五五〇	一五四	菅谷勘三郎	" 郷原
有	郷原信購	明四四・五・一一	一一、七六〇	一一一	丸橋 春雄	" 三島
有	式致去舍信利	明三九・三・八	四一、一四〇	四三六	"	"
有	吾妻麻信購販利	明三七・五・二〇	五六、六〇〇	七八〇	高橋 友吉	岩島村三島
有	三島製糸信販	昭四三・三・一九	一七、七六〇	一九〇	高橋 行義	坂上村大戸
有	坂上製糸信販	明四三・四・六	一三、四七五	二一三		

覽業篇

有	吾嬭信販	明四三	三・二七	一四、六一〇	一七〇	橋爪與太郎	坂上村本宿
有	坂上信販	昭二	五・三一	一七、八六〇	四四五	橋爪八兵衛	"
有	辨天信販	明四三	四・六	一一、九四〇	一七一	萩原一治	長野原町横壁
有	應桑信販	大五	一一・二二	一、〇〇〇	五〇	黒岩齊治	"應桑
有	嬭戀信販	昭二	九・二九	二六、一九〇	三六〇	樋口弘	嬭戀村蘆生田
有	鐘原信販	昭三	九・三	一、〇〇〇	四六	鐘原司郎	嬭戀村鐘原
有	草津信販	大九	二・四	一一、五二〇	一四〇	市川善三郎	草津町草津
有	四萬温泉信	大八	九・三〇	一四、三三〇	一〇四	關善平	澤田村大字四萬
有	四萬信販	明四一	五・一八	八、〇五〇	一〇七	宮崎角太郎	澤田村四萬
有	四萬製糸信販	大六	五・七	一五、三五〇	七七	本多高十郎	"
有	山田信販	明四五	三・二	一九、八三〇	一六九	山田治郎	"山田
有	折田信販	明四四	一一・二二	五、五五〇	一二五	折田九平治	"折田
有	上妻信販	大八	七・五	一五、一五〇	一五一	關舊衛	"山田
有	下澤渡信	大七	九・一七	三、四八〇	七七	官崎須治郎	"下澤渡
有	澤田製糸信販	大三	三・九	三〇、〇〇〇	一七七	高平清吉	"上澤渡
保	五反田信販	大五	二・一六	八、〇一〇	一三二	齋藤五平	伊參村五反田
保	岩本信販	大五	二・一六	二一、四八〇	一四三	唐澤參二	"岩本
無	伊參術糸信販	大六	三・二八	二四、四八〇	二四五	富澤武一郎	"蟻川
保	名久田信販	明四三	三・一八	二四、四八〇	四七七	劍持四郎	名久田村赤坂
保	高山製糸信販	明四三	三・三〇	二六、三二〇	三二六	奈良新八郎	高山村中山

有 高山信販 大一一 四・二五 五、五四〇 一四七 林喜作 "尻高
 無 小管信販 昭五 二・七 二、二〇〇 一一 成澤喜代太郎 長野原町應桑

利 根 郡
 有 沼田信 大五 五・二五 一三、五九〇 一三三 桑原幸吉 沼田町沼田
 有 利根林産物信販 昭三 四・五 五三、〇一〇 四二三 佐藤金松 "
 有 利根信 昭三 七・一六 一一、一〇〇 六九 高野軍之助 "
 有 沼田搾乳信販 昭四 八・二二 一九、六五〇 一〇四 高山和助 "
 有 利根蠶繭販 明四五 三・一八 四、六六〇 七四 山田徳十郎 利南村上久屋
 保 上久屋信販 大六 三・九〇 三、九九〇 六四 永井總重 "下久屋
 保 下久屋信販 大九 四・二一 二〇、四二〇 四四三 池田文作 白澤村高平
 保 白澤信販 大九 一・二七 九七〇 六九 井上義一郎 東村平川
 有 東信購 昭四 二・二七 一〇、一六〇 一六三 中澤三藏 "高戸谷
 有 片品信販 大四 七・二二 八、〇八〇 二二五 高橋伊三郎 片品村須賀川
 有 東小川信販 昭二 二・二六 一、六三〇 八六 星野萬吉 片品村東小川
 保 川場信販 大二三 六・二〇 一六、七一〇 五三二 高井臨作 川場村谷地
 有 生品信販 大二 四・一六 五、二一〇 一五〇 木村堯運 川場村生品
 保 池田信販 大九 八・一三 八、一三〇 四三五 阿部伊佐 池田村發地新田
 保 下發知信販 大九 八・一三 三、〇〇〇 四三 林卷十郎 "下發地
 有 薄根信販 大一二 一・一七 九、九八〇 四八一 高橋又衛 薄根村下沼田

有利根川信	大七・四・一三	四、三九〇	八九	真庭武平	古馬牧村真庭
有利根信利購	大九・一・一五	五、八五〇	一一七	榊淵金兵衛	古馬牧村後閉
有利根溫泉利	昭四・五・四	二五、〇〇〇	一〇	深澤謙三	"土牧
有水上搾乳信販	大一二・八・二四	四、五〇〇	二八	青山茂雄	水上村湯原
有水上信購販	大一一・七・六	三、七五〇	二二三	木村政太郎	"小日向
有吳桃信	明四〇・四・四	四、一九五	一〇四	高橋平右衛門	桃野村下津
有上津信	明四四・八・五	五、〇〇〇	一一〇	高橋隆太郎	"上津
有羽場信購販利	大六・四・七	七、五二〇	一一六	林繁太郎	新治村羽場
有布施信購	大七・三・二七	三、四六〇	一五八	原澤平重	"布施
有三國製糸信販	明四三・三・二四	二一、〇八〇	二二二	"	"
保須川信購	大八・四・二	八、〇〇〇	七三	梅澤成	"須川
保新治信販購利	昭九・三・七	六、一七〇	三八二	原澤正	"布施
保川田信購	大一一・三・四	一、二〇〇	四〇	見城孫三郎	川田村下川田
有川田菊蕪販	昭三・二・二七	一、二〇〇	一〇六	鹽野鶴吉	"岩本
保貝野瀨信購	大三・四・三〇	二、五二〇	一〇六	林辰造	絲之瀨村貝野瀨
有赤城根信	昭四・六・二一	三、〇二〇	五二	鈴木順一	赤城根村日影南郷
保久呂保信販購利	昭五・一〇・二八	二、九二〇	二八七	竹内雲井	久呂保村森下
有利根副業品販購利	昭六・一・二〇	一、七七〇	九七	林庸太郎	沼田町沼田
有月夜野信	昭六・九・一一			山岸龜之助	桃野村月夜野
保藤原電氣販利	明八・五・二三			中島米次郎	水上村藤原

阿部權十郎 桃野村小川

佐波郡

保北橋信販購利	昭八・五・一六			小暮幸次郎	伊勢崎町
有伊勢崎信	昭三・一・一二	一八八、七九〇	七一三	下城雄索	"
有伊勢崎織物信	大一一・九・二五	一七三、四五〇	九四七	細野久吉	三郷村太田
保三郷信販購利	明四二・一・二九	八、八五〇	一二五	織田文一	赤堀村今井
有今井信購販利	明四五・七・二六	七、七六〇	一三〇	古郡良造	殖蓮村八木
有八木村信購	大一二・六・一八	二四、八〇〇	三二二	木暮忠雄	"上植木
有殖蓮信購販利	明四五・三・二七	二、〇〇〇	四四	吉澤順藏	"下植木
保下植木信購	大三・四・六	一一、〇八〇	一二九	宮崎昭一郎	采女村伊與久
有伊與久信購	大九・五・一九	四、〇〇〇	三二	堀込七五三松	剛去村小此木
有小此木信購	明四二・六・二	一〇、〇〇〇	二二	町田惣五郎	島村
有名和村信	大六・一・六	三一、五四〇	五三〇	森川抱次	名和村堀口
保山王道信購利販	大六・三・一九	三六、五一〇	四六四	青木周次郎	名和村山王道
保玉村町信	昭三・一・七	一九、三四〇	五一五	井田金七	玉村田上新田
有宮郷利	大六・八・一五	七、五〇〇	一九七	多賀谷經一郎	宮郷村連取
有殖蓮村農產物販	昭五・六・一六	七、二五〇	六四	瀧澤福太郎	殖蓮村下植木
有伊勢崎織機用品購	昭五・一〇・四			赤井信次郎	茂呂村今泉
保東信販購利	昭八・五・二七			鈴木義光	東村東小保方
保上陽信販購利	昭九・六・二二			高橋和衛	上陽村藤川

新田郡

保	東毛乾繭販利	昭二	三・一〇	一四六、二四〇	二、六〇五	塚越與市右衛門	太田町太田
有	太田信	昭三	八・二五	八、九一〇〇	六二六	武川六太郎	"太田
有	太田購利	昭四	三・二七	五、二二〇	四五	内野俊亮	"
有	太田中島購	昭九	二・二八			栗原甚吉	"
有	澤野信購販利	明三五	一・二六	一二、八八〇	三八七	金谷亮	澤野村福澤
有	尾島信購販利	大二三	三・二八	四、五三〇	三〇	茂木明範	尾島町大館
有	世良田信購	大四四	一・一六	四五、〇〇〇	五〇九	柏川宗造	世良田村世良田
有	寶泉信	昭四	七・一	一一、一八〇	三一七	塚越芳三郎	寶泉村山良
無	下田島信購販利	大六	一・三一	二、九四〇	三七	五十嵐喜作	"下田島
有	生品信	昭二	二・二四	一七、六八〇	四九三	高木省三	生品村村田
有	笠懸搾乳信購販利	大四	二・二五	二、四〇〇	八	齋藤眞次	笠懸村阿佐美
有	澤野搾乳販購利	昭七	五・七	九〇〇	九	鎌須賀卯太郎	澤野村牛澤
山	梅田信購	大一一	九・二七			青木倉藏	梅田村上久方
有	梅田菊蕪販	昭三	二・一七			前原太郎	"淺中
有	小平信購販利	昭四	二・二七	二六、六〇〇	一四〇	山岡藤十郎	福岡村小平
保	淺原信購販利	昭六	六・二二	一四、一八〇	一五九	深澤和重	"淺原
有	相原信購利	昭三	三・四	一五、〇八〇	一七二	藤生丈三郎	大間々町桐原
有	兩毛牛乳販利	大八	二・三	四、二九〇	五一	"	大間々町大間々

邑樂郡

有	大間々信	大九	二・二六	八一、六五〇	二二二	金子寅亮	"
有	東毛國藝品販	昭四	七・一九			星野忠三郎	"
有	桐生信購販	大四	二・二七	一七、六〇〇	二五二	高田安五郎	桐生村天王宿
有	毛里田信購	大二〇	一〇・二二	一〇、二六〇	一二二	長島勝次郎	毛里田村矢田堀
有	矢場川信購販	大九	一・一七	八、九〇〇	一二五	齋藤龜十郎	矢場川村矢場
有	下小林信購生販						
有	館林信	大五	六・二三	一一七、五二〇	一、二六四	近藤普二郎	館林町館林
保	郷谷信購販利	大七	二・一七	四、〇四〇	二二六	坂村昇	郷谷村當郷
保	大島村信購販利	明三九	四・一〇	二、九八〇	一〇八	大塚伊右衛門	大島村
保	西谷信販購利	大一二	九・七	八、二二〇	二三四	松本重吉	西谷田村除川
有	赤羽搾乳信購販利	昭三	五・一六	三、〇〇〇	一五	横山徳次郎	赤羽村赤生田
有	富士山信販購	昭四	二・一一	一一、五〇〇	一〇三	坂村榮二	"羽附
保	千江田信購販利	大四	七・二〇	六、九五〇	一、二六四	藺中長松	千江田村江黒
有	須賀信購	大六	六・二二	一、八〇〇	三二	落合易太郎	佐貫村須賀
有	三野峯村信購販	大一一	八・二四	三、六四〇	九五	小暮逸雄	三野谷村上三林
保	富永村信購販利	大一一	八・二二	一三、一六〇	三七七	岡田清藏	富永村上五箇
保	永樂信購販利	大二〇	六・九	四、五八〇	一二九	大谷六太郎	永樂村舞木
保	大川信購	大四	一〇・六	一一、五〇〇	五一九	川島仙内	大川村古海
保	長柄信購販利	昭九	二・二二			猪越作治	長柄村篠塚

社寺宗教篇

保	渡瀬信販購利	大五・一〇・四	一三、五〇〇	二二七	木村清次郎	渡瀬村足次
有	六郷信	大六・六・八	三、九〇〇	八五	山野井善四郎	六郷村新宿
保	大箇野信販購利	大八・三・三			高瀬治三郎	大箇野村大高島
保	海老瀬信販購利	大八・六・三			松本英一	海老瀬村山口
保	高島信販購利	昭九・六・二五			田中井金十郎	高島村藤川

社寺宗教篇

宗教は連年沈滞の域りあるとは言へ、當局は民心統一の必要に依り、その振興に多くの關心を拂つたにも拘らず、社會は多くこれに興味を感じなかつた。然るに非常時局を背景として勃然として活氣を呈して來た

ことは注目し價する。國家的に、倫理的に、日本主義が高揚せられ、我が民族の指導精神の檢討に社會が非常に熱心になつた。昭和九年以來宗教復興の運動は、友松國諦氏のラヂオ講座に端を發し、宗教界の新人舊人が響を並べて論陣を張るに至つた。蓋し宗教界は是れ亦異常時風景を各所に展開してゐると言ふべきであらう。

縣内神社錄

(一五八頁ニモアリ)

社格	神社名	祭神	鎮座地	例祭日	社司名
縣社	木曾三社神社	宇氣母知神、外三神	勢多郡北橋村	三月二十一日	鹽原喜代治
"	赤城神社	大穴牟遲神、外一神	" 宮城村	五月五日	奈良原備雄
"	榛名神社	火産靈神、外一神	群馬郡室田町	五月十五日	依田省三
"	伊香保神社	大穴牟遲神、外四神	" 伊香保町	十月十九日	深井正八
"	總社神社	警筒男命、外三神	" 元總社村	三月十五日	馬場譽治郎

"	八幡宮	品陀和氣命	前橋市連雀町	九月十五日	宮澤勘吉
"	熊野神社	速玉田中之命、外二神	碓氷郡坂本町	十月十五日	曾根忠英
"	新田神社	新田義貞	新田郡太田町	十一月二日	青木要
"	高山神社	高山正之	"	三月十五日	
"	高崎神社	伊弉冉尊、外三神	高崎市赤坂町	十月十九日	高井東一
"	子持神社	木之花佐久夜毘賣命、外一神	群馬郡白郷井村	二月十六日	牧隼人
"	甲波宿彌神社	速秋津日子神、外一神	" 金島村	九月十五日	宮本茂樹
"	小祝神社	少名毘古那神	" 片岡村	四月十九日	
"	辛科神社	速須佐之男命、外三神	多野郡多胡村	九月九日	神保長太郎
"	神明宮	大日靈命	" 小野村	十月十七日	須川虎之助
"	八幡宮	玉依姫命、外三神	" 八幡村	九月十五日	高井掬水
"	妙義神社	倭建命	甘樂郡妙義町	十月九日	横尾雄彌
"	八幡宮	品陀和氣命	碓氷郡八幡村	八月十五日	竹林貫一
"	白根神社	倭建命	碓氷郡草津町	七月十八日	浦野安
"	榛名神社	埴山姫命	利根郡沼田町	八月三日	金子安平
"	河内神社	大穴牟遲神、外一神	" 薄根村	三月九日	山田庄九郎
"	八幡宮	品陀和氣命、外一神	新田郡鳥之郷村	八月十五日	
"	赤城神社	大穴牟遲神	"	三月十八日	
"	生品神社	大穴牟遲神、外一神	" 生品村	五月八日	新田山豊三郎
"	八坂神社	速須佐之男命、外六神	" 世田村	六月十五日	

社寺宗教篇

東照宮	德川家康	世良田村	四月十七日	若旅昇吾
八幡宮	氣長足姫命、外二神	九合村	三月十五日	
八幡宮	品陀和氣命、外四神	尾島町	八月十五日	
長良神社	藤原長良	澤野村	三月十五日	
神明宮	大日靈命	藪塚本町	九月十九日	
美和神社	大物主命	山田郡桐生市	十一月三日	
賀茂神社	別雷神	廣澤村	四月十五日	前原寛三
神明宮	大日靈命、外一神	大間々町	十月十五日	齋藤愛雄
賀茂神社	別雷神	休泊村	四月十五日	園田朝市
長良神社	藤原長良	邑樂郡館林町	四月三日	中島茂作
富士嶽神社	木花開耶毘賣命	六郷村	六月一日	南室幸知
赤城神社	大穴牟遲神、外一神	渡瀬村	三月十五日	赤山明
長良神社	藤原長良	富永村	三月十八日	南室傳
長柄神社	事代主神、外一神	邑樂郡長柄村	四月十五日	齋藤眞一
栗島神社	少名毘古邦神	佐貫村	九月十五日	吉田登志雄
三島神社	大山津見神、外二神	梅島村	六月二十五日	吉永清次
西丘神社	大穴牟遲神、外一神	西谷田村	三月四日	"
雷電神社	火雷命	伊奈良村	四月一日	江森幸平
高島神社	菅原道眞	大岡野村	一月二十五日	砂川九二一
長良神社	藤原長良	中野村	三月十五日	

村社之部

大雷神社	大山津見神、外二神	佐波郡赤堀村	四月五日	松井學次
大國神社	大國主命	采女村	二月二十九日	石井傳之
倭文神社	天羽槌雄命	宮郷村	四月十六日	細野嘉久
火雷神社	火雷神	芝根村	八月二十五日	和田光太郎
赤城神社	豐城入彦命	勢多郡富士見村	四月八日	
二宮赤城神社	大穴牟遲神、外四神	荒砥村	四月十五日	細野福三郎
三島神社	花輪菊見	産泰神社		鯉登進助
大胡神社	奈良原喜久太	赤城神社		鹽原守雄
今宮八幡宮	北爪徳重郎	近戸神社		田沼善助
片貝神社	代田正藏	赤城神社		角田貢
赤城神社	生方一麿	神明宮		代方政男
八幡宮	藤井金平治	鳥海神社		藤倉喜代丸
駒形神社	駒木守康	武尊神社		花輪秀祐
近戸神社	登山信三郎	稻荷神社		關口長世
八幡神社	箱田勝次郎	聖宮神社		内海元吉
大峰神社	田中權之助	瀧泉神社		桃井大泉
木曾三柱神社	根井治良平	甲波宿禰神社		狩野政樹
社寺宗教篇		鏡神社		長尾宇多丸
		諏訪神社		堤野卯中
		胸形神社		深井佐嘉喜

常將神社	"	桃井村	木村安太郎	地守神社	"	日野村	村上宮二
稻荷神社	"	佐野村	市川徳治郎	諏訪神社	"	藤岡町	篠宮美文
大宮神社	"	桃井村	森田儀一	中山神社	"	中里村	宮崎津守
稻荷神社	"	六郷村	山田軍藏	稻荷神社	"	神流村	小島眞十郎
幸宮神社	"	六郷村	廣岡英太郎	乙父神社	"	上野村	中澤儀作
熊野神社	"	清里村	中島綱五郎	八幡宮	"	萬場町	高橋晴世
飯玉神社	"	新高尾村	青木米次郎	立石神社	"	小野村	松本健一郎
戸榛名神社	"	久留馬村	櫻澤香	鬼石神社	"	鬼石町	榊原勝貞
倉賀野神社	"	倉賀野村	高木眞直	菅原神社	"	北甘樂郡妙義町	中澤角次郎
三宮神社	"	駒寄村	竹内安司	大仁田神社	"	月形村	小金澤信吾
大森神社	"	空田町	佐藤新太郎	檜澤神社	"	繁戸村	工藤安吉
八幡宮	"	箕輪町	石川種治郎	黒岩神社	"	黒岩村	勅使河原馬吉
戸春名神社	"	倉田村	小山文彌	宇藝神社	"	吉田村	工藤亮太郎
白川神社	"	車郷村	長野正夫	小波神社	"	小幡村	宮崎市五郎
子寶神社	"	多野郡美原村	鎮西行平	諏訪神社	"	富岡町	高井和海
新羽神社	"	上野村	黒澤仲三郎	高瀬神社	"	高瀬村	今井平八郎
鹿島神社	"	日野村	清水清明	八坂神社	"	小野村	小林長谷雄
姥神社	"	三波川村	青木仲麿	鷹巢神社	"	碓氷郡板鼻町	上杉雄二
八幡宮	"	新町	高橋宇吉	威徳神社	"	後閑村	中島市郎
富士淺間神社	"	藤岡町	廣瀬貞良	八幡宮	"	松井田町	高木森之助

先倉神社	"	西横野村	平石信太郎	八幡宮	"	桃野村	生方鶴藏
咲前神社	"	東横野村	和田實	武尊神社	"	佐波郡三郷村	秋山文三
八城神社	"	細野村	上原惣三郎	愛宕神社	"	名和村	深澤心明
鹿島宮	"	吾妻郡太田村	茂木庄三郎	飯玉神社	"	伊勢崎町	中根重忠
伊勢宮	"	中之條町	小坂橋尙次	伊勢崎神社	"	殖連村	福地五郎
菅原神社	"	岩島村	海野衛平	蓮神社	"	東村	齋藤勝三郎
中山神社	"	高山村	林精一	赤城神社	"	殖連村	諏訪重太郎
折田神社	"	澤田村	福田福太郎	赤城神社	"	宮郷村	岡本工二
大宮巖鼓神社	"	原町	高山彌兵衛	宮子神社	"	境町	會根豊司
諏訪神社	"	坂上村	渡邊理貞	瑤珂比神社	"	豐受村	藤生金一郎
諏訪神社	"	"	渡邊保	八幡宮	"	新田郡笠懸村	牛久保初太郎
王城山神社	"	長野原町	浦野克彦	赤城神社	"	寶泉村	石原春吉
甲波宿禰神社	"	東村	鳥山榊	増殿神社	"	生品村	峯岸宗十郎
八幡神社	"	利根郡桃野村	林團十郎	松尾神社	"	澤野村	高橋勝次郎
日枝神社	"	新治村	宮本武市郎	冠稻荷神社	"	強戸村	大塚森吉
産土神社	"	東村	高橋貞作	愛宕神社	"	笠懸村	小林濱五郎
日枝神社	"	新治村	片野他人	八幡社	"	綿打村	茂木貢
野々宮神社	"	"	本多元作	金山神社	"	笠懸村	大澤美三雄
三峯神社	"	"	高橋祇守	稻荷神社	"	笠懸村	高橋啓三
八幡宮	"	"	竹内雲井	生品神社	"	笠懸村	藤生喜作

社寺宗教篇

赤城神社 新田郡世良田村
 稻荷神社 山田郡桐生市
 飯玉神社 " 葦川村
 雀神社 " 矢場川村
 只上神社 " 毛里田村
 住吉神社 " "
 護國神社 " 梅田村
 日枝神社 " "
 碓神社 " 休泊村
 大島神社 邑樂郡大島村
 當郷神社 " 郷谷村
 長良神社 " 永樂村
 一峰神社 " 海老瀬村
 長柄神社 " 伊奈良村
 尾曳稻荷神社 " 館林町
 雷電神社 " 三野谷村
 長柄神社 " 西谷田村
 小泉神社 " 小泉町
 小石神社 前橋市横山町
 諏訪若御子神社 " 諏訪町

澁澤好雄
 小島吾妻
 寺崎林一郎
 園田良祐
 小池耕助
 園田桂三郎
 新井勝重
 前原美春
 箱田政吉
 飯塚間治
 越澤織平
 高階民彌
 蝦西壽雄
 瀨下嘉一郎
 進藤長作
 常木悅雄
 飯塚磯七
 大塚政次
 永井赤城
 新井國雄

八坂神社 " 天川町
 神明宮 " 豎町
 雷電神社 " 向町
 縣内寺院錄
 寺門...天台宗寺門派
 眞盛...天台宗眞盛派
 高野...古義眞言宗高野派
 御室...御室派
 大覺...大覺寺派
 醍醐...眞言宗醍醐派
 東寺...眞言宗東寺派
 泉涌...泉涌寺派
 小野...小野派
 山階...山階派
 智山...新義眞言宗智山派
 豐山...豐山派
 眞律...眞言律宗
 淨...淨土宗

東野善四郎
 小池林次
 飯島千代次

天龍...臨濟宗天龍寺派
 相國...相國寺派
 建仁...建仁寺派
 南禪...南禪寺派
 妙心...臨濟宗妙心寺派
 建長...建長寺派
 東福...東福寺派
 大德...大德寺派
 圓覺...圓覺寺派
 永源...永源寺派
 六廣...六廣寺派
 佛通...佛通寺派
 國泰...國泰寺派
 向嶽...向嶽寺派
 曹...曹洞宗
 黃...黃檗宗
 眞本...眞宗本願寺派
 眞大...眞宗大谷派
 眞高...眞宗高田派

眞興...興正派
 眞佛...佛光寺派
 眞木...木邊派
 眞出...出雲路派
 眞山...山元派
 眞誠...誠照寺派
 眞三...三門徒派
 日...日蓮宗
 日正...日蓮正宗
 顯...顯本法華宗
 本門...本門宗
 本法...本門法華宗
 法華...法華宗
 本妙...本妙法華宗
 日不...日蓮宗不學不施派
 日講...日蓮宗不學不施講門派
 時...時宗
 融...融通念佛宗
 法...法相宗
 華...華嚴宗

社寺宗教篇

愛樂院	豐山	佐波郡境町横町	伊久間隆本	祐全寺	豐山	群馬郡倉田村	西田禪勇
哀愍寺	淨	新田郡尾島町尾島	北澤學榮	謂雲寺	建長	山田郡梅田村	
安國寺	淨	高崎市通之町	中島靈眞	醫王寺	天台	新田郡木崎町	
安養寺	天台	北甘樂郡目形村			"	群馬郡伊香保町	
安養院	"	勢多郡新里村			高野	邑樂郡水樂村鍋谷	長柄行全
安養寺	淨	" 馬山村	島津登也		智山	新田郡生品村小金井	大野義證
安養院	天台	利根郡薄根村石墨	青柳觀玄	醫光寺	豐山	多野郡美土里村木動堂	篠澤義忠
安樂寺	"	勢多郡木瀨村	旭 亮照	"	天台	碓氷郡原市町	長橋良雅
"	"	群馬郡倉賀野町	石堂純映	威光寺	高野	多野郡美九里村	百田師誠
"	"	碓氷郡安中町	大澤興詮	一行寺	高野	勢多郡黒保根村	今井快隆
"	"	勢多郡富士見村	關 良照	岩木院	淨	群馬郡堤岡村中泉	宮田惠成
"	高野	利根郡沼田町	福田乘道	雲谷寺	曹	新田郡寶泉村由良	水上堯山
"	豐山	群馬郡大類村土大類	松本良憲	雲祥寺	"	多野郡藤岡町	兼宮澤龍海
"	"	多野郡八幡町木部	青木泰淳	雲昌寺	"	吾妻郡坂上村	田村朴榮
"	"	新田郡綿打村	山崎來機	雲晴院	淨	利根郡白澤村	中村如山
"	"	" 九合村	長柄英信	雲門寺	曹	山田郡川内村	太田邦雄
"	"	邑樂郡伊奈良村		雲林寺	"	利根郡久呂保村	山田宗哉
"	"	吾妻郡太田村			"	佐波郡植蓮村	蟲 省吾
"	"	邑樂郡永樂寺			"	邑樂郡渡瀬村	
"	"	邑樂郡佐貫村須賀			"	吾妻郡長野原町	

永源寺	"	多野郡裏石町	田宮 義榮	永龍寺	曹	勢多郡大湖町	濱邊之孝
永壽寺	天台	北甘樂郡小坂村	綱嶺澄照	永隣寺	"	北甘樂郡丹生村	堀口祖道
"	日	前橋市天川原町	田代惠教	永林寺	"	吾妻郡澤田村	植木賢道
永昌寺	曹	北甘樂郡盤戸村	轟 俊雄	惠光寺	建長	利根郡赤城根村	岸 貫善
"	"	新田郡強戸村	佐久間龍童	惠德寺	曹	高崎市赤坂町	須田達宗
榮昌寺	天台	桐生市桐生	奈良興淳	惠林寺	"	山田郡矢場川村	丹吳温入
永乘寺	曹	北甘樂郡一ノ宮町	見澤眞映	圓學寺	天台	北甘樂郡盤戸村	新居辨孝
永心寺	淨	北甘樂郡富岡町	深見常信	圓教寺	日	邑樂郡筒林町	眞木與朝
永泉寺	曹	群馬郡倉賀野町	小林順靜	圓光寺	天台	勢多郡上川淵村	
永德寺	天台	新田郡世良田村徳川	青海秀孝	圓柱寺	智山	多野郡日野村	
永福寺	曹	群馬郡片岡村	白金教宗	延壽院	靈山	邑樂郡大筒野村	
"	"	山田郡董川村	池谷晃暢	圓性寺	豐山	山田郡矢場川村	
"	天台	北甘樂郡下仁田町	本多慶山	"	"	群馬郡六郷村	
"	曹	勢多郡上川淵村	市川瑞運	圓勝寺	天台	佐波郡采女村	布施義延
"	"	利根郡東村	齋藤觀良	圓乘寺	"	碓氷郡東横野村	石堂純映
榮福寺	高野	新田郡寶泉村	鎌田智常	圓乘院	"	利根郡久呂保村	室生貞信
永明寺	豐山	邑樂郡赤羽村	鈴木泰顯	圓藏院	"	勢多郡大胡町	
"	曹	邑樂郡中野村	菅原宏遺	圓通寺	"	利根郡沼田町	加勢亮司
"	建長	山田郡川内村	蟻坂實祐	圓通庵	曹	多野郡上野村	樽川貞明尼
榮命寺	天台	北甘樂郡馬山村			"	群馬郡金鷲村	

圓通庵	曹	群馬郡箕輪村	佐藤 登禪	延命寺	豐山	佐波郡豐受村馬見塚	柳澤 慶範
圓福寺	天台	佐波郡宮郷村今村		"	"	多野郡入野村黒能	巖 良宣
"	高野	新田郡寶泉村別品	宮山 惠戒	延命院	天台	群馬郡新高尾村	青柳 興義
"	"	群馬郡瀧川村八幡原	大谷 良真	延命密院	"	利根郡川場村	高山 廣順
"	智山	新田郡綿打村		圓養寺	曹	北甘樂郡小坂村	設樂 普觀
圓覺	時	佐波郡豐受村富塚	星野 白鳳	圓龍寺	高野	多野郡吉井町	堀内 貫夫
圓滿寺	智山	邑樂郡永樂村舞水		延養寺	"	新田郡九合村小舞木	藤生 祐俊
"	天台	多野郡平井村		應永寺	天台	高崎市新町	
"	高野	勢多郡上川淵村	本多 慶山	應昌寺	曹	勢多郡富士見村	青柳 興賢
"	豐山	桐生市下久方町	鹽澤 綠龍	應聲寺	"	吾妻郡岩嶋村	古川 誠美
圓明寺	天台	多野郡神川村	小作 貞順	恩行寺	天台	利根郡水上村	山本 堯慶
"	豐山	勢多郡荒砥町	瀧澤 敦蓮	音昌寺	曹	勢多郡大胡町	
圓明院	天台	碓氷郡東横野村		恩林寺	建長	邑樂郡館林町	竹村 範純
延明寺	天台	北甘樂郡新尾村	藤井 祐寶	海雲寺	曹	多野郡吉井町	大瘦 松山
"	豐山	多野郡中里村平原	本多 興純	海圓寺	"	利根郡片品村	三輪 月溪
"	天台	佐波郡伊勢崎町	觀月 祐全	戒禪寺	"	碓氷郡原市町	土屋 貞雄
"	"	群馬郡豐秋村	大島 隆惠		"	利根郡新治村	竹内 默咲
"	高野	利根郡利南村	齋藤 觀良		"	北甘樂郡富岡村	岩崎 惠海
"	"	山田郡川内村山田			"	多野郡思石町	新井 貞道
"	"	新田郡寶泉村沖野					

海藏寺	"	利根郡東村	佐々木 秀道	"	智山	多野郡神流村	廣瀬 義照
覺應寺	眞大	邑樂郡館林町		"	"	佐波郡豐受村	
學普寺	高野	山田郡毛里田村	小林 融順	"	豐山	" 玉村町	眞木 興良
覺成寺	天台	勢多郡黒保根村	眞木 興順	"	天台	利根郡白澤村	高山 晃眞
覺動寺	"	" 下川淵村	嵯峨 宣暢	"	"	群馬郡久留馬村	
覺法寺	眞木	高崎市嘉多町	鈴木 青空	"	"	群馬郡總社町	
花臺寺	豐山	佐波郡上陽村	松岡 秀國	"	"	北甘樂郡小坂村	木部 誠觀
臥龍庵	"	新田郡笠懸村	市川 觀善	"	"	" 尼澤村	加藤 高廣
勸學寺	天台	北甘樂郡吉田村		觀音寺	高野	群馬郡岩鼻村	大谷 良眞
觀喜院	寺門	吾妻郡郷原村	宮崎 祐玉	"	"	新田郡尾島町	
觀月院	天台	佐波郡宮郷村	中澤 有賢	"	御室	利根郡新治村	高野 亮海
觀照寺	豐山	" 玉川村	中澤 信賢	觀音院	豐山	桐生市東安樂土	月門 慈憲
觀昌寺	"	勢多郡荒砥村		觀音寺	"	邑樂郡渡瀬村	廣澤 亮行
觀樂院	"	碓氷郡原市町		"	曹	多野郡上野村	
觀性寺	智山	邑樂郡館林町		"	"	利根郡池田村	吉田 端龍
岩松寺	曹	山田郡菫川村	青木 玄峰	"	"	山田郡菫川村	
顯成寺	高野	邑樂郡小泉町	神尾 智寛	觀音堂	"	北甘樂郡西牧村	茂木 晃賢
"	豐山	新田郡綿打村		觀福寺	天台	邑樂郡伊奈良村	
觀志寺	天台	群馬郡新高尾村	牧田 貞順	"	豐山	利根郡沼田町	
觀音寺	"	山田郡川内村	角田 祐靜	觀樂院	御室		

社寺宗教篇

宮昌寺	曹	群馬郡相馬村	酒井泰山	經藏寺	豐山	佐波郡采女村	丹羽竺道
久昌寺	"	桐生市	箱守芳惠	橋林寺	曹	前橋市向町	桑原道賢
儀源寺	"	碓氷郡原市町	深山仙道	玉巖寺	"	山田郡蓮田村	濱中教嚴
北野寺	豐山	新田郡尾島町	水野至成	玉泉寺	高野	利根郡古島牧村	福津憲長
吉祥寺	"	碓氷郡後閑村	井口賢行	"	豐山	多野郡藤岡町	戸部宗胡
"	天台	邑樂郡大島村	鈴木杲雄	玉泉院	曹	勢多郡桂宮村	角田行海
"	"	北甘樂郡尾澤村	加藤亮廣	玉藏院	天台	"	紺野純恭
"	"	碓氷郡西横野村	德重俊順	玉椿寺	"	碓氷郡岩野谷村	鈴木隆憲
吉祥院	"	群馬郡室田町	平野祐廓	玉田寺	豐山	高崎市中紺屋町	泰密辨
吉祥寺	高野	新田郡綿打村	竹田暢慶	金淵寺	高野	碓氷郡八幡村	淺井逸道
"	天台	"	藤生祐俊	金乘寺	曹	北甘樂郡丹生村	中田禪翁
教王院	高野	碓氷郡八幡村	西川良清	金龍寺	"	新田郡太田町	永井默淵
教王院	曹	利根郡川場村	齋藤義昌	"	淨	群馬郡白郷井村	田中隆全
教西寺	眞本	多野郡多胡村	田中元重	空慧寺	永源	"	山本宮公
		"	藤生義隨	慶雲寺	醍醐	吾妻郡長野原町	高橋宗育
		高崎市新田郡澤野村	松岡豊滿	慶恩寺	天台	新田郡鳥ノ郷村	
		梅島村		桂昌寺	建長	北甘樂郡新尾町	
		高崎市新田郡高尾村				利根郡川場村	

社寺宗教篇

桂禪寺	曹	碓氷郡秋間村	前川泰嚴	源昌寺	天台	碓氷郡碓氷村	塚田憲宏
景忠寺	曹	勢多郡北橋村	明峯玄海	源正寺	曹	北甘樂郡一宮町	新津泰禪
慶德寺	"	"	兼管原宏道	源清寺	"	碓氷郡細野村	加勢亮義
慶福寺	"	群馬郡久留馬村	兼土原祖恭	乾窓寺	"	多野郡吉井町	大井徹翁
桂林寺	"	邑樂郡高島村	輕部志順	玄太寺	"	"	石附賢道
華王寺	天台	利根郡池田村	堀口宏龍	玄棟寺	"	八幡村	星野亮石
華藏寺	"	佐波郡殖運村	新井啓暉	顯德寺	御室	群馬郡長尾村	三田村泰龍
華藏寺	天台	群馬郡新高尾村	藤井祐資	建明寺	曹	吾妻郡原町	大橋興詮
華藏院	寺門	佐波郡伊勢崎町	丸山順峯	光運寺	天台	利根郡水上村	大須賀亮原
"	天台	群馬郡明治村	飯塚神善	"	"	勢多郡南橋村	細矢珍山
"	豐山	群馬郡利南村	大須賀亮源	光雲寺	曹	群馬郡豊秋村	山内憲一
源英寺	曹	群馬郡西谷田村	坪井不味	向雲寺	"	"	金井澄丈
源空寺	淨	邑樂郡西谷田村	三浦稱一	光榮寺	智山	高崎市中横町	長柄行全
元景寺	曹	前橋市神明町	大瀧卓雄	"	高野	山田郡大間々村	佐藤隆道
玄香院	曹	群馬郡長尾村	大瀧卓雄	光恩寺	曹	山田郡大間々村	田中秀順
眠聖院	高野	群馬郡總社町	森田良好	高圓寺	天台	邑樂郡永樂村	中島忍弘
"	"	利根郡新治村	富田實參	興岩寺	曹	山田郡梅田村	兼高橋宗雄
源性寺	曹	群馬郡京ノ島村	富田實參	弘教寺	眞本	群馬郡總社町	
		多野郡美土里村				北甘樂郡小幡村	
						新田郡世良田村	

孝顯寺	曹	前橋市天川町	鈴木瑞光	高岑院	曹	前橋市天川原町	高雄賴寬
高源寺	"	多野郡平井村	大倉大志	光清寺	眞本	利根郡沼田町	田中淳之
"	"	邑樂郡長柄村	荒井宇門	光泉寺	豊山	吾妻郡草津町	鈴木賢祐
"	"	山田郡川内村	"	興禪寺	曹	高崎市下横町	田邊鐵定
光嚴寺	智山	群馬郡久留島村	片桐勇道	"	天台	佐波郡名和村	吉原俊成
"	"	多野郡平井村	廣瀬義照	興禪院	"	勢多郡横野村	杉原宗道
"	曹	北甘樂郡高瀬村	"	高倉寺	天台	多野郡美九里村	百田師誠
高秀寺	天台	山田郡毛里田村	羽鳥亮昭	光豪寺	時	多野郡美九里村	金子義雲
"	豊山	勢多郡敷島村	"	廣澤寺	曹	多原郡八幡村	上野祖良
高若寺	曹	群馬郡古卷村	岩井眞孝	光德寺	"	多野郡美九里村	神尾智寛
香集寺	建長	勢多郡南橋村	齋藤義昌	高德寺	高野	邑樂郡大川村	岡本玉映
興春寺	曹	多野郡日野村	茂木貞文	江德寺	曹	山田郡蓮川村	鈴木觀淳
高正寺	"	邑樂郡高島村	佐野桂堂	興德寺	天台	群馬郡桃井村	池田百龍
高照寺	豊山	多野郡美九里村	"	興福寺	永源	"	河内潭源
光性寺	曹	桐生市	祇樹朴禪	光福寺	豊山	多野郡美九里村	中塚周道
高唱寺	天台	群馬郡明治村	尾池光榮	弘福寺	"	佐波郡宮郷村	
光松院	寺門	吾妻郡赤岩村	中島位龍	廣福寺	曹	多野郡吉井村	
高常寺	曹	勢多郡東村	加藤貞學	"	"	勢多郡東村	
光心寺	淨	多野郡人野村	"	"	"	利根郡新治村	

光明寺	高野	高崎市若松町	大林智明	圓貞寺	豊山	新田郡九合村	澤快龍
"	"	邑樂郡梅島村	長柄英信	極樂寺	天台	勢多郡下川淵村	石井隆禪
"	"	"	高島村	極樂院	"	"	寺澤純莊
"	醍醐惠	吾妻郡坂上村	高橋吉祥	嶽林寺	高野	群馬郡佐野村	川上龍岳
"	天台	北甘樂郡一ノ宮町	今村慈道	五寶寺	曹	利根郡桃野村	廣澤榮岳
"	"	碓氷郡里見村	濱名徳鄰	今宮寺	豊山	邑樂郡館林町	平泉恭順
光明寺	高野	群馬郡大類村	松本良尙	金光寺	天台	北甘樂郡小幡村	和田康榮
"	豊山	多野郡小野村	佐光法純	金剛院	"	多野郡藤岡町	川島義海
"	曹	神川村	鹽原有善	金剛寺	高野	北甘樂郡富岡町	瀨下有弘
向陽寺	"	桐生市	猪俣英俊	金剛院	豊山	新田郡尾島町	伊藤亮讓
孝養寺	"	北甘樂郡新尾村	織田澤守山	金剛寺	天台	勢多郡宮城村	高山廣順
"	"	利根郡利南村	加藤大榮	金剛院	"	利根郡沼田町	小川晃徹
光林寺	時	邑樂郡高島村	丸山俊應	金剛院	寺門	群馬郡原町	三善良長
"	淨	利根郡赤城根村	安藤玄龍	高野	高野	吾妻郡原町	飛田英道
香林寺	曹	新田郡世良田村	過外禪海	醍醐	豊山	邑樂郡永樂村	佐高尙順
"	"	利根郡池田村	坂田祐善	"	"	碓氷郡八幡村	前澤仁譽
光琳寺	天台	佐波郡上陽村	荻田隆教	"	"	多野郡三波川村	巖清良
光蓮寺	淨	多野郡神流村	尼崎禪綱	"	"	勢多郡南橋村	相澤順道
國端寺	黄	新田郡笠懸村	"	"	"	"	"

金剛寺	豐山	群馬郡堤夕岡村	神香壽道	最勝寺	天台	新田郡木崎町	塚田亮海
金藏寺	天台	佐波郡三郷村	松本義傳	"	"	桐生市新宿	林行薰
"	"	群馬郡金島村	岡田孝洲	最勝院	豐山	邑樂郡伊奈良村	
"	"	多野郡吉井町	菅谷觀佑	最乘院	妙心	多野郡日野村	
"	豐山	勢多郡大胡町	村上鐵牛	最善寺	曹	勢多郡荒砥村	
金藏院	"	佐波郡玉村町	高橋宗育	西豪寺	高野	多野郡八幡村	瀧口大志
"	"	邑樂郡大箇野村	朝比奈大真	西福院	天台	群馬郡東村	大森清教
西慶寺	高野	新田郡鳥之郷村	小林翠山	西福寺	寺門	利根郡片品村	星野義清
西見寺	豐山	碓氷郡細野村	吉田隆道	西福院	豐山	勢多郡粕川村	福津憲照
西廣寺	眞大	"安中町	齋藤眞明	"	淨	佐波郡東村	能登周端
西光寺	天台	勢多郡上川淵村	楠田亮音	"	曹	新田郡藪塚本町	青木大願
"	"	北甘樂郡西牧村	山田禮道	"	眞本	山田郡大間々町	阿部青雲
"	"	群馬郡佐野村	藤生祐俊	西方寺	天台	北甘樂郡額部村	進賀憲正
"	高野	佐波郡玉村町	山田禮道	西方院	智山	多野郡美土里村	
"	豐山	新田郡世良田村	山田禮道	西方院	建長	山田郡梅田村	兼西田禪勇
"	"	佐波郡名和村	藤生祐俊	西方院	曹	北甘樂郡吉田村	兼戸田宗光
"	曹	北甘樂郡秋畑村	菅谷觀佑	西寶寺	智山	多野郡美土里村	兼廣瀬義照
"	淨	群馬郡土効村	村上鐵牛	西林寺	天台	北甘樂郡丹生村	兼明峰玄海
最興寺	曹	北甘樂郡吉田村	高橋宗育	"	曹	勢多郡神流村	
西勝寺	智山	多野郡神流村	朝比奈大真				

西進寺	眞本	多野郡藤岡町	神香壽道	慈覺寺	豐山	北甘樂郡福島村	中村佛心
三會寺	曹	北甘樂郡一ノ宮町	松本義傳	慈願寺	高野	群馬郡大類村	西川良清
珊瑚寺	天台	勢多郡富士見村	岡田孝洲	慈眼寺	天台	"瀧川村	中泉順謙
三光院	"	利根郡沼田町	菅谷觀佑	"	高野	新田郡寶泉寺	藤生義隨
三重院	寺門	"桃野村	村上鐵牛	"	豐山	佐波郡宮郷村	田淵隆現
三德庵	建長	"川場村	高橋宗育	"	曹	新田郡北金井町	久保田賢榮
三福庵	淨	吾妻郡坂上村	朝比奈大真	示春院	天台	多野郡日野町	長野玄英
重恩寺	眞本	北甘樂郡下仁田町	小林翠山	自性院	曹	利根郡久呂保村	晴智秀觀
宗金寺	曹	桐生市安樂土	吉田隆道	自性寺	天台	"薄根村	齋藤成願
宗光寺	天台	山田郡矢場川村	齋藤眞明	"	豐山	碓氷郡原市町	
宗傳寺	曹	群馬郡金島村	楠田亮音	地勝寺	"	多野郡入野村	村中祐人
"	"	碓氷郡豐岡村	山田禮道	慈照院	天台	勢多郡荒砥村	泰蜜辨
十輪寺	高野	北甘樂郡岩千村	山田禮道	地藏寺	高野	群馬郡岩鼻村	佐藤義晃
重琳寺	豐山	新田郡九合村	藤生祐俊	地藏院	"	新田郡笠懸村	齋藤觀道
慈雲寺	曹	佐波郡赤堀村	山田禮道	"	豐山	"太田町	安見聖法
慈恩寺	天台	碓氷郡西横野村	山田禮道	地藏寺	"	邑樂郡梅島村	齋藤觀道
"	高野	"安中町	石堂純映	實相寺	天台	"大箇野村	飯田祐昌
"	曹	佐波郡芝根村	芝木大秀	實相院	"	北甘樂郡吉田村	
自音寺	高野	多野郡神川村	増田默禪			利根郡日澤村	
		山田郡川内村	大島隆惠				

實相院	御室	利根郡川田村	高野亮海	常安寺	天台	群馬郡國府村	中野祐晃
實相寺	豐山	邑樂郡伊奈良村	植竹榮行	祥雲寺	曹	碓氷郡豐岡村	榑田弘道
"	曹	山田郡休泊村	中村宜點	"	"	山田郡境野村	正和玄靈
"	日	碓氷郡坂鼻町	"	昌雲寺	"	勢多郡新里村	大辻宜道
地福院	高野	群馬郡岩鼻村	西川良清	淨運寺	淨	佐波郡名和村	久保貞衛
鄉迦尊寺	曹	" 元總社村	山崎希運	淨雲寺	曹	桐生市新田	野口周善
寂光院	日	桐生市下久萬	村野俊光	常榮寺	"	多野郡小野村	兼會田千巖
壽延寺	天台	前橋市六供	前田仙順	常永寺	"	邑樂郡郷谷村	佐野開弘道
觀昌寺	曹	佐波郡土陽村	谷 俊國	正圓寺	天台	勢多郡藪塚本町	鈴木孝涉
壽福寺	天台	北甘樂郡富岡町	服部泰謙	常圓寺	"	新田郡敷本町	圓延祐哲
"	曹	" 新尾村	"	聖王寺	"	群馬郡東村	"
壽命院	天台	群馬郡久留馬村	高野亮海	常恩院	高野	新田郡強戸村	駒形函道
"	御室	利根郡桃野村	加藤岱雲	正覺寺	曹	利根郡古鳥牧村	藤生義寬
受樂寺	淨	新田郡太田町	大石宥勝	"	高野	新田郡尾島町	渡邊順應
壽樂寺	智山	多野郡藤岡町	戸松大機	"	淨	利根郡沼田町	境野善瑞
授樂寺	曹	邑樂郡富永村	宮澤舜榮	"	曹	山田郡柏生村	堀口義一
壽量院	天台	利根郡利南村	會田千巖	"	"	" 菰川村	酒井文海
春昌寺	曹	邑樂郡大島村	松本義傳	正學院	曹	利根郡赤城根村	"
正安寺	僧	北甘樂郡高瀬村	兼 高山全誠	"	曹	善妻郡岩島村	"
社安寺	曹	邑樂郡海老瀬村	"	"	曹	"	"

天台	佐波郡國府村	豐月祐胤	常光寺	曹	多野郡平井村	羽毛博英
高野	群馬郡佐野村	福山乘道	"	天台	北甘樂郡小坂村	長谷川最歡
曹	碓氷郡磯部村	横川玉淳	"	高野	多野郡美九里村	橋瓜良全
豐山	山田郡休泊村	澁澤良忍	"	淨	邑樂郡館林町	正村龍誠
曹	勢多郡黒保根村	宮澤室山	"	曹	" 佐貫村	青木之隆
眞大	北甘樂郡一ノ宮町	九條嚴英	"	天台	" 小泉町	小川現道
成願寺	新田郡澤野村	藤生義隨	常廣寺	曹	北甘樂郡青倉村	白石禎順
正喜院	新田郡尾島町	鳥津宣也	淨光寺	"	勢多郡新里村	仲尾純祥
正行院	利根郡薄根村	竹村與實	成孝院	"	山田郡休泊村	天津圓宗
常行院	多野郡吉井町	"	莊嚴寺	天台	碓氷郡安中町	宮澤龍海
松慶寺	北甘樂郡小幡村	德重俊順	松山寺	曹	群馬郡箕輪村	山口禪教
昌見寺	碓氷郡西横野村	岡田東洲	常住寺	天台	北甘樂郡下仁田町	蘭 實圓
松源寺	山田郡福岡村	高橋鴻允	生壽寺	曹	" 高田村	片桐龍與
"	多野郡中里村	米倉謙龍	成就院	豐山	碓氷郡九十九村	足立弘忍
正眼寺	邑樂郡小泉町	木村良憲	"	"	邑樂郡小泉町	吉田弘水
"	利根郡白澤村	藤生祐俊	清淨院	智山	山田郡境野村	"
聖眼寺	桐生市安樂土町	瀧澤德全	"	豐山	前橋市	加藤宥弘
淨眼寺	群馬郡堤ヶ岡村	"	呂井寺	"	邑樂郡大筒野村	"
正光寺	新田郡尾島町	"	"	"	碓氷郡岩野谷村	"
正幸寺	前橋市芳町	"	"	"	"	"

淨清寺	淨	吾妻郡吉島村	伊藤聽道
常清寺	天台	佐波郡蓮村	瑞穂祐信
正泉寺	高野	群馬郡塚澤村	福山乘道
"	曹	吾妻郡東村	川原田寛澄
"	"	新田郡九合村	笠井大典
"	"	邑樂郡長柄村	横關了胤
松泉寺	曹	勢多郡新里村	兼見總淑
正善寺	天台	北甘樂郡新屋村	齋藤舜光
正善院	曹	勢多郡北橋村	川崎俊鳳
正禪寺	"	邑樂郡小泉町	織田澤締示
祥禪寺	"	利根郡久呂保村	高橋仙巖
常泉寺	天台	勢多郡東村	小林黒然
"	高野	群馬郡明治村	反木大秀
常仙寺	曹	" 岩鼻村	佐藤俊道
"	"	" 金古町	保坂元哉
淨泉寺	淨	高崎市並榎町	原 智順
定善寺	"	多野郡新町	大江淳弘
"	"	桐生市新宿	分部生隆
淨藏寺	高野	吾妻郡坂上村	川島義海
"	"	新田郡尾島町	

松澤寺	曹	群馬郡箕輪村	兼峯岸順應
聖澤寺	曹	多野郡神川村	明峯鏡式
松竹院	"	前橋市天川原	宮崎與祐
淨土院	天台	勢多郡木瀬村	中泉順謙
正洞寺	"	北甘樂郡月形村	石垣厚含
成道寺	淨	多野郡藤岡町	
聖德寺	天台	北甘樂郡警戸村	兼藤井慶存
勝念寺	眞大	勢多郡大胡町	多賀堂智勇
"	"	佐波郡宮郷村	羽仁啓三
正念寺	曹	勢多郡横野村	宇尼達道
稱念寺	淨	佐波郡玉村町	小林邦信
正福寺	天台	山田郡福岡村	伊藤亮俊
"	"	利根郡利南村	藤生義泰
"	高野	新田郡澤野村	佐藤泉眼
昌福寺	曹	群馬郡明治村	市川觀善
"	天台	北甘樂郡吉田村	明峯白露
常福寺	天台	勢多郡富士見村	今井覺純
常福院	高野	碓氷郡里見村	吉井良恭
"	智山	群馬郡塚澤村	兼廣瀬義照
"	"	多野郡吉井町	

正法寺	高野	新田郡寶泉村	空井空猛
"	日	高崎市九藏町	石橋要識
"	天台	群馬郡清里村	稻岡堯順
正法院	"	勢多郡荒砥村	藤井祐實
正法寺	豐山	北甘樂郡高田村	綠野衣榮
淨法寺	天台	多野郡鬼石町	綾小路純秀
稱名寺	"	碓氷郡板鼻町	石塚龍海
照明寺	高野	新田郡生品村	廣瀬紀道
正明院	豐山	邑樂郡海老瀬村	星野亮石
聖明寺	黃	碓氷郡原市町	眞木興朝
淨明院	御室	利根郡古馬牧村	中俣智光尼
乘明院	天台	勢多郡下川淵村	綾小路乘信
常默庵	曹	群馬郡塚澤村	紺野純恭
正樂寺	寺門	利根郡川場村	茂木大秀
昌樂寺	天台	群馬郡總社町	本城隆彦
常樂寺	"	碓氷郡岩野谷村	
"	高野	佐波郡芝根村	
"	豐山	新田郡寶泉村	
"	"	邑樂郡多々良村	
正龍寺	淨	山田郡休泊村	荻原修禪

昌龍寺	曹	利根郡東村	大橋龍定
松林寺	淨	邑樂郡郷谷村	寺山達雄
"	曹	勢多郡東村	青木秀雄
"	"	邑樂郡佐貫村	兼勝 諒主
少林寺	"	吾郡箕輪村	高橋常信
常林寺	"	" 長野原町	
青蓮寺	時	新田郡尾島町	
青蓮寺	時	桐生市下久方	
正蓮寺	眞大	群馬郡澁川町	兼富岡有嚴
淨蓮院	智山	邑樂郡西谷田村	
淨蓮寺	豐山	新田郡世良田村	
舒林寺	曹	利根郡沼田町	天野延秋
字輪寺	豐山	群馬郡相馬村	
眞觀寺	豐山	邑樂郡三野谷村	本多光純
神宮寺	天台	群馬郡古卷村	
"	"	" 清里村	齋藤觀良
眞光院	高野	新田郡寶泉村	
眞光寺	"	邑樂郡大川村	松本光丸
"	豐山	多野郡入野村	
"	"	碓氷郡原市町	

眞光寺	圓覺	佐波郡名和村	吉野龍梅
"	天台	群馬郡澁川町	青柳興賢
神光寺	淨	邑樂郡中野村	福島貞仙
森嚴寺	"	前橋市荻小路	廣瀬英俊
信照寺	豐山	碓氷郡磯部村	長橋良寛
眞珠寺	曹	勢多郡南橋村	鈴木覺道
神守寺	"	北甘樂郡一ノ宮町	兼 菅原宗朝
眞政寺	建長	利根郡古馬牧村	
深諦寺	時	邑樂郡多々良村	
心洞寺	曹	多野郡八幡村	
神刀院	寺門	利根郡古馬牧村	藤原源長
心王寺	高野	山田郡毛里田村	藤生義寛
神應寺	曹	山田郡休泊村	千坂喜一
眞福寺	豐山	群馬郡中川村	
"	"	新田郡世良田村	
"	天台	" 東郷村	旭 亮照
"	豐山	碓氷郡原市町	
眞樂寺	高野	群馬郡塚澤村	兼 大石宥勝
"	智山	勢多郡神流村	山岡眞淨
"	豐山	" 木瀬村	

眞樂寺	天台	佐波郡玉村町	福井榮賢
眞龍寺	"	群馬郡小野村	飯塚行定
瑞雲寺	曹	" 清里村	深美福道
隨雲寺	智山	多野郡人野村	砂野智岳
隨應寺	天台	北甘樂郡妙義町	徳重俊順
瑞巖寺	曹	山田郡毛里田村	長谷川瑞圭
水宮寺	智山	多野郡神流村	西本義海
瑞光寺	曹	新田郡強戸村	大澤照禪
水澤寺	天台	群馬郡伊香保町	津田觀考
崇徳寺	妙心	碓氷郡松井田町	渡井俊英
栖雲寺	"	北甘樂郡富岡町	石川清見
清雲寺	曹	利根郡糸之瀬村	竹之内金道
青雲寺	"	勢多郡新里村	河内透關
清岩寺	"	邑樂郡高嶋村	中瀬東禪
清岸院	"	利根郡川場村	井上寛二
清見寺	淨	吾妻郡中之條町	長田台麟
"	"	多野郡平井村	村田隨雲
清光寺	豐山	碓氷郡東横野村	西村宥泰
"	眞本	山田郡毛里田村	高橋宗雄
"	"	前橋市南曲輪町	

勢光寺	淨	邑樂郡小泉町	馬場圓瑞
政淳寺	眞大	前橋市榎町	藤井慶存
盛勝院	曹	多野郡小野村	佐藤武曹
清照寺	眞本	碓氷郡安中町	藤野大見
青水寺	豐山	群馬郡片岡村	高橋隆榮
"	曹	勢多郡東村	宮内鐵禪
清泉寺	高野	新田郡世良田村	池谷晃暢
"	天台	北甘樂郡下仁田町	小林晃然
"	"	新田郡笠懸村	
"	曹	多野郡中里村	
清泰寺	天台	群馬郡古卷村	栗原慶全
清樂寺	"	利根郡薄根村	
清瀧寺	"	多野郡入野村	竹原實觀
"	"	吾妻郡伊參村	
清瀧院	豐山	山田郡天場川村	
世音寺	天台	" 大間々町	小方祐憲
石原寺	"	群馬郡豊秋村	山本徳晃
石昌寺	"	" 片岡村	小安賢榮
石上寺	豐山	" 堤ヶ岡村	和田辨瑞
"	"	" 箕輪村	

赤城寺	豐山	勢多郡宮城村	大澤賢良
施無畏寺	天台	北甘樂郡小幡村	井上周歡
善雄寺	"	勢多郡東村	直下興雄
禪桂寺	曹	山田郡福岡村	松島義仙
仙源寺	時	多野郡美九里村	
千眼寺	豐山	邑樂郡館林町	
專光寺	高野	" 大川村	神尾智寛
善光寺	天台	勢多郡下川淵村	田中賢順
善宗寺	曹	山田郡毛里田村	日下部貞三
千手院	天台	多野郡日野村	齋藤順榮
千手寺	智山	" 美土里村	廣瀬義照
千手院	豐山	勢多郡粕川村	平澤秀應
千手寺	妙心	山田郡川内村	
"	曹	多野郡神川村	兼 香西秀山
善昌寺	天台	勢多郡新里村	船戸祐研
"	圓覺	" 下淵村	平尾寛英
善勝寺	天台	" 茅賀村	岡 慈賢
"	曹	群馬郡瀧川村	勝山徳眼
全性寺	豐山	新田郡藪塚本町	蒲田愛義
"	曹	碓氷郡秋間村	森山禪瑞

善性寺	天台	群馬郡新高尾村	飯田祐昌
禪定院	"	利根郡白澤村	佐藤義晃
善泉寺	高野	新田郡強戸村	本多祐田
泉藏寺	天台	勢多郡木瀬村	本波清隆
"	高野	吾妻郡岩鼻村	蓮谷章道
千藏寺	豐山	碓氷郡白井町	前山禪應
仙藏寺	"	多野郡平井村	峯岸順應
善長寺	曹	邑樂郡郷谷村	小栗善榮
善長院	時	群馬郡長野村	應巢乾龍
泉通寺	曹	多野郡小野村	淺井徳隣
全秀院	"	群馬郡倉田村	塚田英亮
全東院	"	佐波郡三郷村	大辻利雄
前嶋院	"	新田郡尼嶋町	松本大俊
善導寺	淨	邑樂郡館林町	小川晃徹
泉德寺	天台	碓氷郡板鼻町	市川觀善
全德寺	曹	勢多郡粕川村	
善念寺	淨	高崎市元紺屋町	
善應寺	天台	佐波郡伊勢崎町	
泉福寺	"	碓氷郡里見村	
	"	北甘樂郡古田村	

專福寺	曹	新田郡澤野村	田邊月堂
善福寺	高野	群馬郡塚澤村	兼廣瀬義照
"	智山	多野郡新町	土佐長昌
"	天台	北甘樂郡下仁田町	
"	豐山	多野郡神川村	天野靈真
"	淨	吾妻郡澤田村	
"	時	新田郡世良田村	
禪養寺	天台	佐波郡上陽村	吉原道應
泉龍寺	圓覺	" 名和村	志佐鳳洲
"	曹	吾妻郡高山村	荒井雲堂
"	"	北甘樂郡秋畑村	山本太嶽
"	"	多野郡上野村	今橋大雄
川龍寺	淨	利根郡糸之瀬村	田川眞成
遷流寺	"	" 川田村	船中祐研
善龍寺	天台	勢多郡新里村	瀧川圓仙
"	曹	群馬郡上郊村	田川義成
全林寺	"	多野郡入野村	清 道山
宗永寺	"	" 美土里村	高野説三
雙永寺	"	勢多郡敷島村	
又圓寺	豐山	山田郡矢嶋川村	

善國寺	曹	群馬郡板井村	高口正山
相圓寺	淨	" 京ヶ島村	長谷川海普
相應寺	豐山	勢多郡新里村	
宗學寺	永源	吾妻郡名久田村	佛子泰生
雙玄寺	曹	勢多郡北橋村	星野文穎
曹源寺	"	山田郡毛里田村	羽仁霖龍
宗玄寺	"	勢多郡横野村	川崎亮敬
增國寺	豐山	碓氷郡九十九村	佐藤瑛憧
莊嚴寺	高野	群馬郡佐野村	
宗嚴寺	豐山	佐波郡島村	佐藤生輪
崇近寺	淨	多野郡小野村	中村良憲
惣持寺	豐山	新田郡世良田村	兼松村以一
雙松寺	曹	吾妻郡高山村	本決清隆
宗眞寺	高野	高崎市下和田町	宇都宮康賢
増信寺	淨	多野郡藤岡町	柴山宗哉
宗泉寺	曹	碓氷郡岩野谷村	原田賢明
"	"	吾妻郡長野原町	兼菅原宏道
崇禪寺	建長	山田郡川内村	荒井梁堂
"	曹	吾妻郡中之條町	吉水靈戒
宗本寺	淨	" 澤田村	

宗龍寺	曹	群馬郡白郷井村	群馬郡白郷井村
雙林寺	曹	" 金島村	久留馬村
息耕庵	永源	"	北甘樂郡月形村
大坊	寺門	"	山田郡廣澤村
大雄寺	天台	北甘樂郡月形村	群馬郡堤ヶ岡村
大雄院	曹	山田郡廣澤村	高崎市九藏町
大慶寺	天台	勢多郡美土里村	多野郡美土里村
大雲寺	曹	高崎市九藏町	利根郡池田村
"	"	多野郡美土里村	群馬郡上郊村
"	"	高崎市九藏町	山田郡毛里田町
大圓寺	豐山	利根郡池田村	利根郡片品村
"	"	群馬郡上郊村	新田郡綿打村
"	淨	山田郡毛里田町	佐波郡伊勢崎町
"	曹	利根郡片品村	" 藪塚本町
"	日	新田郡綿打村	" 太田町
大慶寺	豐山	新田郡綿打村	佐波郡赤堀村
大原寺	曹	" 藪塚本町	多野郡美原村
大光院	淨	" 太田町	勢多郡南橋村
大光寺	天台	佐波郡赤堀村	
"	豐山	多野郡美原村	
大興寺	天台	勢多郡南橋村	

大宗寺	淨	利根郡桃野村	高橋泰圓
大重院	寺門	碓氷郡安中町	早瀬玄祐
大聖寺	天台	勢多郡富士見村	結東祐興
大聖峯寺	豐山	多野郡平井村	松本交則
大乘寺	"	群馬郡堤ヶ岡村	
大乘院	"	碓氷郡板鼻村	
大聖護國寺	"	八幡村	
大信寺	淨	高崎市道町	長谷川徳嚴
"	"	邑樂郡長柄村	岡田忍立
大森院	曹	群馬郡六郷村	土原英宗
大泉寺	天台	" 駒寄村	宮川泰運
大泉院	寺門	吾妻郡小泉村	根岸良道
大泉寺	曹	勢多郡木瀬村	本多廣貫
"	眞大	前橋市堀川町	内山信道
泰叟寺	曹	群馬郡古卷村	市川大死
大蒼院	"	勢多天東村	靜谷暢純
大藏院	天台	桐生市東安樂土	
大藏坊	寺門	群馬郡國府村	松浦禹功
大澤寺	曹	勢多郡東村	松尾俊應
大通寺	"	新田郡木崎町	

大道寺	淨	邑樂郡館林町	坪井徳成
大德寺	天台	群馬郡東村	松岡覺順
大德院	曹	邑樂郡大箇野村	
大德寺	"	利根郡池田村	笹野井文雄
泰寧寺	"	久賀村	
"	"	新治村	山岸春雄
大福寺	天台	群馬郡新高尾村	矢野融順
大福寺	寺門	相馬村	小野關隆都丸
天福寺	天台	" 空田町	藤平徳沖
退魔寺	曹	佐波郡茂呂村	蓮見慶秀
胎養寺	"	新田郡藪塚本町	伊豆宥法
大林寺	曹	邑樂郡永樂村	長柄行全
"	高野	佐波郡赤堀村	松村一義
"	曹	多野郡神川村	田邊琢禪
大蓮寺	淨	前橋市立川町	蓮池辨阿
但馬院	寺門	利根郡新治村	關慶芳
多福寺	天台	勢多郡粕川村	平野祐貫
達磨寺	曹	碓氷郡八幡村	廣瀬大虫
中正寺	天台	多野郡上野村	戸井田晃信
中臺寺	"	佐波郡伊勢崎町	須藤晃倫

中道寺	"	北甘樂郡尾澤村	三澤長忍
竹芳寺	曹	佐波郡宮郷村	野村悅禪
長安寺	天台	" 東村	林晃善
長運寺	曹	山田郡並川村	櫻井一枝
長榮寺	天台	群馬郡東村	生方龍晃
長圓寺	高野	新田郡藪塚本町	石戸千準
"	曹	" 笠懸村	菅原是政
長學寺	曹	北甘樂郡小野村	
"	曹	群馬郡長野村	
長慶寺	曹	新田郡綿打村	稲田澄全
"	曹	新田郡糸之瀬村	兼 織田澤守山
長桂寺	"	勢多郡富士見村	菅家良宗
長建寺	淨	新田郡藪塚本町	横田善龍
長見寺	寺門	群馬郡三總社村	長尾智忠
長源寺	永源	" 古卷村	
"	曹	碓氷郡後閑村	精趙愼
長光寺	天台	佐波郡境町	大澤亮勉
"	"	群馬郡久留馬村	千葉照信
長廣寺	"	利根郡薄根村	
長興寺	曹	勢多郡大胡村	太田玄法

長岡寺	"	新田郡強戸村	兼 高本辨教
長谷寺	建長	山田郡梅田村	兼 西山禪勇
"	曹	新田郡鳥ノ郷村	兼 中西禪翁
長嚴寺	天台	北甘樂郡小幡村	河原亮雄
長三寺	曹	碓氷郡安中町	上野松巖
長壽院	天台	利根郡沼田町	丸山興舜
長壽寺	曹	勢多郡東村	倉茂泰忍
長純寺	"	群馬郡車郷村	長野溪保
長松寺	天台	" 駒寄村	長順教
"	妙心	碓氷郡九十九村	石田東英
"	曹	高崎市赤坂町	山端息耕
長昌寺	天台	新田郡笠懸村	林惠順
"	曹	前橋市紅雲分	後藤仙鳳
長勝寺	高野	新田郡澤野村	齋藤觀道
長性寺	"	邑樂郡富永村	長柄行全
長信寺	曹	群馬郡久留馬村	櫻井玄龍
長盛寺	天台	碓氷郡磯部村	紺野純泰
長泉寺	"	群馬郡京ヶ島村	平野等順
"	曹	" 塚澤村	粕川膽納
"	"	山田郡梅田村	小林禪禧

長泉寺	曹	"毛里田村	日下部元雄	天榮寺	曹	佐波郡赤堀村	伊保呂松園
長善寺	"	勢多郡大胡町	東 琢善	天桂寺	"	利根郡沼田町	河部 碩龍
"	"	北甘樂郡小幡村	中島 秀雄	天宗寺	"	群馬郡伊香保町	淺野 碩道
長傳寺	"	碓氷郡板鼻町	總見 宗鳳	天照寺	天台	利根郡池田村	
長德寺	豐山	碓氷郡西谷田村	酒井 德海	天德寺	醍醐	碓氷郡安中町	佐高 尙順
"	曹	吾妻郡東村	喜美候部省吾	天增寺	曹	佐波郡殖蓮村	北村 太嶺
長年寺	時	碓氷郡安中町	內田 俊亮	天德寺	曹	北甘樂郡秋畑村	水野 貫禪
長念寺	淨	群馬郡室田村	朝比奈 宥性	天菴寺	曹	群馬郡車郷村	片桐 勇道
長福寺	豐山	新田郡太田町	三浦 祐詮	天人寺	天台	新田郡世良田村	右島 周純
"	天台	吾妻郡太田村	大塚 正道	天王寺	"	前橋市天川村	角田 行海
"	高野	桐生市桐生	小暮 祐光	天王院	"	山田郡相生村	
長命寺	醍醐	新田郡綿打村	瀧川 祐靜	天陽寺	曹	群馬郡清里村	吉永 梅童
"	高野	"木崎町	川田 道圓	天龍寺	日	多野郡美九里村	穴山 英靜
長養寺	曹	"	鹽入 良善	"	天台	勢多郡横野村	齋藤 舜光
長樂寺	天台	邑樂郡大箇野村	黛 積山	天龍護國寺	曹	群馬郡六郷村	多々羅實玄
"	曹	新田郡世良田村	土屋 清太	東雲寺	天台	新田郡生品村	安藤 豐隆
長龍寺	"	碓氷郡九十九村	趙 魁一	東圓寺	"	佐波郡芝根村	
天祐寺	曹	"西横野村				富郷村	

東應寺	建長	山田郡毛里田村	兼 廣瀬義照	東昌寺	"	"	波邊 漢秀
東學院	智山	北甘樂郡福島町	石原 知常	東勝寺	"	新田郡寶泉村	塚田 亮海
桃教寺	天台	群馬郡桃井村	源 悅應	湯清寺	曹	勢多郡荒砥村	川上 哲隆
洞源寺	曹	邑樂郡富永村	小川 晃徹	東禪寺	建長	山田郡川内村	菅原 宏道
湯原寺	"	利根郡川場村	船戶 祐堅	東善寺	"	利根郡沼田町	菅原 禪桂
東光院	天台	碓氷郡安中町	眞木 興朝	東漸寺	曹	群馬郡倉田村	工藤 泰俊
東光寺	"	群馬郡桃井村	日野 戒藏	東澤寺	天台	山田郡一本木村	武藤 乘秀
東光寺	"	佐波郡三郷村	金井 政雄	東福院	曹	群馬郡明治村	月澤 禪曉
"	淨	勢多郡下川淵村	伊東 充瑞	東福院	高野	多野郡小野村	栗原 慶全
"	高野	佐波郡伊勢崎町	宗 眠桂	東福寺	豐山	前橋市芳町	松本 良尚
"	"	邑樂郡富永村	白金 修文	東六寺	曹	多野郡中里村	白石 賢澄
"	豐山	碓氷郡里見村	鶴牧 得之	東揚寺	天台	山田郡廣澤村	新津 正雄
"	"	碓氷郡佐貫村	青柳 興敬	東林寺	"	多野郡三波川村	正和 善雄
"	圓覺	佐波郡豐受村		東林寺	高野	新田郡尾島町	三輪 洞順
"	曹	新田郡烏ノ郷村		桃林寺	曹	佐波郡芝根村	西川 良精
洞谷寺	"	利根郡川田村		德昌寺	"	北甘樂郡一ノ宮町	松倉 泰應
同聚院	"	山田郡葦川村		德昌寺	豐山	利根郡新治村	小林 素雄
東壽寺	天台	勢多郡粕川村				群馬郡倉吉町	三津田 辨隆

社寺宗教篇

德昌寺	曹	群馬郡佐野村	川橋眞山
"	"	多野郡中里村	釜島佛觀
德性寺	高野	新田郡尾島町	齋藤觀道
得成寺	豐山	北甘樂郡小野村	鈴木宥榮
德藏寺	天台	群馬郡總社村	綾小路乘信
"	高野	" 京ノ島村	
"	豐山	新田郡世良田村	新井儀澄
德藏寺	"	群馬郡王郊村	多田盛三
南光寺	高野	邑樂郡千江田村	藤生義寛
"	"	山田郡葦川村	佐藤義隨
南光院	豐山	新田郡笠懸村	
南盛寺	曹	邑樂郡西谷田村	兼 櫻井一枝
南泉坊	曹	山田郡葦川村	
南忍寺	曹	群馬郡久留馬村	兼 佐山巍功
南藏院	曹	碓氷郡板鼻町	
"	豐山	勢多郡粕川村	
"	寺門	山田郡梅田村	村上德榮
日輪寺	天台	山田郡福岡村	貝瀬興明
"	天台	勢多郡南橋村	
如意寺	天台	" 桂萱村	圓延祐哲

如意寺	高野	群馬郡佐野村	密門亮範
"	曹	多野郡多胡村	渡邊石橋
仁叟寺	"	利根郡桃野村	坂西道仙
如意寺	時	碓氷郡岩野谷村	
念稱寺	高野	群馬郡京ノ島村	高野了照
能庵寺	豐山	佐波郡剛志村	藤生義隨
能滿寺	高野	新田郡澤野村	兼 安藤豐隆
梅香院	曹	" 生品村	三輪乘全
梅昌寺	天台	碓氷郡板鼻町	野本雪峰
梅栢寺	曹	邑樂郡小泉町	石出惠覺
繁桂寺	曹	碓氷郡東橫野村	上原祖恭
萬松寺	曹	群馬郡箕輪村	藤井德冲
般若院	天台	" 室田町	
般若寺	曹	前橋市片見町	井上德亮
"	豐山	多野郡平井村	
平等寺	眞大	利根郡沼田町	
福嚴寺	曹	山田郡廣澤村	松浦機參
福壽寺	曹	北甘樂郡小幡村	堀内宥盛

社寺宗教篇

福壽院	曹	佐波郡剛志村	大澤紹恭
福泉寺	天台	北甘樂郡額部村	青木正喜
"	"	碓氷郡八幡村	平野祐廓
"	"	北甘樂郡小坂村	
"	"	碓氷郡岩野谷村	綾小路純孝
"	寺門	利根郡片品村	星野義情
"	御室	" 桃野村	高野亮海
福藏寺	天台	北甘樂郡西牧村	
"	寺門	吾妻郡高山村	知高喜禪
"	天台	群馬郡相馬村	兼 大澤亮尙
福藏院	高野	新田郡生品村	兼 徳山秀善
福増寺	曹	勢多郡敷島村	兼 横山義祐
福田寺	御室	群馬郡大類村	兼 峯岸慈宏
福徳寺	豐山	勢多郡芳賀村	兼 福津憲良
"	高野	群馬郡東村	兼 田子良典
普賢寺	天台	多野郡入野村	兼 竹原岱觀
"	高野	群馬郡岩鼻村	兼 關根英忍
普光寺	天台	佐波郡三郷村	山口靜曉
"	豐山	邑樂郡大筒野村	兼 小島隆識
普濟寺	曹	" 千江田村	兼 本多耕玉

善濟寺	曹	群馬郡片岡村	石出宗俊
補陀寺	曹	邑樂郡赤羽村	堀口禎三
不動寺	曹	碓氷郡松井田町	遠藤俊哉
"	曹	"	村山快照
"	曹	北甘樂郡磐戸村	大澤亮尙
"	曹	群馬郡相馬村	田子良典
"	曹	" 塚澤村	櫻井良弘
普明寺	高野	多野郡萬場町	金井覺純
普門寺	天台	碓氷郡里見村	木内興觀
"	天台	佐波郡玉村町	塚田亮澄
"	天台	新田郡世良田村	後藤龍雅
普門院	高野	山田郡廣澤村	兼 遠藤丈夫
普門寺	豐山	碓氷郡磯部村	兼 朝倉隆道
"	"	多野郡神川村	兼 鈴木宥榮
"	"	北甘樂郡小野村	兼 山内讓孝
"	曹	群馬郡佐野村	兼 大樋宗觀
"	曹	勢多郡東村	兼 尾崎禪機
"	曹	北甘樂郡吉田村	
文福茶釜	曹	(茂林寺を見よ) 邑樂郡六郷村	
米山寺	天台	北甘樂郡馬山村	兼 蟻坂實祐

寶壽寺	豐山	邑樂郡六郷村	守山良澄	寶壽院	曹	邑樂郡大川村	田邊太堂
"	"	群馬郡澁川町	長谷川行淵	寶性寺	天台	北甘樂郡繁戸村	中泉順謙
"	"	利根郡久呂保村	晴智秀觀	"	高野	多野郡八幡村	加納瑞詮
"	"	北甘樂郡黒石村	齋藤圓快	"	智山	佐波郡島村	兼二宮泰元
法圓寺	豐山	群馬郡久留馬村	千葉照雲	"	豐山	邑樂郡多々良町	兼小島隆謙
法經寺	天台	桐生市下久方	佐藤日正	"	"	大箇野村	兼小沼隆達
放光院	日	群馬郡元總社村	宮川泰運	寶性院	"	西谷田村	兼稻田澄全
法光寺	曹	佐波郡剛志村	中澤賢濟	寶昌寺	豐山	佐波郡島村	兼大塚慶信
法高寺	日	新田郡生品村	安藤禪豐	"	曹	多野郡小野村	島田鐵玄
寶秀寺	豐山	邑樂郡館林町	渡邊敦通	寶勝寺	"	群馬郡岩鼻村	井上道桂
寶積寺	天台	邑樂郡赤羽村	兼青木泰淳	"	豐山	多野郡萬場町	巖良照
"	"	碓氷郡八幡村	綾小路純秀	"	"	北甘樂郡新居村	大塚慶信
寶珠寺	曹	北甘樂郡小幡村	西有靜觀	寶生寺	高野	多野郡新町	齋藤良淳
"	"	佐波郡赤堀村	松村以一	法勝寺	"	邑樂郡富永村	長柄行全
寶珠院	高野	邑樂郡富永村	長柄行全	法城院	天台	北甘樂郡西牧村	細野順知
"	"	"	小島宥憲	法森寺	曹	利根郡薄根村	織田澤禪雄
"	豐山	北甘樂郡平岩村	堀全龍	法信寺	天台	群馬郡六郷村	木内興觀
"	"	邑樂郡佐貫村	右茂田波澄	報身寺	淨	" 高山村	新井淳良
"	曹	山田郡廣澤村				山田郡相生村	新井學倫
寶壽寺	豐山	邑樂郡千江田村					

寶泉寺	妙心	多野郡萬場町	伊藤實成	法峯寺	天台	群馬郡實輪村	大須賀亮順
"	"	北甘樂郡小幡村	太田富榮	寶門寺	"	" 新高尾村	加藤景順
法泉寺	曹	邑樂郡館林町	竹内泰虔	法養寺	豐山	佐波郡境町	山下隆澄
"	"	利根郡桃野村	佐藤隆道	法樂寺	御室	利根郡新治村	吉田鏡泉
鳳仙寺	"	山田郡梅田村	兼九條嚴英	"	"	新田郡世良田村	戸澤海賢
法善寺	眞大	利根郡薄根村	尼形賢龍	"	"	碓氷郡安中町	篠崎辨識
寶禪寺	天台	勢多郡桂萱村	山中德晁	寶龍寺	高野	新田郡澤野村	龜田英道
寶藏寺	"	碓氷郡九十九村	小野關隆都丸	寶林寺	曹	邑樂郡永樂村	海野桂林
寶藏坊	寺門	利根郡久留馬村	空井信猛	"	"	山田郡休泊村	瀧川默雄
"	"	新田郡生品村		"	"	勢多郡南橋村	兼明峯玄海
"	豐山	群馬郡澁川村	安澤正應	法輪寺	天台	北甘樂郡福島町	兼箕輪泰然
寶藏坊	曹	多野郡上野村	濱名光祐	"	"	高崎市羅漢町	三浦興泰
法長寺	寺門	群馬郡久留馬村	篠原福壽	法林寺	曹	邑樂郡館林町	田中壽司
寶幢院	曹	佐波郡茂呂村	岩井隆照	法蓮寺	淨	多野郡吉井町	水上堯山
"	豐山	佐波郡宮郷村	飯塚神善	北源寺	天台	佐波郡芝根村	紅林孝諄
寶德寺	天台	群馬郡古卷村	深尾文靜	法華寺	"	群馬郡國府村	石塚定榮
"	建長	山田郡川内村	高野全道	發性寺	日	高崎市九藏町	尾澤泰存
寶福寺	豐山	邑樂郡伊奈良村	泰密辨	本覺院	高野	群馬郡佐野村	吉井良泰
"	高野	碓氷郡八幡村			寺門	利根郡新治村	本多定久

社寺宗教篇

本光寺	天台	勢多郡富士見村	兼	三ツ田辨隆
"	豐山	群馬郡金古町	東	卓然
本昭寺	眞大	碓氷郡松井田町	湯本	宥長
本正院	寺門	吾妻郡坂上村	田村	靜明
本城寺	日	北甘樂郡富岡町	石黒	松泊
本泉寺	豐山	佐波郡玉村町	野田	明薰
本然寺	眞大	山田郡境野村	高玉	廣辨
本應寺	日	勢多郡大胡町	鈴木	慈觀
本妙寺	"	佐波郡名和村	兼	佐藤日正
本要寺	日	山田郡大間々町	金井	覺純
本樂寺	天台	群馬郡久留馬村	星野	謙康
町田坊	寺門	利根郡薄根村	大河原	啓冲
萬願寺	"	北甘樂郡富岡町	三島	德舜
"	"	群馬郡長野村	名古屋	圓璋
滿行寺	豐山	碓氷郡後閑村	三原	德賢
滿勝寺	天台	群馬郡長野村	栗原	光和
滿善寺	豐山	佐波郡名和村	小林	寬眞
萬善寺	天台	勢多郡大胡町	橋爪	良全
萬總寺	高野	群馬郡大類村	笠原	宥靜
滿德寺	豐山	佐波郡赤堀村		

滿福寺	時	多野郡美原村	河野	悅然
"	豐山	佐波郡玉村町	本田	眞道
"	天台	碓氷郡原市町	金田	宥圓
萬福寺	"	勢多郡木瀬村	守田	祐寬
"	"	群馬野箕輪村	小出	覺道
"	高野	碓氷郡里見村	濱名	德鄰
"	"	佐波郡玉村町	橋爪	良全
"	建長	利根郡池田村	堀田	三要
密乘院	豐山	邑樂郡千江田村	兼	古茂田寂証
密藏院	"	北甘樂郡平岩村	櫻井	良弘
密藏寺	"	邑樂郡六郷村	九條	嚴英
妙安寺	眞大	前橋市立川町	園田	宇肯
妙英寺	曹	新田郡鳥ノ郷村	中島	隆戒
明王院	豐山	" 尾島町	宮崎	芳純
"	"	邑樂郡長柄村	田島	德弘
妙音寺	天台	群馬郡中川村	村上	祐長
"	高野	桐生市下久方町	宮川	順信
妙覺寺	天台	北甘樂郡圓生村	鹽澤	觀榮
妙見寺	日	群馬郡國府村		
"	"	新田郡世良田村		

社寺宗教篇

明源寺	高野	碓氷郡安中町	眞山	宥識
妙光院	豐山	利根郡沼田町	佐藤	海靜
妙光寺	日	新田郡寶泉村	海林	海全
妙高寺	"	山田郡蓮川村	新田	卓二
明光寺	曹	邑樂郡高島村	鈴木	閑示
明言寺	"	新田郡綿打村	菅沼	宥苗
妙參寺	"	北甘樂郡青倉村	桑原	圓順
明照院	天台	碓氷郡岩野谷村	石堂	純映
明靜院	"	佐波郡委村	三品	宥勝
妙眞寺	豐山	邑樂郡大島村	伊藤	泰道
明善寺	"	群馬郡中川村	村上	興圓
妙典寺	天台	北甘樂郡盤戸村	芝崎	隨圓
妙傳寺	日	利根郡古鳥牧村	兼	青木道純
明德寺	曹	群馬郡箕輪村	加藤	龍修
妙福寺	日	前橋市板町	青柳	興範
明開寺	天台	利根郡桃野村	根岸	隨教
妙養寺	日	山田郡矢場川村	太田	隆法
明林寺	曹	多野郡吉井町	山田	全明
彌勒寺	妙心	群馬郡室田村	中澤	賢政
無量寺	豐山			

"	曹	碓氷郡堀野村	勝山	順知
無量壽寺	天台	北甘樂郡西牧村	細野	順知
"	豐山	勢多郡上荒砥村	花園	宥純
茂林寺	曹	邑樂郡六郷村	磯貝	寰山
聞名寺	時	碓氷郡板鼻村	西島	恒德
藥王寺	天台	碓氷郡豐岡村	千葉	照雲
"	高野	新田郡鳥ノ郷村	宮山	惠雲
"	"	山田郡桐生村	後藤	龍雄
"	豐山	新田郡九合村	加藤	文應
"	"	邑樂郡千江田村	古茂田	寂証
藥師寺	曹	" 大箇野村	星野	木隨
"	天台	北甘樂郡一ノ宮町	勅使	河原堯賢
陽雲寺	曹	北甘樂郡妙義町	設樂	普觀
養行寺	法華	前橋市芳町	坂井	智海
養浩寺	妙心	多野郡日野村	松村	聖道
養壽寺	天台	佐波郡東村	淺若	祐慶
養泉寺	曹	桐生市	田中	吟龍
養報寺	高野	群馬郡倉賀野町	吉井	良泰
養命寺	"	佐波郡芝根村	山田	孝道
"	曹	多野郡日野村	安藤	泰道

養林寺	淨	勢多郡大胡町	北條善瑞	龍興寺	曹	利根郡藤根村	藤澤潭龍
鷹林寺	曹	山田郡梅田村	野村俊道	龍廣寺	"	高崎市若松町	喜美候部謙正
來迎寺	天台	勢多郡木瀨村	藤井祐寶	隆興寺	"	前橋市芳町	兼吉村雄鳳
"	"	北甘樂郡青倉村	蘭實圓	龍谷寺	建長	利根郡古馬牧村	菅原宗朝
"	"	新田郡木崎町	武田順廣	龍積寺	豐山	邑樂郡六鄉村	古茂田寂証
"	智山	多野郡三波川村	兼廣瀨義照	龍昌寺	曹	碓氷郡安中町	佐山巍功
電光寺	時	群馬郡長野村	星徹定	龍昌院	豐山	佐波郡委村	須永秀憲
電像院	豐山	邑樂郡三野谷村	古茂田寂証	龍松寺	曹	群馬郡上郊村	平野澄觀
來福寺	高野	新田郡寶泉村	空井泰信	龍性寺	天台	勢多郡萬場町	香西秀山
龍淵寺	圓覺	佐波郡名和村	石出忠峰	龍真寺	"	勢多郡大胡村	田村綱志
龍海院	建長	利根郡池田村	龜岡得城	龍石寺	曹	新里村	太田法山
龍華院	曹	前橋市紅雲分	清水浩	龍栖寺	豐山	北甘樂郡下仁田町	永井亮譽
龍源寺	"	利根郡池田村	勝諒主	龍泉院	高野	多野郡小野村	龍華智隆
"	"	多野郡藤岡町	吉田哲英	龍泉寺	曹	邑樂郡小泉町	飯田謙護
"	"	勢多郡粕川町	古畑厚三	龍泉寺	天台	勢多郡敷島村	兼補井興讓
"	"	多野郡多胡村	今村碩應	"	智山	多野郡平井村	廣瀨義照
龍光寺	淨	北甘樂郡富岡町	神宮寬梁	龍善寺	天台	邑樂郡館林町	三ツ田辨隆
龍興寺	曹	勢多郡粕川町	白幡宗順	"	豐山	多野郡平井村	鎌田智常
"	"	邑樂郡多々良村	柳原寬禪	"	智山	佐波郡東村	廣瀨義照

龍福寺	曹	勢多郡黒保根村	福垣壽仙	良信寺	"	多野郡藤岡町	平渡明修
龍滄院	"	利根郡片品村	田川格源	靈山寺	天台	北甘樂郡下仁田町	並木實謙
龍藏寺	天台	勢多郡南橋村	青柳興尊	利樂寺	豐山	碓氷郡烏淵村	春原快弘
龍澤寺	曹	勢多郡桂萱村	蛭谷道隆	林西寺	高野	群馬郡倉賀野町	今井快隆
"	"	吾妻郡草津町	吉川德誠	林昌寺	曹	吾妻郡中之條町	柴田實惠
柳澤寺	天台	群馬郡桃井村	小川晃徹	臨川院	"	久田村	坪井全勇
龍田寺	曹	多野郡美九里村	金子義産	林倉寺	妙心	多野郡日野村	西林乘傳
龍傳寺	"	群馬郡古卷村	梅澤運量	林德寺	曹	群馬郡元總社村	中島道淳
龍福寺	高野	新田郡綿打村	飯島智猛	冷泉寺	"	前橋市紅雲分	熊田詮宗
龍明寺	天台	北甘樂郡磐戸村	中泉順謙	蓮久寺	日	碓氷郡安中町	立川辨要
龍門寺	曹	群馬郡箕輪村	喜美候部智正	蓮華寺	天台	"	石堂純英
"	黃	北甘樂郡小幡村	神津立嶺	"	豐山	碓氷郡東横野村	春原快弘
利濟寺	曹	群馬郡片岡村	田邊雪巖	蓮花院	智山	勢多郡木瀨村	富岡有嚴
靈雲寺	"	新田郡九合村	兼丹吳溫人	"	豐山	群馬郡六郷村	飯塚榮山
了覺寺	眞大	前橋市萱町	加藤立成	蓮光寺	高野	新田郡九合村	神尾智寛
了源寺	淨	利根郡沼田町	武藤俊道	蓮珠寺	曹	北甘樂郡一ノ宮町	松浦亮一
靈光寺	豐山	勢多郡下川淵村	鈴木清空	蓮乘院	天台	新田郡世良田村	塚田亮海
梁讚寺	天台	利根郡片品村	三原祐庚	蓮臺院	高野	" 寶泉村	藤生義隨
良珮寺	曹	群馬郡澁川町	永井先法	蓮葉院	豐山	邑樂郡渡瀨村	廣澤榮行

社寺宗教篇
瀧榮寺
瀧興寺

勢多郡大胡町
新里村

瀨下有章

瀧澤寺

曹

群馬郡車郷村

秋月金雄

一五八

神社録追加

(二二六頁ヨリ)

社格	神社名	主祭神	鎮座地	例祭日	社司名
國幣中社	貫前神社	經注主命	菅樂郡一ノ宮町	三月十五日	寺井種長
縣社	妙義神社	倭建命	利根郡沼田町	四月十五日	横尾雄彌
"	榛名神社	波邇夜麻毘賣神	佐波郡玉村町	四月八日	金子安平
"	玉村八幡宮	品陀和氣命	前橋市北曲輪町	十月十六日	秋山輝夫
"	東照宮	德川家康、菅原道真	桐生市天神町	四月十七日	瀨尾齋宮
"	天満宮	天菩卑命、菅原道真	新田郡生品村	四月三日	前原幸雄
"	生品神社	大穴牟遲神	群馬郡澁川町	五月八日	新田山豊三郎
郷社	八幡宮	品陀和氣命	群馬郡澁川町	九月十五日	堀品藤造
"	進雄神社	速須佐之男命	" 大類町	三月十九日	高井文吾
"	吾妻神社	大穴牟遲神	吾妻郡久田村	四月一日	茂木莊太郎
"	須賀神社	素盛鳴命、穗高見命	利根郡沼田町	八月三日	吉野忠吉
"	雷電神社	大雷命	佐波郡采女村	三月二十五日	五十嵐留吉
官祭招魂社	官祭三十九柱		邑樂郡館林町	四月二十三日	
	私祭百五十七柱				

(註) 神職ナキ村社ハ之ヲ除ケリ

本縣の社寺數

神社	國幣中社	縣社	郷社	村社	無格社	計
神社	一	一六	四三	八二六	四一〇	一、二九七
神職	三	一九	三九	一三二	六	一九九
寺院	天臺宗 三〇七	淨土宗 七四	臨濟宗 四四	曹洞宗 三五二	其他 四二六	一、二〇二
住職	一八九	六〇	三二	三一六	一三七	八三四

教育篇

小學校

寺小屋式教育から明治大帝の邑に

教育篇

不學の戸なく、家に不學の人なからしめんとの優渥なる御聖旨は徹底し、教育勅語の大方針に則り形式内容完備し、縣内就學兒童二一五七六六人、教員數三六九〇人、殊に歐州大戰後は國民教育の改善に努め、本

縣亦二十三萬五千圓の公學費を支出して、實積の向上をはかつてゐる。教育實際界にありては天才兒教育、教育測定、兒童研究、郷土教育等の内容改善が叫ばれ、着實なる研究と相俟つて進歩しつゝある。

一五九

學齡兒童

就學ノ時期ニ達スルモノ	未ダ達セザルモノ	男	女	計	一世帯ニ付學齡兒童
二二一、五七五	三、一二〇〇	一一二、五〇二	一一〇、二七二	一四二、七七五	一一二

市町村立小學校一覽

尋常小學校		尋常高等小學校		高等小學校		高等小學校	
校數	計數	校數	計數	校數	計數	校數	計數
尋常小學校	四三校	尋常高等小學校	二二九校	高等小學校	四校	尋常小學校	二七六校
	四六六學級		二七六校		四六六學級		四六六學級
	三、九五二學級		二八學級		三、四五八學級		二八學級
計數	三、九五二	計數	二八	計數	三、四五八	計數	二八
尋常	一一七、八〇六	尋常	一一七、八〇六	尋常	一一七、八〇六	尋常	一一七、八〇六
高等	一一、四〇九	高等	一一、四〇九	高等	一一、四〇九	高等	一一、四〇九
計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五
尋常	一一七、六六五	尋常	一一七、六六五	尋常	一一七、六六五	尋常	一一七、六六五
高等	一一、五五〇	高等	一一、五五〇	高等	一一、五五〇	高等	一一、五五〇
計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五
尋常	一一七、八〇六	尋常	一一七、八〇六	尋常	一一七、八〇六	尋常	一一七、八〇六
高等	一一、四〇九	高等	一一、四〇九	高等	一一、四〇九	高等	一一、四〇九
計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五
尋常	一一七、六六五	尋常	一一七、六六五	尋常	一一七、六六五	尋常	一一七、六六五
高等	一一、五五〇	高等	一一、五五〇	高等	一一、五五〇	高等	一一、五五〇
計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五	計數	一二九、二一五

市町村立小學校教員月俸平均額

尋常小本正	尋科正	高等科小本正	專科(尋)	準(尋)	代用(尋)
六四、四一	四七、九七	六八、〇一	四四、六〇	二二八、〇五	三五、九五
四五、八三	四一、一九	四七、八七	三八、五三	三四、八一	三〇、二九

幼稚園

市立	町立	私立	計	入學志願者	入園兒
四	五	八	一七	一、四七三	一、四〇〇

師範學校

生徒訓育の状況を見るに教育勅語、戊申證書、國民精神作興に關する證書の聖旨を奉體し、將來善良なる教育者としての品性を陶冶するを以て訓育の要旨とし、生徒をして自己の人格を尊び自治自治の精神に依り修養せしむるの方針を執りつゝある。

一 學級數及職員數	
學 校 名	生徒定員
群馬縣師範學校	二四〇〇
本 科 第 一 部	二四〇〇
本 科 第 二 部	三〇〇〇
專 攻 科	二七
職 諭 訓 導 書 數	一五
經 常 費	一〇四、二一一

群馬縣女子師範學校	本科第一部 本科第二部	二〇〇〇	一四	一九	一四	二	七一、五四四
群馬縣實業補習學校教員養成所	專攻科	二四〇〇	一四	一九	一四	二	六、八三九

計		六二四	二九	二九	二九	四	一八二、五九四
---	--	-----	----	----	----	---	---------

二 學級數及生徒數

學 校 名	學級數	生徒數	專攻科	其 他	學級數	生徒數
群馬縣師範學校	六九	二一九	二	七	二	三〇
群馬縣女子師範學校	五	一七二	二	八〇	一	四
群馬縣實業補習學校教員養成所	計	一四	三	三	一	一
計	一四	三九一	四	一五七	三	三四

中 等 教 育

一 中 學 校

學 校 名	生徒定員	現在生徒數	學級數	教 職 員 數	書 數	記 經 常 費
縣立前橋中學校	七五〇	七〇六	一五	二四	一	四五、〇六一

同	高崎中學校	七五〇	七二二	一五	二七	一	四一、一〇六
同	富岡中學校	五〇〇	四〇八	一〇	二〇	二	三一、五八三
同	太田中學校	七五〇	六三七	一五	二六	三	三九、六九七
同	藤岡中學校	五〇〇	四三四	一〇	一九	一	三〇、四二五
同	沼田中學校	五〇〇	三八〇	一〇	二〇	二	三〇、七三四
同	澁川中學校	五〇〇	四四八	一〇	二二	二	三一、三三六
同	桐生中學校	五〇〇	四五二	一〇	二二	二	三〇、九四五
同	館林中學校	四〇〇	二六九	八	一五	一	二六、一一二
計	九校	五、一五〇	四、四四六	一〇三	一五二	一五	三〇六、九九九

二 高 等 女 學 校

學 校 名	生徒定員	現在生徒數	學級數	教 職 員 數	書 數	記 經 常 費
縣立高崎高等女學校	六〇〇	五八二	一二	二二	二	一九、八七三
同	前橋高等女學校	六〇〇	五八一	一二	二二	三〇、六七八
同	桐生高等女學校	六〇〇	五七六	一二	二〇	三一、四八四
同	富岡高等女學校	四〇〇	三六二	八	一八	二二、六七三
同	安中高等女學校	四〇〇	三九〇	八	一七	二二、三三五
同	吾妻高等女學校	二〇〇	一五四	四	〇	一四、六二〇
同	澁川高等女學校	四〇〇	三七二	八	一五	二二、四四三
同	藤岡高等女學校	四〇〇	三九一	八	一七	二二、六〇八

教育篇

同	太田高等女學校	四〇〇	三九二	八	一五	一	二九、五八三
同	館林高等女學校	四〇〇	三六八	八	一三	一	二二、二〇四
同	沼田高等女學校	二〇〇	一九〇	四	一四	一	一四、七五五
同	伊勢崎高等女學校	四〇〇	三八八	八	一六	一	二二、六四九
町立	境町實科高等女學校	二〇〇	一六八	四	一二	一	八、九三〇
計	十三校	五、二〇〇	四、九一四	一〇四	二二二	一三	二九四、八三五

實業教育

縣立	中之條農業學校	一二〇	一三五	三	一四	一	二二、〇五一
同	勢多農林學校	三〇〇	三一六	六	一九	二	三三、七七八
同	蠶絲學校	二〇〇	一八五	三	一九	一	三三、八〇六
同	小泉農業學校	一五〇	一三七	三	一四	一	二〇、九四五
同	利根農業學校	一五〇	一四〇	三	一三	一	二一、七七九
同	佐波農業學校	一五〇	一三八	三	一一	一	二〇、七九六
計	六校	一、一九〇	一、一五二	二六	五五	六	一五四、一五五

工業

縣立	工業學校	一五〇	二〇九	五	一六	二	二九、一三九
市立	前橋工業學校	七五五	七〇九	五	一九	一	二五、八四七
計	二校	三七五	四一五	一〇	三五	二	五四、九八六

商業

縣立	高等商業學校	五五〇	四九二	一〇	二二	一	三一、〇二八
市立	前橋商業學校	五〇〇	四四八	一〇	二二	二	二五、七四六
町立	伊勢崎商業學校	五〇〇	四四三	九	二二	一	二三、四四一
計	三校	一、五五〇	一、三八三	二九	六三	四	八〇、二一五

職業

市立	前橋高等家政女學校	四〇〇	二二八	五	一八	一	二二、三〇九
同	高崎實踐女學校	一〇〇〇	八三	九	一五	一	一八、二〇九
町立	小泉實踐女學校	四〇〇	三三四	五	一五	一	三、三九四
計	三校	一、二〇〇	六七	二九	八	三	一六五

教育篇

教育篇

同 大間々實科女學校	一五〇	一四二	四	八	一	五、六〇七
村立綿打實科女學校	一五〇	一四〇	四	一四	一	四、九三七
計 五校	一、二〇〇	九三六	二四	五五	三	五一、〇六二

一六六

實業補習教育及青年學校

本縣ノ實業補習教育ハ明治二十七年、八年戰役ノ結果戰後ノ經營策トシテ其ノ設立ヲ獎勵シ、此ノ結果明治三十五年ニ至リ縣下ニ六校ノ設置ヲ見タリ爾來歲ヲ逐テ其ノ數ヲ増シ而シテ内容モ漸次改善セラレ夜間教授ハ次第ニ晝間教授トナリ又通年ノ教授ヲ行フモノ増加スルニ至レリ又大正十五七月青年訓練ノ施行セラレ、ヤ概ネ之ヲ充用シ本教育ト相俟テ青年教育ノ徹底ヲ期セリ、昭和十年青年學校令發布アリ縣ハ茲ニ於テ昭和十年六月之カ指導者養成ノ爲、箕輪町ニ郡馬縣立箕輪青年道場ヲ建設セリ而シテ縣下各實業補習學校ハ青年訓練所ト合併シテ茲ニ青年學校ノ開校ヲ見ルニ至レリ

社會教育

社會教育機關トシテ縣學務部教育課ニ社會教育主事一名社會教育主事補二名青年訓練教練指導員一名ヲ置キ更ニ青年訓練教練指導委員二十一名ヲ囑託シ實業教育主事、體育主事ト協力シ男女青年團體、青年訓練、成人教育、圖書館、映畫教育、職業教育等ノ社會教育ニ關スル事務並指導獎勵事業ニ努ム其ノ概況左ノ如シ

一、男女青年團體

1 縣下青年處女指導ニ關スル施設

本縣ニ於テハ之カ指導者トシテ社會教育主事、同主事補、實業教育主事等其任ニ當リ團體ノ經營及修養ニ關スル指導並實業ノ指導、體育ノ獎勵特ニ團體ノ統一、他團體トノ連絡ヲ圖リ其ノ發達進歩ヲ期セリ是等指導ヲ目的トシテ實施セル講習會ヲ舉クレハ左ノ如シ

講習ノ對象	會	場	期	間	修了者	講習	科	目
青年	利根農業學校		三	三	四〇	青年團經營、社會教育概要、民衆娛樂、實業ニ關スル事項、體育		
	太田中學校		三	三	六〇			
	佐波農業學校		三	三	四〇			
	吾妻高等女高校		三	三	四〇			
女子青年	館林高等女學校		三	三	五〇			
	女子師範學校		三	三	四〇			
計			平均	三	三			
口、成人教育講座					女男			
講習ノ對象	會	場	期	間	修了者	講	習	科
	群馬郡金古		一〇	正	二八六	民法、刑法、醫學、國際關係、國民思想、農村問題、經濟、社會教化、社會事業、產業組合		
	安中蠶絲學校		三九	正	三九	蠶業經營、養蠶法、自治、國民道德		

一六七

一般成人 中之條農業學校

五 一一六

農業經營、本邦ニ於ケル農家ノ副業、有蓄農業、蠶業經營改善、産業組合、公民要綱、食料改善ト農産加工、椎茸栽培、農産加工實習

藤岡中學校

一二 三八二

成人ノ教育、社會事業、産業組合、家庭衛生、農會ノ使命、農業中心ノ民間信仰、農産物配給改善、社會教育ト諸問題、小作論、神社ト敬神、耕地整理、社會思想、養蠶桑樹、青年ノ覺悟、蔬菜果樹、時代ト道德、畜産副業、デンマークノ農林、肥料農産加工、農業經營

館林高等女學校

五 七〇

修身、婦人ト法律、作法、家庭經濟ト家事實習、婦人ト教養、國民ニ現ハレタル女性ト我國體

富岡高等女學校

三 一一三

婦人ニ關スル法律、婦人問題、家政

太田高等女學校

三 二七四

婦人ノ修養、婦人問題、家政、婦人ニ關スル法律

澁川高等女學校

三 二七〇

婦人ニ關スル法律、經濟問題、婦人問題、家政

藤岡高等女學校

五 五〇五

婦人ニ關スル法律

2 縣聯合青年團ノ施設

イ、壯丁體格成績表彰(都市聯合團體別比較)

ロ、關東各府縣對抗陸上競技大會派遣選手豫選會

ハ、關東各府縣對抗陸上競技大會參加

ニ、縣下青年幹部講習會

ホ、青年創作副業品並學藝品成績品展覽會

ヘ、郡市對抗武道大會

ト、全國青年團大會、各種青年講習會へ講習員派遣

3 縣聯合女子青年團ノ施設

イ、縣下處女指導者講習會

ロ、中堅處女指導者講習會(郡市聯合團ト合同)

ハ、女子家庭按摩術講習會

ニ、大會、各種指導者講習會へ講習員派遣

ホ、雜誌「處女之友」群馬版經營

4 市町村男女青年團施設概要

◎青年團

修養ニ關スル施設

(一) 智的方面

青年學校教育ノ援助後援、講習講演會、圖書館、巡迴文庫、團報發行、學藝發表會、視察見學旅行、各種展覽會、例月會、試膽會、總會

(二) 德育方面

三大節拜賀式、優良團員ノ表彰、敬老會、謝恩會、會員吉凶慶弔、團服調製、墓地神苑掃除

(三) 公共事業方面

道路修理、案内地圖、掲示板及指導標建設、消防豫備隊組織、夜警、時計、消火器、自動車ポンプ、公

(四) 產業方面

農業講習會、實習地經營、共同試作、各種農産物品評會、植林造林、採種圃採種田經營、麥奴豫防、軍用干草調製、植林ノ下草刈、副業獎勵講習會

(五) 體育方面

運動競技會、武道講習會、同大會、體育講習會、體格検査、剛健旅行、遠足、登山、擊劍、桑道、水泳

教育篇

體操、早起會

(六) 娛樂方面

活動寫真會、茶話會、盆踊、獅子舞、琵琶會

◎女子青年團

修養ニ關スル施設

(一) 智的方面

女子青年學校ノ援助後援、巡迴文庫、講習講演會、雜誌購讀、視察見學施行、學藝發表會、各種展覽會、讀書會、講習會(衛生、料理、編物、作法、マツサ、ミシン、染色、整容)、總會

(二) 德育方面

三大節拜賀式、入學兒童保護、敬老會、謝恩會、會

員吉凶慶弔、救急箱設置、墓地神苑掃除、退會者ニ記念品贈呈

(三) 公共事業方面

勤儉貯蓄ノ共同實行、入退營兵慰問、衛生宣傳、國旗調製配布、メートル宣傳、家庭改良ボスター配布、蠶ノ驅除、バザー開催、學齡兒童保護

(四) 産業方面

講習(眞綿加工、屑繭整理)簡單服作製、手藝品展覽會、家事實習講習會

(五) 體育方面

運動會、遠足、登山、體操、早起會、ボール遊戲

(六) 娛樂方面

活動寫真會、茶話會、カルタ會、針供養

農民道場

農村中心人物養成ノタメ豫算十萬圓ヲ全國十二ヶ所ニ農民道場ヲ設置スベク農林省經濟更生部デハ準備ヲ進メテキタガ十四日諸縣ニ設置方ヲ通課シタ茲ニ於テ本縣ハ昭和十年六月箕輪町ニ群馬縣立箕輪青年道場ヲ建設シタ

圖書館一覽

(一) 公私立圖書館

市公立	町立	村立	私立	計	公算	私算	總額
二	一〇	一八	一六〇	一九〇	二〇、九二一	一〇、〇一四	三〇、九三五

(二) 公私立圖書館利用狀況

公立	私立	計	公閱	私閱	人員	計
一三一、〇一六	一三七、八八四	二六八、九〇〇	四〇五、一三七	一二二、七二四	六三六、八九七	

公立圖書館

△群馬郡	館名	所在地	設立者	館長
	總社町圖書館	總社町	立	森田
	小野上村圖書館	小野上	立	天田音

教育篇

金古圖書館	古川圖書館	長尾圖書館	古井圖書館	桃井圖書館	△多野郡	新町圖書館	多胡村圖書館	上野東圖書館	上野西圖書館	萬場凱施記念圖書館	△碓氷郡	西横野村圖書館	秋間圖書館	△吾妻郡	草津町圖書館	△利根郡	川場圖書館	薄根圖書館	糸之瀬圖書館		
金古小學校	古川小學校	長尾小學校	古井小學校	桃井小學校	新町小學校	多胡小學校	上野東小學校	上野村大字檜原小學校	萬場小學校	西横野小學校	秋間小學校	草津町字草津	川場村大字喜桂寺	薄根村大字喜桂寺	糸之瀬村大字糸井						
町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	町立	
飯塚半兵衛	田部廉藏	湯淺文作	土屋軍次郎	鈴木久太郎	井元九三郎	金谷作太郎	中里義一	村木達	眞下茂十郎	清水育治郎	丸山	今井久雄	齊藤廉吉	中村萬吉							

△佐波郡	伊勢崎圖書館	伊勢崎町榮町	町立	生形信藏
采女村圖書館	采女村小學校	村立	後藤憲次	
△新田郡	太田町大字太田	町立	須藤憲治	
△前橋市	前橋市曲輪町	市立	牧辰雄	
△高崎市	高崎市本町	市立	蛭田作平	

四、映畫教育

映畫ニ依ル教育教化ハ年ト共ニ其ノ効果ヲ認メラル、ニ至リタルヲ以テ昭和五年八月二十六日ヨリ社會教育映畫班ヲ設置シ、市町村、學校、公益團體等ノ希望ニ依リ之ヲ派遣シ映畫會ヲ開催セシメ映畫ニ依リ教化ニ努ムルト共ニ會其ノモノヲ教育的ニ實施セシメ青少年教育並成人教育ニ努力シツ、アリ

學校衛生及體育

一 學校衛生

本縣ニ於テハ學校衛生ノ調査指導機關タル學校衛生技師カ昭和五年四月ヨリ缺員ニシテ學校衛生上遺憾ノ點ナキニ非ルモ近時學校衛生思想ノ普及ト學校醫及學校當事者ノ努力ハ外形の整備ト内容の充實ニ向ヒテ著々邁進シツツアリ

1 學校醫

學校衛生ノ進歩向上ハ一ツニ學校醫ノ犧牲的努力ニ待タサルヘカラス之カ振興ノ一助トシテ縣學校醫會及郡市學校醫會ノ設ケアリ縣當局及學校當事者トノ連絡ハ密接ニシテ學校衛生上ノ研究並執務大イニ見ルヘキモノアリ

2 學校看護婦

學校看護婦ノ設置セラル、モノ十五校七名ニ過キス其ノ數甚タ僅少ノ怨アリ縣當局モ其ノ普及ニ意ヲ用キツ、アルモ現下ノ下況ヲ考慮セネハナラヌカラ其ノ普及發達ニ幾多ノ困難アリ

3 寄生蟲驅除

發育期ニ在ル生徒兒童ノ寄生蟲保有カ體育上學習上其ノ影響スル所甚大ナルヲ考慮シ或ハ縣衛生當局ト提携シ或ハ學校醫ノ協力ニヨリ之カ驅除ノ實施ヲ獎勵シツ、アリ

4 學校内ノ衛生的設備ニ關スル方面

近時ノ體育運動ノ隆盛ト學校衛生思想ノ普及ハ校舍ノ増改築ハ勿論局所のり充分ナル考慮ヲ拂ハレ學校衛生設備ハ漸次改善ノ域ニ向ヒツ、アリ

二 體

育

本縣ニ於テハ體育運動主事一名ヲ置キ體育ノ普遍的發達ヲ重視シテ學校、男女青年團、一般民衆ノ體育ニ關シ講習講演、運動競技會等ヲ開催シ或ハ實地指導等ニヨリ其ノ發達ヲ圖リ其ノ成績大ニ見ルヘキモノアリ其ノ獎勵狀況ヲ舉クレハ左ノ如シ

1 主ナル獎勵事項

イ、體育思想ノ普及ト各種運動競技ノ實施

ロ、運動團體ノ組織

體育ニ關スル施設事業ヲ目的トスル團體ノ組織運動ノ普及實施ヲ目的トスル集團ノ組織

ハ、運動場ノ設置

野球場、陸上競技場、テニスコート、スキー、スケート、水泳プール、兒童遊園其他各種運動競技場設置ノ獎勵及指導

2 獎勵狀況

イ、小學校

學校體育全般ノ振興教員ノ運動授業法等ノ指導獎勵

ロ、中等學校

正課並ニ課外體育運動ノ向上並ニ學校教練振作ニ對スル獎勵

ハ、男女青年團

體育思想及各種體育運動ノ普及振興ニ對スル指導獎勵

ニ、一般民衆

縣衛生課ト協力シ積極衛生ノ普及ト運動ノ生活化ニ對スル獎勵

前記ノ外左記ニ團體ヲ補助シ活動セシメテ學校並ニ民衆體育ノ普及振興ニ當ラシメ其ノ成績大ニ見ルヘキモノアリ同會ノ事業大要左ノ如シ

1 群馬縣體育協會

イ、體育ニ關スル調査研究及指導獎勵

ロ、體育ニ關スル講習講演會ノ開催

ハ、運動團體ノ連絡統制及之カ助成ニ關スル施設

ニ、運動競技會ノ整理統制
 ホ、機關雜誌「スポーツの群馬」ノ發刊
 ヘ、其他體育振興ニ必要ナル事項

2 有限責任群馬縣體育協會購買組合
 運動競技ニ要スル器械器具ヲ廉價ヲ以テ供給シ體育運動ノ振興ニ資セントシ中等學校小學校ヲ組合員トシテ昭
 昭五年七月設立、現在組合員數二九四、出資口數四〇六、一ヶ年賣上豫想年二萬圓、成績見ルヘキモノアリ

盲聾啞教育

學校名	教職書記	其ノ他	生徒數	前年度卒業者	本年度入學者	經常費
縣立盲啞學校	一五	一	一二八	一一	三四	二二、三六五
私立高崎盲學校	一〇	一	二七	五	一五	四、七五〇
計	二五	一	一五五	一六	四九	二七、一一五

教育會

一 群馬縣教育會

群馬縣教育會ハ各郡市教育會ヲ會員トセル社團法人ニシテ其ノ施設經營スル所時宜ニ適シ縣下教育ノ進歩發展ニ
 貢獻サカラサルモノナリ

郡市教育會

會名	所在地	會長
勢多郡教育會	桂宜小學校	田村信一
群馬郡教育會	澁川小學校	田部井廉藏
多野郡教育會	藤岡小學校	高瀬泰作
北甘樂郡教育會	富岡町元郡役所	宮川靜一郎
碓氷郡教育會	安中小學校	塚越朋治郎
吾妻郡教育會	中之條小學校	宮崎貴
利根郡教育會	沼田町元郡役所	荒木正恭
佐波郡教育會	境町小學校	塚越輝平
新田郡教育會	太田小學校	富岡吉藏
山田郡教育會	大間々小學校	萩野國松
邑樂郡教育會	館林小學校	森田保三
前橋市教育會	前橋市役所	平田健太郎
高崎市教育會	中央小學校	中澤宗彌
桐生市教育會	桐生市役所	關口義慶二

各郡市小學校長會長

郡市名	氏名	奉職學校
勢多郡	田村信一	桂宜小學校
群馬郡	田部井廉藏	澁川小學校
多野郡	高瀬泰作	藤岡小學校
北甘樂郡	宮川靜一郎	富岡小學校
碓氷郡	塚越朋治郎	安中小學校
吾妻郡	宮崎貴	中之條小學校
利根郡	荒木正恭	沼田小學校
佐波郡	塚越輝平	伊勢崎南小學校
新田郡	富岡吉藏	太田小學校
山田郡	萩野國松	大間々小學校
邑樂郡	森田保三	館林小學校
前橋市	田中總一	久留米小學校
高崎市	中澤宗彌	中央小學校
桐生市	田口丁十郎	西小學校

群馬縣郡市聯合小學校長會

會長 群馬郡澁川小學校長 田部井廉藏

群馬縣私立學校校長會

會長	學務部	長	水谷 秀雄
副長	學務課	長	永瀬 英一
同	共愛女學校	長	周再賜
同	共愛女學校	長	君島 清吉
同	共愛女學校	長	井上 浦造
同	共愛女學校	長	周再賜
同	共愛女學校	長	小林 嘉助
同	私立日本編摺工業補習學校	校長	

郡市教育會

同	多野實業公民學校	校長	針谷 吾作
同	明治裁縫學校	校長	鈴木 たま
同	鈴木裁縫學校	校長	鈴木 浪吉
同	私立佐藤裁縫學校	校長	佐藤 タネ
同	私立樹德裁縫女學校	校長	野口 周善
同	私立前橋產婆看護婦學校	校長	湯山 作治
同	私立澁川裁縫學校	校長	眞下利藤太
同	金山女學校	校長	森下 定八
同	前橋市醫師會附屬看護婦學校	校長	稻葉 東
同	高崎盲學校	設立者	三浦 興泰

各郡市ニ社團法人組織ノ郡市教育會アリテ各種施設ヲナシテ郡市ノ初等教育、社會教育上ニ貢獻スル所尠カラズ其ノ概況左ノ如シ

名	稱	會員數	概況
勢多	群教育會	五〇六	理科講習會、家事講習會、教育講習會、青年訓練指導員講習會、教育勸語喚發四週紀念講演會、教育功勞者表彰、學事視察、通俗教育ニ關スル揭示場設置、同講演會各種大會代議員派遣、社會教育研究會、雜誌發行、短期現役慰問
群馬	郡教育會	六七二	青年訓練教練研究會、實業補習學校研究會、實業補習學校教授細目草案、增補改訂、小學校長教授細目草案編纂、教育講習會、夏期講習會、教育勸語下賜四十週年紀念講演會、會報發行、身體強壯學力優等綠行善良兒童ノ表彰、運動競技獎勵、各種大會代議員派遣、教育勸語下賜四十週年紀念事業トシテ教育品展覽會開催、運動競技會開催

多野	郡教育會	一、三〇〇	教育勸語下賜四十週年紀念講演會開催、聯合乙種學事會事業助成、教員運動競技員派遣、職業科指導講習會開催、社會教育指導員設置、雜誌刊行、代議員講習會、武道講習會、夏期講習會、手工講習會、衛生講習會、教育勸語下賜四十週年紀念講演會、教育功勞者表彰及祝賀、郡內教育狀況及教員互助會並青年訓練所ニ關スル調査研究、雜誌刊行、代議員派遣、學事視察
北甘樂	郡教育會	八二〇	國史及職業科講習會、教育勸語下賜四十週年紀念講演會開催、教育功勞者及六ヶ年間皆勤出席兒童ノ表彰、實地授業研究會開催、農業教育研究會開催、體育科講習會、家事科講習會、會報刊行、學事視察員派遣
碓氷	群教育會	一、〇六〇	教授法講習會、夏期講習會、雜誌刊行、代議員派遣、運動競技獎勵
吾妻	群教育會	七九八	國史講習會、通俗講演會、時事問題講演會、教育功勞者表彰、學事會事業ノ助成、小學校長研究會事業助成、體育研究會事業助成、女教員會事業助成、農業研究會事業助成、雜誌刊行、學事視察員派遣、各種大會
利根	群教育會	五〇〇	夏期講習會、體操講習會、思想問題講演會、教育勸語下賜四十週年紀念講演會、教育問題ニ關スル研究討議、農業科教授細目研究調査、教育功勞者表彰、教員運動會開催、優良兒童表彰
佐波	群教育會	五六四	體操講習會、教育勸語下賜四十週年紀念事業新田郡史編纂着手
新田	郡教育會	一、五七〇	夏期講習會、體操講習會、通俗講話會、會報發行、教育功勞者表彰、皆出席兒童表彰、代議員派遣
山田	群教育會	九〇二	巡回教育活動寫真、學事諸調査、代議員派遣、學事視察、教員兒童表彰、夏期講習會、雜誌刊行
邑樂	郡教育會	一、二一八	水泳講習會、代議員派遣、教育勸語下賜四十週年紀念講演會、功勞者表彰、未教育壯丁學力補充講習會、乃木將軍遺物展覽會及講演會、代議員派遣
前橋	市教育會	八九〇	通俗講演會、講習會、教育調査、功勞者表彰、學事視察、代議員派遣
高崎	市教育會	六六〇	通俗講演會、講習會、教育調査、功勞者表彰、學事視察、代議員派遣

桐生市教育會

五五〇

〔代議員派遣、講習員派遣、林間學校、夏期講習會、教育功勞者表彰、映畫會、珠算講習會、教育勅語下賜四十週年記念講演會、乃木將軍遺物展覽會〕

和昭九年度群馬縣教育會事業

業閑季節開催

- 一、總會及評議員會
- 總會二回 評議員會一回
- 二、圖書編纂
- 既刊圖書改訂
- 三、講習會
- 1. 小學校教員養成其他講習會
(教員養成及教授上ノ改善)
暑中休暇ヲ中心ニ開催
- 2. 青年學校教員講習會
(教授上ノ改善)
十二月中開催
- 3. 中等學校教員講習會
(教授上ノ改善)
八月中開催
- 4. 社會教育講習會
(家庭教育振興)

- 5. 教育講演會
- 四、教育視察
- 1. 國內又ハ滿支教育狀況視察
- 2. 教育狀況視察ノ幹旋
- 五、教育調査
- 1. 本縣教育ノ改善振興ニ關スル調査(調査部)
- 六、聯合教育會
- 1. 帝國教育會參加
- 2. 關東聯合教育會參加
- 3. 其ノ他ノ教育會參加
- 七、教育ニ關スル研究ノ助成獎勵
- 1. 研究者ニ對シ助成金ヲ交付ス
- 2. 建武中興六百年記念事業(前年度繼續)
- 九、雜誌及學事關係職員錄發行
- 1. 雜誌 新上野
- 2. 學事關係職員錄ヲ新上野講習會ニ無代配付
- 一〇、教育功勞者表彰

一、關東聯合教育會

本縣教育上功勞アリタル者ニ對シ表彰ヲナス

四月二十四日ヨリ三日間開催
參加會數一六九 代議員數三六一

勅令第四十一號

青年學校令

第一條 青年學校は男女青年に對し其の心身を鍛練し徳性を涵養すると共に職業及實際生活に須要なる知識技能を授け以て國民たるの資質を向上せしむるを目的とす

第二條 北海道府縣、市町村、市町村學校組合、町村學校組合及町村制を施行せざる地域に於ける町村又は町村學校組合に準すべき公共團體は青年學校を設置することを

得市町村、市町村學校組合は前項の規定に依り青年學校を設置する場合に於て費用の負擔の爲學區を設くることを得

教育篇

第三條 商工會議所、農會其他之に準すべき公共團體は青年學校を設置することを得前項の規定に依り設置したる青年學校は私立とす

第四條 私人は青年學校を設置することを不得

第五條 青年學校の設置廢止は道府縣立の學校に在りては文部大臣、其の他の學校に在りては地方長官の認可を受くべし

青年學校の設置廢止に關する規則は文部大臣之を定む

第六條 青年學校に普通科及本科を置く但し土地の情況に依り普通科又は本科のみを置くことを得

青年學校には研究科を置くことを得

第七條 普通科の教授及訓練期間は二年とす本科の教授及訓練期間は男子に在りては五年、女子に在りては三年とす但し土地の情況に依り男子に在りては四年、女子に在りては二年と爲すことを得

研究科の教授及訓練期間は一年以上とす

第八條 普通科に入學することを得る者は尋常小學校卒業者又は之に相當する素養ある者とす

本科に入學することを得る者は普通科修了者、高等小學校卒業者又は之に相當する素養ある者とす

研究科に入學することを得る者は本科卒業者又は之に相當する素養ある者とす

第九條 普通科の教授及訓練科目は男子に在りては修身及公民科、普通學科、職業科並に體操科とし女子に在りては修身及公民科、普通學科、職業科、家事及裁縫科並に體操科とす

本科の教授及訓練科目は男子に在りては修身及公民科、普通學科、職業科並に訓練科とし女子に在りては修身及公民科、普通學科、職業科、家事及裁縫科並に體操科とす
第十條 青年學校には特別の事項を修得せしむる爲專修科を置くことを得

第十條 青年學校には特別の事項を修得せしむる爲專修科を置くことを得

專修科に關する規則は文部大臣之を定む

第十一條 青年學校には相當員數の專任教員を置くべし

第十二條 青年學校の教員の資格に關する規則は文部大臣之を定む

第十三條 青年學校の設備に關する規則は文部大臣之を定む

第十四條 青年學校に於ては授業料を徴收することを得ず但し道府縣立の學校に在りては地方長官の認可を受けたる場合は此の限に在らず
第十五條 本令に依らざる學校は青年學校と稱することを得ず

附 則

本令は公布の日より之を施行す
青年學校の本科の教授及訓練期間は土地の情況に依り道府縣立の學校に在りては文部大臣、其の他の學校に在りては文部大臣、其の他の學校

青年學校教員養成所

勅令第四十七條

第一條 青年學校教員養成所は青年學校の教員たるべき者を養成する所とす

第二條 北海道府縣及市は青年學校教員養成所を設置することを得

第三條 青年學校教員養成所の設置廢止は文部大臣の認可を受くべし

第四條 青年學校教員養成所の設置廢止、修業年限、入所資格、學科目及其の程度並に教諭及助教諭の資格等に關する規則は文部大臣之を定む

第五條 青年學校教員養成所に左の職員を置く

所長

教諭

助教諭

に在りては地方長官の認可を受け當分の内之を男子に在りては二年又は三年と爲すことを得
青年學校の專任教員は道府縣立の學校に在りては文部大臣、其の他の學校に在りては地方長官の認可を受け當分の内之を置くことを得
本令施行の際現に存する公立の實業補習學校及青年訓練所は之を本令に依り設置したる青年學校と看做す
前項の青年學校にして本令に依り難きものは本令施行後六月を限り仍從前の實業補習學校及青年訓練所の例に依り教育を爲すことを得

勅令第四十二號

青年訓練所令は之を廢止す

勅令第四十三號

實業學校令中左の通改正す

第二條第一項中「及實業補習學校」を削る第四號第一項を左の如く改む

書記

前項の職員の外寄宿舎の設ある養成所には舎監を置く

第六條 所長は委任官の待遇とす地方長官の監督を承け所務を掌理し所屬教員を監督す所長は兼ねて其の道府縣内に於ける青年學校の教育情況を視察す

第七條 教諭は委任官又は判任官の待遇とし助教諭は判任官の待遇とす生徒の教育を掌る

教諭にして委任官の待遇と爲すことを得る者の員數に關しては公立學校職員制中實業學校に關する規定を準用す
舎監は教諭又は助教諭を以て之に充つ所長の指揮を承け寄宿舎の事を掌る

第八條 書記は判任官の待遇とす所長の指揮を承け庶務に従事す

市町村、北海道の一級町村二級町村、市町村學校組合及町村學校組合

は土地の情況に依り須要にして其の區域内小學教育の施設上妨なき限り實業學校を設置することを得

第七條第一項但書を削る

勅令第四十四號

朝鮮教育令中左の通改正す

第十一條第一項但書を左の如く改む

但し實業補習教育に關しては朝鮮總督の定むる所に依る

同條第一項の次に左の一項を加ふ
實業學校令中文部大臣の職務は朝鮮總督之を行ふ

勅令第四十五號

臺灣教育令は左の如く改正す

第九條に左の但書を加ふ
但し實業補習教育に關しては臺灣總督の定むる所に依る

第九條 青年學校教員養成所の職員
の待遇官等級に關しては公立學校
職員待遇官等級令中實業學校の職
員に關する規定を、俸給旅費其の
他諸給與に關しては公立學校職員
俸給令中實業學校の職員に關する
規定を、分限に關しては公立學校
職員分限令を準用す

附則

本令は公布の日より之を施行す
實業補習學校教員養成所は之を
廢止す

本令施行の際現に存する實業補習
學校教員養成所は之を本令に依り設
置したる青年學校教員養成所と見做
す

本令施行の際現に實業補習學校教
員養成所の所長、教諭、助教諭又は
書記の職に在りたる者別に辭令を發
せられざるときは各青年學校教員養

成所の所長、教諭、助教諭又は書記
に同待遇俸給を以て任ぜられたるも
のとする
本令施行の際現に實業補習學校教
員養成所の所長、教諭、助教諭又は

書記にして休職中の者別に辭令を發
せらざるときは休職の儘各青年學校
教員養成所の所長、教諭、助教諭又
は書記に同待遇俸給を以て任ぜられ
たるものとする。

メダル
徽章
カヅブ
金銀器
マク
帽章
會員札
記念品

専門製作

神戸徽章製作所

東京市淺草區馬道貳丁目十一番地
市電バス象潟署前
振替東京三二八〇七番

觀光篇

名勝

國幣中社 貫前神社 北甘樂郡一
ノ宮町 安閑天皇元年の創建、祭神
經津主命、本殿は特別保護建造物
(文部省指定)國寶三點寺寶數百點。

縣社 高山神社 新田郡太田町
天神山祭神高山彦九郎。

縣廳舎 前橋市曲輪町 敷地は舊
前橋城の本丸、坪數一四八〇坪、明
治九年前橋に置かれた群馬縣假縣廳
は前橋藩廳に充て、同十四年改めて
本縣廳に指定せられた。昭和四年改
築竣工、地階及三階の鐵筋コンクリ
ート建、本廳舎の總延坪一九一二坪
附屬廳舎として衛生試驗官、縣會議
事堂がある。

太光院 新田郡太田町 義重山新
田寺と稱し、淨土宗靈西派の巨刹、
關東十八檀林の一、境内に新田義重
の御廟がある。

多胡碑 多野郡吉井町池 元明天
皇和銅四年の建立、將又、上野三古
碑の一として知られ、碑面に八十字
を楷體にて鐫し、大正十年三月史蹟
として指定された。

數島公園 勢多郡南橋村 前橋市
有公園、面積六万八千餘坪、上毛三
山たる赤城の雄、榛名の秀、妙義の
奇及び噴煙たる淺間山を望みて、眺
望絶佳、水泳場、運動場等の設備が
ある。

赤城山 勢多郡富士見村 山頂數
峰に分岐、中央の大壑、大沼は深碧
の水を湛えて一名石垣沼と稱した歌
の名所、大沼湖畔の風光、山中のつ
つじ最もよく、銷夏好適の地であ

る。

榛名山 群馬縣宇田町 山容温秀
の名があり、頂上榛名湖は萬葉集で
所謂伊香保沼と云ふ處、周圍一里、
湖上榛名富士がある。

岩井洞 群馬縣小野上村 山峯皆
石にして奇岩怪石起伏萬狀、風光に
富む。

三波石 多野郡美原村 神流川の
河床數百間に亘りて青質白理の奇石
大小四十八點、巨石の錯立する所、
清冽玉の如き神流の水がある。晚秋
水稍涸れて石愈々其の奇を現し崖壁
又錦楓の飾らる觀光尤も佳。

不二穴 多野郡上野村 大福壽山
の中腹にをる一大石灰洞で、鐘乳石
石筍等頗る奇觀を呈してゐる。

三波川の梅 多野郡三波川村 樹
數約三百本、冬期開花して最も美
觀。

▽妙義山 北甘樂郡妙義町 白雲、金洞、金鷄の三峰を總稱し、巖壁聳峙して奇岩怪石頗る多く、山腹に妙義神社がある。往時は宮家の支配で輪換の美全國に冠し、金洞の奥に中ノ嶽神社がある。

▽黒瀨山 北甘樂郡盤戸村 山尖り鋭深く縣泉飛瀑ありて紅葉の名勝地。

▽碓氷嶺 碓氷郡坂本町 關東平野と信濃高原との要衝に當り、峻嶺紅葉を以て聞え、鐵道信越線は二十六の隧道を以て通ずる。

▽吾妻峽谷 吾妻郡長野原町 吾妻川の中流川原湯附近約二里にある。關東の耶馬溪としても名高い。

▽吹割の瀑 利根郡東村 片品川の中央にある。河底の岩石、垣々として砥の如く、縦數十間上流に向ひ、横十二間劈きて大鼓狀を爲し、奔流

此に注ぎて瀑となり、天然の巧妙致を極む。

▽尾瀨の沼 利根郡片品村 本邦稀有の原始的風景の地で、珍花異界の群落は數萬坪の大花園となりて點在し、爽快優美な濕原と森巖幽邃な森林との強烈な對照鮮かで、植物學研究上、吹割の瀑附近と共に頗る。

▽菅沼 利根郡片品村 清翠湖上に落ちて涼氣の人に逼る處、秋は紅葉の林あり、近來鱒獵の好地として其の名が高い。

▽利根溪谷 利根郡水上村 利根川の上流湯原温泉附近約三里、奇巖峻石千古の碧潭、或は奔流等千態萬狀兩岸の古松老松等があり、幻蓬清絶山紫水明の別天地である。

▽葦葦赤公園 佐渡郡伊勢崎町 面積二萬餘坪を有する天然の園林、小丘に松古杉鬱蒼として絶崖に懸り

幻蓬清絶眞に山紫水明の別天地。

▽連取の松 佐渡郡宮郷村 一名を笠松と稱し、東西二十里、南北十五町翠蓋地を掩ふ。

▽金山 新田郡太田町 満山の松樹松茸を産し、山頂に新田氏の居構金山城址がある。城址に新田神社があり展望宏潤を極む。

▽高津戸 山田郡川内村 渡良瀬川の山を離れて稍々平曠に就くの地、奇巖怪石、幽邃清絶、山紫水明の別天地である。

▽躑躅ヶ岡公園 邑樂郡赤羽村 縣設公園で一名花山の稱がある。躑躅を以て名があり、面積五千有餘坪、北岸一帯城沼に望み満山つゞじ、其の數約千株、美觀比絶、城沼の波紋と相映じて觀光無二の地と云はる。

其の利根川の堤上には櫻樹がある。明治廿六年の行在所臨江閣、同別館等がある。

▽高崎公園 高崎市宮元町 烏川に

沿ひ歩兵以上五砲隊兵營に接するの地で、面積七千餘坪、賴政神社がある。

▽丸山公園 桐生市 郊外約五丁の丘陵上にありて雜樹林を爲し、渡良

瀬川其の西に流れた堤防遺蹟あり。

▽桐生ヶ岡公園 桐生市 注古は切蒲ヶ岡と稱した丘陵地、延喜式内の古社美保神社がある。

指定史蹟

名	稱	指定年月日	管理者	所在地
前	二子古墳	昭和二、四、八	荒砥村	勢多郡荒砥村大字西大室
中	二子古墳	昭和二、四、八	荒砥村	勢多郡荒砥村大字西大室
後	二子古墳	昭和二、四、八	荒砥村	勢多郡荒砥村大字西大室
附	小古墳	昭和二、四、八	横野村	勢多郡横野村大字瀧澤及見立
瀧澤	石器時代遺蹟	昭和二、四、八	横野村	勢多郡横野村大字瀧澤及見立
上野	國分寺跡	大正一五、一〇、二〇	國府村	群馬郡國府村及元總社村
淺間	山古墳	昭和二、四、八	倉賀野町	群馬郡倉賀野町
大鶴	山古墳	昭和二、四、八	倉賀野町	群馬郡倉賀野町
二子	山古墳	昭和二、四、八	倉賀野町	群馬郡倉賀野町
山王	塔跡	昭和三、二、七	總社町	群馬郡總社町大字植野
多胡	胡碑	大正一〇、三、三	吉井町	群馬郡吉井町大字池

觀光篇

山上碑及古墳
 金井澤碑
 七輿山古墳
 明治天皇新町行在所
 女體山古墳
 高山彦九郎宅
 趾附遺髮塚
 生品神社境内
 (新田義貞舉兵傳説地)
 二子山古墳
 明治天皇前橋行在所

天然記念物

横室ノ大榎
 榛名神社ノ矢立杉
 妙義神社ノ大杉
 安中・原市ノ杉並木
 原町ノ大榎
 多々良沼むじなも産地
 高崎公園ノ白木蓮
 かもししか

大正一〇、三、三
 大正一〇、三、三
 昭和二、六、一四
 昭和八、一、二
 昭和八、一、二
 昭和二、四、八
 昭和六、一、二六
 昭和九、三、二三
 昭和二、六、一四
 昭和八、一、二

八幡村
 八幡村
 美土里村
 新町
 九合村
 澤野村
 生品村
 生品村
 前橋市
 前橋市

多野郡八幡村大字山名
 多野郡八幡村大字山名
 多野郡美土里村大字上落合
 多野郡新町
 新田郡九合村大字内ヶ島
 新田郡澤野村大字細谷
 新田郡生品村大字市澤井
 前橋市天川町
 前橋市柳町

國寶 (寶物・建造物)

名稱	指定年月日	所有者	所在地
鐵造阿彌陀如來坐像	昭和 三、八、一七	天臺宗 善勝寺	勢多郡芳賀村
白銅月宮鑑	明治四五、二、八	國幣中社 貫前神社	北甘樂郡一ノ宮町
梅雀文様銅鏡	明治四五、二、八	國幣中社 貫前神社	北甘樂郡一ノ宮町
竹虎文様銅鏡	明治四五、二、八	國幣中社 貫前神社	北甘樂郡一ノ宮町
了戒ノ太刀	大正一〇、四、三〇	郷社 東照宮	新田郡世良田村大字世良田
貫前神社本殿	明治四五、二、八	(社格國幣中社)	北甘樂郡一ノ宮町
藥師堂	明治四五、二、八	(日向見温泉地)	吾妻郡澤田村大字四萬
玉村八幡宮本殿	明治四一、八、一	(社格縣社)	佐波郡玉村町大字下新田
雷電神社末社	明治四一、八、一	(社格郷社)	邑樂郡伊奈良村大字板倉
八幡宮社殿			
稻荷神社			

重要美術品

名 稱
 藥師塚出土品(鏡、馬鐙、杏葉、轡鏡板等一切)

所有者
 淨土宗 西光寺

所在地
 群馬郡上郊村大字保渡田